

< | + + + + + + + + + < | **男女共同参画推進センター報告書** | >



**2021**



京都大学

男女共同参画推進センター報告書

2022年3月



## 目 次

ご挨拶	1
運営体制	3
<b>I 「広報・相談・社会連携」事業</b>	5
1) 京都大学男女共同参画推進センター	6
2) 京都大学たちばな賞(優秀女性研究者賞)	8
3) 女子高生・車座フォーラム2021	16
4) 女子高生応援大使2021	24
5) メンター相談	30
6) 第16回女子中高生のための関西科学塾	31
7) 日経ウーマノミクスフォーラムシンポジウム2021	33
8) 女子卒業生紹介冊子「Will Vol.3」	34
9) 男女共同参画推進センター Newsletter	35
<b>II 「育児・介護支援」事業</b>	61
1) 令和3年度保育園入園待機乳児のための保育施設「ゆりかご」	62
2) おむかえ保育	71
3) ベビーシッター育児利用支援	73
<b>III 「病児保育」事業</b>	81
1) 病児保育室「こもも」	84
<b>IV 「就労支援」事業</b>	93
1) 研究支援・実験補助者雇用制度	94
<b>V 「教育支援」事業</b>	105
1) 講義・ゼミ	106
<b>資 料</b>	
1) 男女共同参画推進センター関係者名簿	109
2) 男女共同参画推進センター会議議事	110
3) 京都大学の教員・学生数	112
4) 京都大学の女性研究者・女子学生の状況	114





ご挨拶

理事・副学長  
京都大学男女共同参画推進本部長  
稲垣恭子

京都大学男女共同参画推進センターは、2006（平成 18）年に科学技術振興調整費「女性研究者支援モデル育成事業」の下に設立した「女性研究者支援センター」の発展的な改組によって2016（平成26）年に男女共同参画推進本部のもとに設置され、継続的に事業を行ってきました。

本年度は、次年度からの第4期中期目標・中期計画と合わせる形で、「京都大学男女共同参画推進アクションプランー2015年度～2020年度」を1年延長し、これまでの事業を継続するとともに、次年度からスタートする新たなアクションプランの実行に向けて準備を進めてきました。

2020年からの新型コロナウイルス感染症への対応としては、各種の事業における感染予防の徹底実施やオンラインでの開催、また病児保育室については受け入れ児童を見直し、病後児保育室として開設するなど、さまざまな対策を実施し継続して行ってきました。

京都大学を目指す女子高校生向けに開催している「女子高生・車座フォーラム2021（第16回）」は、オンラインで開催し、全国から110名の参加を得ることができました。また、京都大学に在学する女子学生が出身高校を訪問して京都大学の紹介や交流を行う「女子高生応援大使」事業（総長支援団体である鼎会の支援による）も、オンラインで全国の18の高等学校と協力して実施することができました。

広報活動では、2006年に創刊されて依頼、センターの事業活動や本学の男女共同参画に関するトピックを紹介してきたニュースレター「たちばな」の創刊100号の節目を迎えることができ、今後も、本学で実施される数々の事業やその成果を広く皆さまにお伝えするとともに、本学の女性教員や各界で活躍する本学出身の方々のインタビュー記事

等、さらに充実した楽しい内容にしていきたいと考えております。

また、次世代を担う女子学生、若手研究者への緩やかな支援をめざして、本学出身の女性のネットワーク組織として「京都大学このえ会」を設立しました。今後、センターと協力しつつ、学生、教員と卒業生との交流やイベントを通して、多様なロールモデルや将来展望が広がればと思っています。

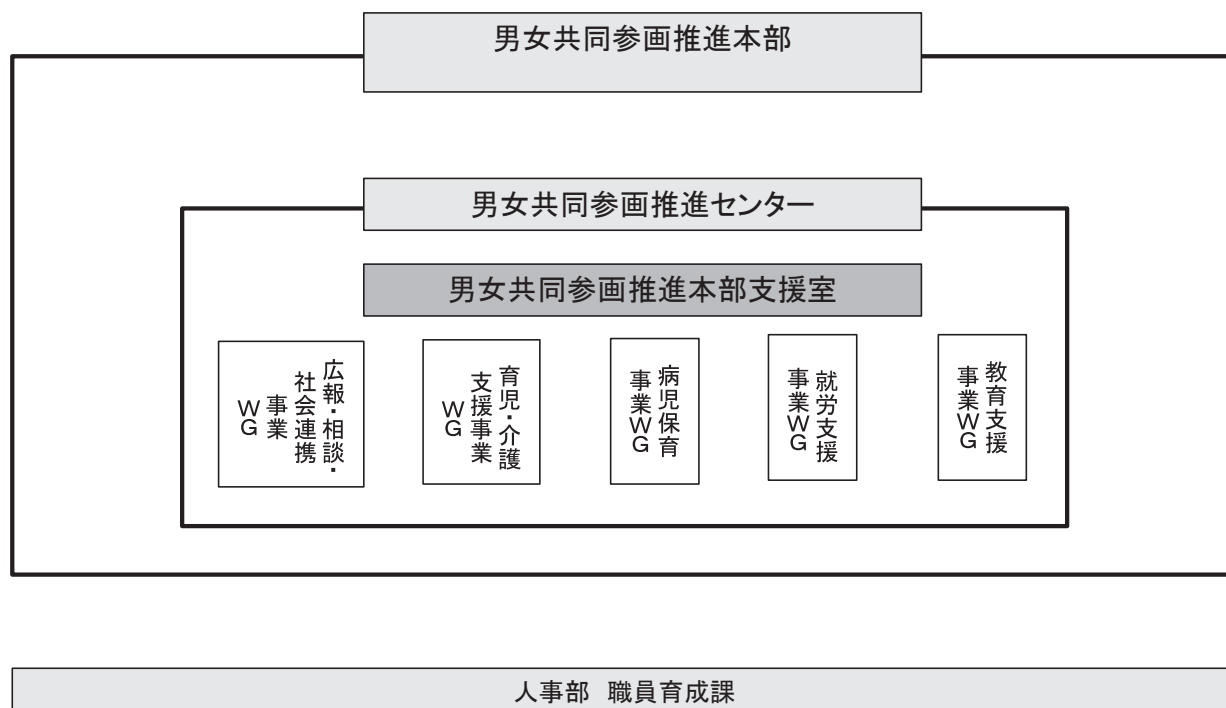
次年度からは、新アクションプランの下で、本学におけるジェンダー平等をこれまで以上に積極的に進めていく予定です。ジェンダー平等社会の実現は、多様な視点の共存と相互の寛容性に基づく創造的で豊かな社会の基盤であり、次世代の育成を担う大学はその中核としての役割を求められています。優秀な女子学生、女性研究者の育成・獲得とともに男女を問わず本学の自由の学風をいっそう広げていけるよう努力してまいります。

新型コロナウイルスの収束がいまだ見えてこない現状ですが、多くの方に各種の事業の周知を図り、活動を広げていけるよう、今後もなお一層のご理解、ご支援とご協力をお願い申し上げます。



## 運営体制

男女共同参画推進本部のもと、京都大学の男女共同参画を推進するために、男女共同参画推進センターが設置されています。本センターには男女共同参画推進本部支援室をおき、そのもとに学内教員を委員とする5つのワーキンググループを設置して、それぞれの事業を企画・運営しています。



役職	氏名
男女共同参画推進センター長	稲垣 恭子 (理事・副学長)
男女共同参画推進本部支援室長	足立 壯一 (医学研究科)
広報・相談・社会連携事業ワーキンググループ主査	今村 博臣 (生命科学研究科)
育児・介護支援事業ワーキンググループ主査	齊藤 真紀 (法学研究科)
病児保育事業ワーキンググループ主査	横山 淳史 (附属病院)
就労支援事業ワーキンググループ主査	木下 彩栄 (医学研究科)
教育支援事業ワーキンググループ主査	落合 恵美子 (文学研究科)



# I 「広報・相談・社会連携」事業



# 広報・相談・社会連携事業ワーキンググループ活動報告

広報事業では、センターの活動について、ウェブサイトや web ニュースレター「たちばな」、卒業生紹介の冊子「Will」を通して、学内外に広報活動を行いました。

相談事業では、メンター登録教員を増員し、幅広い相談内容へ対応できるように体制を強化しました。

社会連携事業としては、関西の他大学と連携し、第 16 回女子中高生のための関西科学塾をオンラインで開催しました。京都大学においては、10 月 24 日に様々な分野のグループに分かれて実験を実施しました。また、11 月 7 日には女子高生・車座フォーラム 2021 をオンラインにて開催しました。新型コロナウイルス感染症の影響で、どちらのイベントも昨年に引き続きオンライン開催となりましたが、両イベントとも多数の高校生および保護者にご参加いただきました。将来を担う次世代の女性たちに、早い段階から京都大学の雰囲気に触れ、教員や学生と交流する機会を提供することができたと考えています。

広報・相談・社会連携事業WG主査 今村 博臣

## ■2021 年活動記録

5 月 15 日(土)	ニュースレター「たちばな」第 96 号発行
5 月 20 日(木)	広報・相談・社会連携事業ワーキンググループ会議
7 月 9 日(金)	広報・相談・社会連携事業ワーキンググループ会議
7 月 13 日(火)	日経ウーマノミクスシンポジウム 2021 Are you ready? SDGs が拓く未来
7 月 15 日(木)	ニュースレター「たちばな」第 97 号発行
8 月 15 日(日)	ニュースレター「たちばな」第 98 号発行
10 月 24 日(日)	第 16 回女子中高生のための関西科学塾
10 月～12 月	令和 3 年度京都大学女子高生応援大使
11 月 7 日(日)	女子高生・車座フォーラム 2021
11 月 15 日(月)	ニュースレター「たちばな」第 99 号発行
12 月 1 日(水)	女子卒業生紹介冊子「Will Vol.3」発行
1 月 15 日(金)	ニュースレター「たちばな」第 100 号発行
3 月 3 日(木)	第 14 回京都大学たちばな賞(優秀女性研究者賞)表彰式
3 月 15 日(火)	ニュースレター「たちばな」第 101 号発行

# 男女共同参画の

5つのワーキンググループで、  
様々な取り組みを行っています。

京都大学は、男女共同参画推進本部・推進センターを軸に、5つのワーキンググループを設置。  
基盤整備の拡充を進めるとともに、女性リーダーの育成、家庭生活との両立支援、次世代育成支援という  
三つの重点目標を設定し、男女共同参画の一層の深化を進めています。

深化を求めて。

男女共同参画に向けた  
取り組みの周知・浸透。

### 広報・ 相談社会連携

- 女子高生・車座フォーラム
- メンター制度
- 広報誌の発行
- ニュースレター「たちばな」

仕事の復帰につながる  
育児・介護の諸問題の解消。

### 育児介護支援

- 待機乳児保育室
- おむかえ保育
- ベビースITTER利用育児支援

病気の子供を安心して  
預けられる体制づくり。

### 病児保育

- 病児保育室

少しでも多くの  
研究者の研究継続。

### 就労支援

- 研究・実験補助者雇用制度

ジェンダーと男女共同参画に  
関する教育に貢献。

### 教育支援

- ILASセミナー
- 全学共通科目「ジェンダー論」

多様な生き方や新しい価値を創造する。

京都大学  
男女共同参画  
推進センター

くわしくはコチラ



075-753-2437 w-shien@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

# センターパンフレット

男女共同参画の深化を求めて、  
様々な取り組みを行っています。

男女共同参画の推進にあたって、京都大学は、男女共同参画推進本部・推進センターを軸にして、基盤整備の拡充を進めるとともに、女性リーダーの育成、家庭生活との両立支援、次世代育成支援という三つの重点目標を設定し、本学における男女共同参画の一層の深化を進めています。男女共同参画推進センターは、5つのワーキンググループを設置し、推進活動を行っています。

### 3つの重点目標

女性リーダーの育成

次世代育成支援

家庭生活との両立支援

### 5つのワーキンググループ

- 1/ 広報・相談・社会連携事業
- 2/ 育児・介護支援事業
- 3/ 病児保育事業
- 4/ 就労支援事業
- 5/ 教育支援事業

### ACCESS

606-8303 京都市左京区吉田橋町

入口は鶴小路通沿いにあります。(医学部構内からは入れません)

京都大学男女共同参画推進センター

075-753-2437  
w-shien@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

病児保育室申込み  
075-751-3090  
byojin@kuhp.kyoto-u.ac.jp

<http://www.cwr.kyoto-u.ac.jp>

たちばな基金  
TACHIBANA FUND

お問い合わせ・ご支援はこちら

<http://www.kikin.kyoto-u.ac.jp/contribution/tachibana/>

## 京都大学 男女共同参画 推進センター

KYOTO UNIVERSITY  
GENDER EQUALITY  
PROMOTION CENTER

やりたいこと、あきらめない。

京都大学男女共同参画支援  
たちばな基金  
TACHIBANA FUND

### Greeting

ご挨拶

グローバルに広がる世界のなかで、ジェンダー平等やダイバーシティはますます重要になっています。

大きな視野と展望をもって、多様な生きかたや新しい価値の創造に貢献できる大学として、教職員・学生共に推進していきます。

理事・副学長 稲垣 恭子

## 京都大学男女共同参画支援たちばな基金

KYOTO UNIVERSITY GENDER EQUALITY PROMOTION CENTER

### TACHIBANA FUND

公平な研究活動を支援するために、  
基金を設立しました。

### 京都大学男女共同参画支援 たちばな基金

TACHIBANA FUND

やりたいこと、あきらめない。

"女性も男性も"安心して学業、研究に取り組める環境を作ります！

- ### 1 男女共同参画に向けた取り組みの周知・浸透。

広報・相談 社会連携

女子高生や研究者を対象にしたイベントや広報誌のより一層の充実を図ります。また男女共同参画理念の浸透、優秀な女子学生の発掘、そして女性研究者の環境改善に向けた取り組みを推進します。

■シンポジウム・フォーラム  
女子高生・卒業生フォーラム  
日経ウーマノミクスフォーラム
- ### 2 仕事の復帰につながる育児・介護の諸問題の解消。

育児介護支援

早朝の開室時間短縮、保育室の増設による入所定員の増員、15か月未満の月給制限の緩和など、要望が多い諸問題の解消に取り組みます。

■保育園入園待機乳児の保育室
- ### 3 病気の子供を安心して預けられる体制づくり。

病児保育

定員や年齢上限などの制限を緩和し、希望する人についても受入可能といった体制の拡充を目指します。

■病児保育室「こもも」
- ### 4 少しでも多くの研究者の研究継続。

就労支援

多くの問題を抱えた研究者の採択率をアップすることで、女性・男性を問わず、本制度を利用した研究の継続を可能とします。

■研究支援  
研究・実験補助者雇用制度  
雇用経費支援制度
- ### 5 ジェンダーと男女共同参画に関する教育に貢献。

教育支援

本学の学生を対象とした正規の授業の提供などにより、本学における性別(ジェンダー)と男女共同参画に関する教育に貢献し、私的な人間関係の中で、また責任ある組織人や社会人として、男女共同参画に取り組んでいける人材を育成します。

■性差・ジェンダーに関する講座  
ILASセミナー  
全学共通科目「ジェンダー論」

創造的かつ人類の幸福に資する学問の持続的な発展に必要な多様性を確保するためには、女性と男性が公平に研究活動を行えるような環境をつくり出すことが重要です。育児や介護等によってやりたい研究をあきらめることがないように、京都大学男女共同参画推進センターでは、待機乳児や病児保育のための施設を設置しているほか、育児・介護中の男女研究者のための研究・実験補助者雇用制度等の施策を実施しています。こうした男女共同参画を推進するための各種事業を行っているものの、京都大学ではまだに女性教員の比率が1割程度に留まっています。そのため男女共同参画推進のための施策を一層充実させる必要がありますが、予算を十分に確保できていない状況です。育児・介護中の研究者への支援制度では、希望者の5割にしか支援できていません。男女共同参画推進センターでは、育児・介護等、その心配を理由に、学生が進学や研究者になることをあきらめたり、研究者が研究を縮小・中断・断念したりすることがなくなってほしいと願っています。本基金を活用して各種支援・啓発事業を充実させることで、「女性も男性も」安心して学業・研究に取り組める環境をつくれます。皆様のご支援をお待ちしています。

女 未  
性 来  
研 を  
究 担  
者 う  
に

受付期間

11/1 [月]  
11/30 [火]  
令和3年  
(17時必着)

第十四回 京都大学  
優秀女性研究者賞

たちばな  
賞 Tachibana Award  
Kyoto University

応募者募集

学術上優れた研究成果をあげた本学に所属する45歳未満（昭和52年4月2日以降生まれ）の若手女性研究者のうち下記条件を満たす者

対象

【学生部門】 応募時点において、大学院博士後期課程に在学中であること。

【研究者部門】 博士の学位を取得（博士の学位を取得した者と同等以上の学術研究能力を有する者を含む）していること。なお、教授職（特定教員を含む）の者は応募できません。

顕彰

たちばな賞 正賞:賞状 副賞:記念品及び賞金10万円 [学生部門・研究者部門 各1名]

奨励賞 正賞:賞状 副賞:記念品及び賞金8万円 [該当者がいた場合のみ]

応募要領などの  
詳細について

京都大学のHPからダウンロードしてください。  
<https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/research/resource/grant/tachibana>  
お問い合わせ先: 人事部職員育成課ダイバーシティ推進室 電話:075-753-2059

協賛

株式会社  
ワコール



## 第14回京都大学たちばな賞（優秀女性研究者賞）応募要領

### 1. 趣旨・目的

京都大学における若手の女性研究者の優れた研究成果を讃えるため、平成20年度に「たちばな賞（京都大学優秀女性研究者賞）」を創設しました。本制度は、分野を問わず学術上優れた研究成果を挙げた若手の女性研究者を顕彰することにより、当該若手女性研究者自身及びこれに続く多くの若手女性研究者の励みとし、ステップアップに繋がるよう研究意欲を高め、もって本学、さらには我が国の学術研究の将来を担う優れた女性研究者の育成等に資することを目的としています。

### 2. 応募条件

昭和52年4月2日以降生まれの本学に所属する女性の大学院生及び女性研究者（研究を職務に含んでいる者。ポスドク及び日本学術振興会特別研究員を含む。）のうち、学術上優れた研究成果を挙げたと認められる者で、以下の条件を満たし、かつ今年度における表彰式に出席できる者としします。過去に学生部門でたちばな賞を授与された者も、研究者部門に応募することができます。過去に奨励賞を授与された者も、受賞対象となる業績が異なる場合に限り、次年度以降に本賞へ応募できます。

#### 【学生部門】

応募時点において、大学院博士後期課程（医学研究科医学専攻及び薬学研究科薬学専攻にあっては博士課程、アジア・アフリカ地域研究研究科及び総合生存学館の博士課程にあっては後期に相当する課程を含む。休学中の者は除く）に在学中であること。なお、募集年度において京都大学通則第33条に規定する懲戒を受けている者は応募できません。

#### 【研究者部門】

博士の学位を取得（博士の学位を取得した者と同等以上の学術研究能力を有する者を含む）していること。なお、教授職（特定教員を含む）の者は応募できません。

### 3. 顕彰

受賞者は、各部門1名ずつとし、表彰状と副賞（記念品及び賞金10万円）を授与します。また、該当者がある場合は、奨励賞として各部門原則1名に表彰状と副賞（記念品及び賞金8万円）を授与します。

### 4. 提出書類

- ①応募調書（様式1 / PDF）
- ②これまでの研究の概要（様式2 / PDF）
- ③推薦状（様式3 / PDF）
- ④業績目録（A4 / 形式自由 / PDF）
- ⑤応募対象となった書籍、論文の別刷（主なものを学生は3編以内、研究者は5編以内 / PDF）
- ⑥その他特記すべき事項（特許・書評・新聞記事などの参考資料（形式自由） / PDF）

※書類の作成にあたっては、異分野の研究者にも理解しやすいように作成してください。

※上記③の推薦状については、応募者の研究をよく理解している、本学に所属する常勤の研究者が作成してください。③以外の書類については、応募者本人が作成してください。

※上記④の業績目録については、形式は自由ですが、必ず業績の項目ごとに合計数（たとえば 学術論文の場合は「計●本、うち筆頭著者●本」等）を記載してください。

※上記⑤、⑥は該当するものがある場合のみ提出してください。

### 5. 提出方法

- (1) 提出書類は、応募者が直接下記連絡先にメールに添付して提出してください。
- (2) 提出書類①～⑥には、PDFにして提出してください。なお、⑥については、表紙、目次及び該当部分を抜粋したPDFを提出して

ください。

PDF file が大容量になる場合には、大容量文書にて提出もしくはCD に焼くかUSB メモリーに入れて学内便にて提出することも可  
とします。

## 6. 応募受付期間

令和3年11月1日（月）～令和3年11月30日（月）17時必着

## 7. 選考及び選考結果の通知

学内に設置された選考委員会において、書面審査による第一次選考を行います。第一次選考通過者にはヒアリング審査による第二  
次選考を行い、受賞者を決定します。

なお、ヒアリング審査は令和4年1月下旬～2月上旬頃に実施予定です。

また、第一次選考通過者には、令和3年12月末日までに第一次選考のご連絡及び第二次選考ヒアリング審査用の資料の提出を依頼い  
たしますので、よろしくお願いいたします。

受賞決定の通知は、令和4年2月中旬頃までに行い、学内外へ公表します。

## 8. 表彰式

令和4年3月3日（木）午後に行います。また、表彰式後に受賞対象となった研究成果の発表をしていただきます。当日の詳細につい  
ては、受賞者に別途通知します。

## 9. その他

- (1) 選考結果に対する問い合わせには応じかねます。
- (2) 受賞者の氏名、略歴及び受賞の対象となった研究業績等は公表されますので、予めご承知願います。
- (3) 提出書類に含まれる個人情報、厳重に管理し、本表彰の事業遂行のためのみに利用します。

## 10. 書類の提出先及び問い合わせ先

京都大学人事部職員育成課ダイバーシティ推進掛

TEL 075-753-2059（内線 16-2059） E-mail g-e@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp



2022

3/3 木

午後2時～午後3時

第十四回 京都大学

たちばな

Kyoto University 賞 Tachibana Award

# 表彰式

オンラインライブ配信

ご視聴は右記QRコードまたは  
下記URLからお申し込みください。

<https://forms.gle/w8JhNa8GLLzgTvez7>



【京都大学たちばな賞】 京都大学たちばな賞（優秀女性研究者賞）は、優れた研究成果をあげた本学の若手女性研究者を顕彰することによって、研究意欲を高め、我が国の学術研究の将来を担う優れた女性研究者の育成を目的とする賞です。

〔たちばな賞受賞者による研究発表〕

〔プログラム〕

たちばな賞受賞者	
学生部門	<b>中西 智子</b> （医学研究科 博士課程4年） 大規模ゲノミクスによる呼吸器難治性疾患の遺伝的素因の解明と臨床的意義の検討
研究者部門	<b>小田 裕香子</b> （ウイルス・再生医学研究所 助教） 上皮組織の修復を促進する新規生理活性ペプチドの発見
奨励賞受賞者	
学生部門	<b>前田 玉青</b> （理学研究科 博士後期課程2年）
	<b>川崎 純菜</b> （生命科学研究科 博士後期課程3年）

14:00～14:05	開会の挨拶 <b>稲垣 恭子</b> （京都大学理事）
14:05～14:15	表彰式・ワコール賞贈呈
14:15～14:25	総長挨拶
14:25～14:35	来賓祝辞 <b>加茂下 泰生</b> （株式会社ワコール 取締役 常務執行役員）
14:35～14:45	研究発表1 〔学生部門〕 <b>中西 智子</b>
14:45～14:55	研究発表2 〔研究者部門〕 <b>小田 裕香子</b>
14:55～15:00	閉会の挨拶

## 2021 年度 京都大学たちばな賞(優秀女性研究者賞)表彰式

### 受賞者略歴

〔たちばな賞〕



【学生部門】  
中西 智子

現 職： 京都大学大学院医学研究科 博士課程 4 年  
(京都大学マギル大学ゲノム医学国際連携専攻)  
日本学術振興会特別研究員(DC1)

専 門 分 野： 統計遺伝学、呼吸器内科学

研究テーマ： 大規模ゲノミクスによる呼吸器難治性疾患の遺伝的素因の解明と臨床的意義の検討  
(略 歴)

2013 年 3 月 京都大学医学部医学科卒業

2013 年 4 月 天理よろづ相談所病院 初期研修医

2015 年 4 月 天理よろづ相談所病院 呼吸器内科 後期研修医

2018 年 4 月 京都大学大学院医学研究科 京都大学マギル大学ゲノム医学国際連携専攻博士課程

2018 年 4 月 京都大学医学部附属病院 呼吸器内科 非常勤医師 (兼任)

2018 年 4 月 マギル大学医学部 人類遺伝学科 博士課程

2019 年 4 月 日本学術振興会特別研究員(DC1)

2020 年 10 月 フィンランド分子医学研究所 客員研究員 (兼任)

(受 賞 歴)

2019 年 McGill-Kyoto Joint Degree Graduate Award / McGill University Graduate Excellence Award

2020 年 20th Annual McGill Biomedical Graduate Conference Award  
(First place in Genetics and Gene Expression category)

2021 年 McGill-Kyoto Joint Degree Graduate Award

2021 年 McGill University Graduate Excellence Award in Human Genetics

2022 年 第 12 回日本学術振興会育志賞  
(研究概要)

肺は人間にとって必要不可欠な臓器であり、肺気腫、特発性肺線維症など多くの呼吸器疾患は、有効な治療法がない致死的な疾患です。また、2019 年に発生した新型コロナウイルス(COVID-19)の世界的パンデミックは、全世界に、医療的、社会的、そして経済的危機をもたらしています。私は、博士課程を通じて、様々な呼吸器難治性疾患を対象に、ゲノムオミクスデータを利用した病態理解を目指し、臨床に役立つ知見を探求しました。具体的な研究内容は、以下の 2 つのテーマに大別されます。

1. ゲノム解析から診断・予後予測など、臨床現場に直接還元できる情報が得られるかを検討しました。肺気腫を引き起こす遺伝性疾患である  $\alpha_1$ -アンチトリプシン欠乏症(AATD)に着目し、UK Biobank にて、原因遺伝型(*SERPINA1* 遺伝子の PI\*ZZ 型) 保因者のうち多数が呼吸器症状を呈しているにも関わらず適切に診断されていないことを明らかにしました。次に、国際的ゲノム研究コンソーシアムでの共同研究により、第 3 染色体の遺伝型が COVID-19 による呼吸不全に寄与することを発見しました。さらに当該第 3 染色体リスクの影響を詳しく評価したところ、全死亡率や COVID-19 関連の肝障害や肺塞栓にも寄与していることを明らかにしました。重症化への影響はとりわけ 60 歳以下の若年で強い傾向にあり、糖尿病や心疾患など他のリスクに匹敵する独立した因子であることを示しました。以上から、AATD の診断や、若年者の COVID-19 重症化予測に、ゲノム情報を活用できる可能性を示しました。
2. ゲノム解析を用いた、病態解明や治療薬開発への貢献を目指しました。特発性肺線維症と COVID-19 に着目し、メンデルランダム化解析を用いて原因となる血中タンパクを同定しました。特発性肺線維症については FUT3、COVID-19 については OAS1 という血中タンパクが、それぞれの病態に保護的に働くことを世界で初めて発見しました。これらの原因血中タンパクは、将来バイオマーカーや治療ターゲットとして臨床応用できるものと期待しております。

## 2021 年度 京都大学たちばな賞(優秀女性研究者賞)表彰式

### 受賞者略歴

【たちばな賞】



【研究者部門】  
氏名  
小田 裕香子

現 職: 京都大学ウイルス・再生医科学研究所 助教  
専 門 分 野: 細胞生物学  
研究テーマ: 上皮組織の修復を促進する新規生理活性ペプチドの発見  
(略 歴)

2001年3月 京都大学 農学部卒業  
2003年3月 京都大学大学院 理学研究科修士課程修了  
2006年3月 京都大学大学院 理学研究科博士後期課程修了  
2006年3月 博士(理学)の学位取得(京都大学)  
2006年4月-2007年3月 日本学術振興会特別研究員(PD)  
2007年4月-2014年3月 神戸大学大学院医学研究科 助教  
2014年4月-現在 京都大学ウイルス・再生医科学研究所 助教  
(受賞歴)  
2005年11月 特定領域研究「タンパク質の一生」国際会議 ポスター大賞受賞  
2006年3月 京都大学再生医科学研究所 若手研究者発表会 奨励賞受賞  
2018年12月 日本分子生物学会 富澤純一・桂子基金受賞  
(研究概要)

上皮組織は、生体内外の環境を分けるバリアとして働いている。このバリア機能は、タイトジャンクション(TJ)と呼ばれる細胞間接着装置によって担われる。TJの破綻により、ウイルスや細菌などの病原体が上皮細胞層を透過し、炎症が惹起・助長される。したがって炎症の治癒には、TJの速やかな再編成が必要である。しかしながら、TJがどのようにして形成されるかについては未だにほとんど不明である。本研究において我々は、マウス組織由来の分泌液中にTJ形成を誘導する液性因子が存在することを発見した。さらに、この因子は新規ペプチドであることを突き止め、同定に成功した。これは、「生体組織が分泌する生理活性ペプチドによってバリア形成が誘導される」という全く新しい概念を提示するものである。同定したペプチドは、抗炎症性タンパク質として知られる $\alpha 1$ -antitrypsinのC末由来であり、JIP; Junction inducing peptideと名付けた(Oda *et al.*, *Sci. Adv.*, 2021, Oda *et al.*, JAPAN-PA2019-115248; PCT/JP2020/024154)。

また JIP のヒトオルソログは、敗血症患者の血清や乳がん患者の乳汁に高発現しており、炎症やがんの病態との相関が報告されていたが、その機能は不明であった。我々は、ヒトの JIP オルソログもマウスと同様に TJ 形成を誘導することを見出した。そのメカニズムについては、①JIP が MMP-1、-8、-9 によって全長の  $\alpha 1$ -antitrypsin から切り出されること、②JIP が細胞膜に挿入されること、③JIP が 3 量体 G タンパク質である G13 を直接活性化することで、細胞間接着部位のアクチンを再編成し TJ を形成誘導することがわかった。これは、JIP が膜透過ペプチドとして細胞質の G13 を直接のターゲットとする、という新規のメカニズムである。

TJ の破綻と炎症の発症・進行は密接に関係していることが知られている。そこで、DSS 誘発性大腸炎モデルマウスを用いて、炎症病態に対する JIP の効果を検証した。その結果、DSS によって破綻した腸管バリア機能が、JIP の投与により回復することがわかった。同時に、JIP 投与により DSS 腸炎マウスの体重減少や死亡率の上昇が抑制されることがわかった。さらに、JIP 阻害抗体を用いた実験から、内在性の JIP は、炎症時および炎症回復時に発現上昇し、炎症によって破綻した TJ の再構築に貢献することがわかった。

## 2021 年度 京都大学たちばな賞(優秀女性研究者賞)表彰式

### 受賞者略歴

〔奨励賞〕



現 職：京都大学大学院生命科学研究科 博士後期課程 3 年  
日本学術振興会特別研究員(DC1)

専門分野：ウイルス学

研究テーマ：オープンデータを用いたウイルス配列の網羅的探索と感染症研究への応用  
(略 歴)

2017 年 3 月 山口大学農学部獣医学科(現・共同獣医学部) 卒業

2017 年 4 月 山口県職員(獣医師)

2019 年 4 月 京都大学大学院生命科学研究科 博士後期課程 編入学  
日本学術振興会特別研究員(DC1)

【学生部門】

川崎 純菜

2022 年 3 月 京都大学大学院生命科学研究科 博士後期課程 修了見込み  
(受賞歴)

2020 年 10 月 日本獣医学会・微生物学分科会若手奨励賞(第 163 回日本獣医学会学術集会)  
(研究概要)

生物はさまざまなウイルスの感染に繰り返し脅かされてきた。しかし、ウイルス感染症の発生を人類が事前に予測できていたことはこれまでにない。この原因には「いつごろ、どのような生物において、どんなウイルスの流行が発生してきたか」または「これまでにどんなウイルスが出現してきたか」といった、ウイルスの流行パターンおよび多様性についての理解が不十分であることがあげられる。

オープンデータとは、先人たちの研究活動により得られたデータのうち、誰もが二次利用可能なデータを指す。公共のデータベースには、世界各地の多種多様な生物から採取された遺伝子配列データが蓄積されており、なかにはウイルスに感染していた生物に由来するデータも含まれるはずである。したがって、オープンデータはウイルス感染調査の有用なリソースとなりうると期待される。

本研究ではオープンデータの利活用によるウイルス感染調査として、以下の 2 つのテーマに取り組んだ：(1)生物のゲノムデータに存在する「ウイルスの分子化石」を用いたウイルスの流行パターンの追跡、(2)哺乳類および鳥類におけるウイルス多様性の大規模調査。まず(1)においては、ヒトを含む多様な脊椎動物に感染し致死性の脳炎を引き起こすことが報告されているボルナウイルスの分子化石を調査した。その結果、ボルナウイルスが約 1 億年にわたってさまざまな脊椎動物に感染を広げてきたことを明らかにし、白亜紀から現在に至るまでのウイルスの流行と共存の歴史を示した。以上より(1)では、太古のウイルスの流行パターンだけでなく、ウイルスと宿主生物との長期的な共存関係の解明に成功した。次に(2)では、ヒトにウイルスを伝播する危険性が高い哺乳類および鳥類に由来する 4 万以上のデータを用いてウイルス感染調査を実施した。その結果、ヒトに肝炎や脳炎といった重篤な疾患を起こす可能性のある新種のウイルスを、家畜や実験動物、野生動物において同定した。さらには、こうした新種のウイルスが動物においては無症状で感染を広げていることを明らかにした。以上のように(2)では、オープンデータの利活用により、未知のウイルスの発見だけでなく、ウイルスの流行地域や病原性といった感染の特徴を明らかにしたことで、ウイルスの多様性の解明に大きく貢献した。

今後はウイルス感染症の発生予測のため、本研究で得られた成果をさらに発展させ、感染症の発生メカニズムについて理解を深める必要がある。また、オープンデータの利活用によるウイルス感染調査の継続により、感染症の発生を早期に検知するシステムを実現したいと考える。

## 2021 年度 京都大学たちばな賞(優秀女性研究者賞)表彰式

### 受賞者略歴

#### 【奨励賞】



#### 【学生部門】

前田 玉青

現 職: 京都大学大学院理学研究科 博士後期課程 2 年

日本学術振興会特別研究員(DC1)

専 門 分 野: 動物行動学

研究テーマ: ドローンによる観察から明らかにする野生化ウマの重層社会

(略 歴)

2018 年 3 月 東京大学農学部 卒業

2020 年 3 月 京都大学大学院 理学研究科修士課程修了

2020 年 4 月 日本学術振興会特別研究員(DC1)

2023 年 3 月 京都大学大学院 理学研究科博士後期課程終了見込み

(受賞歴)

2021.03 The 15th International Symposium Primatology and Wildlife Science, 最優秀ポスター発表賞

2020.12 第 33 回日本ウマ科学会学術集会, 優秀発表賞

2020.03 Scientific reports, Top 100 Downloaded Article in Ecology 2019

2019.09 The 2nd International Wild Equid Conference, 優秀学生ポスター発表 (2nd prize)

2019.03 The 11th International Symposium Primatology and Wildlife Science, 最優秀口頭発表賞

2019.01 第 63 回プリマーテス研究会 最優秀口頭発表賞

2018.03 The 9th International Symposium Primatology and Wildlife Science, 優秀ポスター発表賞 (2nd prize)

(研究概要)

「重層社会」とは、小さな「群れ」が複数集まって、さらに大きな「集団」を作る社会のことを言う。我々ヒトの社会も、家族が最小単位の「群れ」にあたり、家族が集まって地域社会となり、それらがさらに民族・国家など大きな「集団」となる重層性をもつ。重層社会は、動物社会の中で最も複雑なものの一つと言われており、社会の複雑性や多様性がどのように進化したかを知る上で重要な研究対象である。しかし、定量的な研究は限られており、群れと集団の定義も記述的なことが多いのが現状であった。

重層社会の研究が進んでこなかった原因として、集団を俯瞰することが困難であることが挙げられる。そこで、本研究では、ドローンを用いた観察手法を開発した。ポルトガル・アルガ山に生息する野生化ウマを対象に、100 頭を超えるウマの正確な位置・行動の情報を得ることに成功した。個体間距離とそれに基づく社会ネットワーク分析により、ウマが重層社会を持つことを検証し、「群れ」・「集団」を定義した。このような個体間距離を用いた定量的分析は他の動物種にも応用可能な手法である。重層社会の種を超えた共通の定義づけや、種間・個体群間比較を進める上で非常に有用であると考えられる。

さらに、重層社会の維持機構を調べるため、ウマの集団行動について研究を行っている。重層社会で集団行動の研究を行った例はほぼ皆無だった。魚や鳥の群れでは、近接個体間のローカルな行動調整が連鎖的に広がって群れ全体の集団行動が創発されていて、個体はグローバルな視点をもっていないと考えられていた。しかし、シミュレーションを用いた研究から、ウマは距離的に離れた他の群れの行動も認識しながら、自らの行動を調節していることが示唆された。このような群れ間におよぶ同調性のおかげで、ウマは重層社会としてのまとまりを維持することができるのだと考えられる。

以上のように、本研究ではドローンという新たな技術を取り入れることで、重層社会について新しい知見を明らかにしてきた。今後、時系列比較や種間比較などを通して、重層社会の進化や機能のさらなる考察の発展が期待される。

京都大学の受験を目指す  
女子高生のみなさんへ

どんな職業をするの？

そんなことできるんだ！



京都大学の受験を目指す  
女子高校生の皆さん！  
受験の前に京大の教育・研究を知り、  
学生や研究者と話をしませんか？

参加  
無料

オンライン

女子高生

京都大学。

車座  
フォーラム

知ろう！  
語ろう！

何ができるの？

京大ってどんなところ？

開催  
日時

2021 11 / 7 [SUN]  
9:30-12:30 8時50分から  
接続開始

募集定員

女子高校生100名程度／保護者50名程度(先着順)

申込方法

男女共同参画推進センターホームページをご覧ください。  
<https://www.cwr.kyoto-u.ac.jp/>

申込期間

7.12 [月]-9.17 [金]

主催／京都大学男女共同参画推進センター 共催／京都大学教育推進・学生支援部入試企画課

10/10(日) 9時～15時に参加必須のZoom接続テストを実施します

[お問合せ] MAIL [w-shien@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp](mailto:w-shien@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp) TEL 075-753-2437

〒606-8303

京都市左京区吉田橋町 京都大学男女共同参画推進センター





# 知ろう！語ろう！

# 京都大学。

京都大学がどんなところなのか、大学ではどんな勉強や研究をするのか、また大学卒業後の進路にはどんなものがあるのか、などなど、色々な疑問をお持ちのみなさん、京都大学の企画する

「女子高生・車座フォーラム2021」にいらっしやいませんか？

京都大学男女共同参画推進センターでは、

京都大学での学生生活や研究者の仕事を知ってもらおうと

「京都大学を知ろう 学生・研究者と語ろう」を企画しました。

フォーラムでは、理系・文系それぞれにどんな研究分野や領域があるのか、

なぜ今の分野を選んだのか、といった大学進学に関わる話をはじめ、

試験勉強、進学後の大学生活、研究の面白さや苦労など、

さまざまなテーマについての疑問に、学生や研究者がお答えします。

保護者の方々の疑問にも、学部生や大学院生がお答えします。

どうぞ奮ってご参加ください。



あなたはどの学部を知りたい？

## GROUP WORK

グループワーク希望学部

- A 文学部
- B 教育学部
- C 法学部
- D 経済学部
- E 理学部
- F 医学部(医学)
- G 医学部(人間健康科学)
- H 薬学部
- I 工学部
- J 農学部
- K 総合人間学部

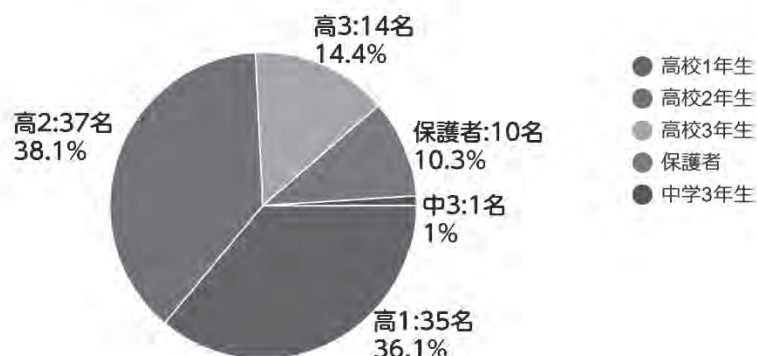
当日の流れをチェック！

## PROGRAM [プログラム]

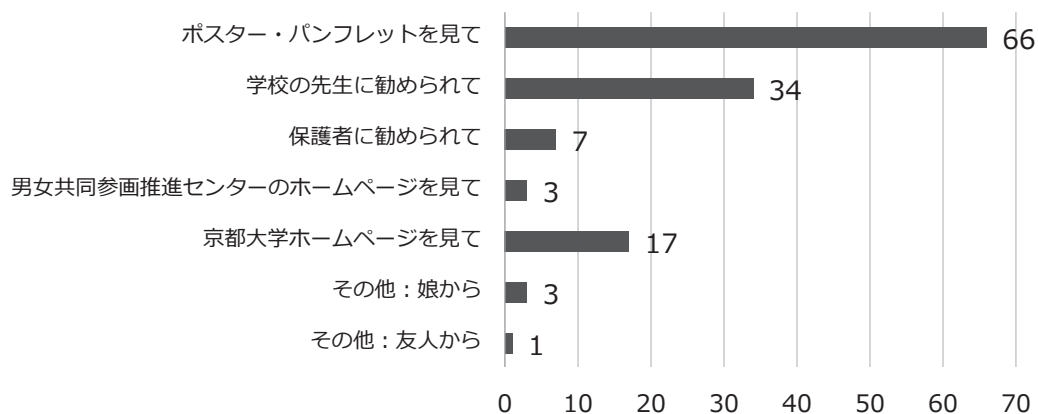
8:50 -	接続開始
9:30 - 9:40	フォーラム開会 センター長挨拶
9:40 - 9:55	「おもろチャレンジ」体験談
10:00 - 11:30	グループワーク「車座になって話そう」 <small>高校生</small> 講師・京大生とのグループワーク <small>保護者</small> 京大生との交流
11:35 - 12:10	まとめの全体会
12:10 - 12:30	入試説明(動画配信)
12:30	閉会

女子高生・車座フォーラム 2021 アンケート集計（参加者 110 名中 97 名回答）

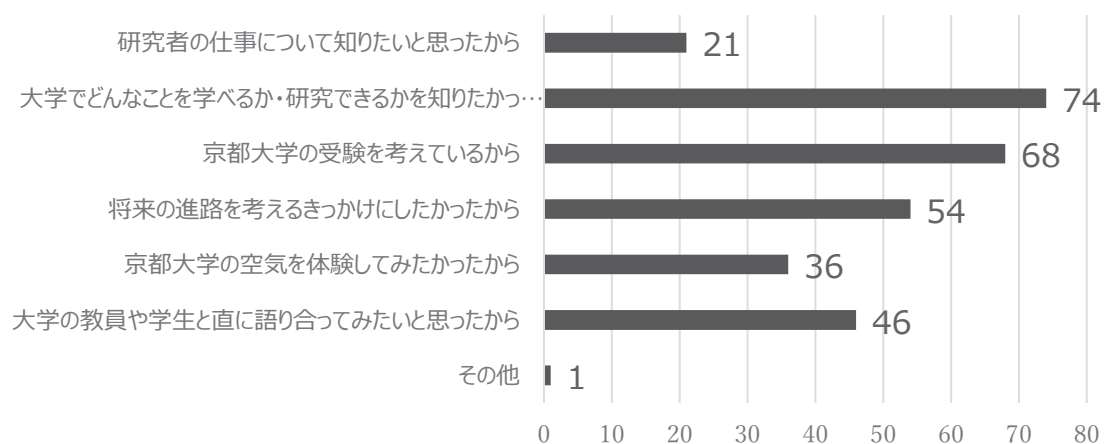
あなたの身分を教えてください。



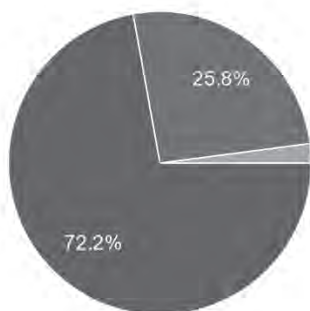
あなたはこの車座フォーラムを何でお知りになりましたか？（複数回答可）



あなたがこの車座フォーラムに参加しようと思った動機は何ですか？（複数回答可）

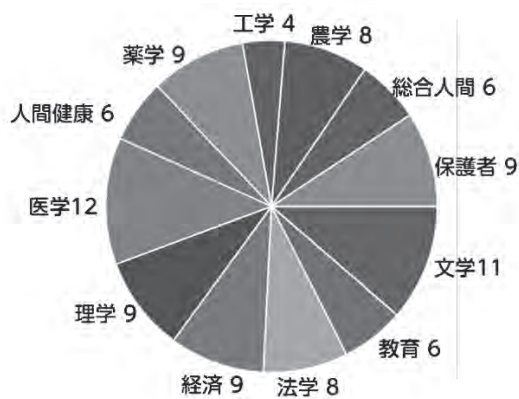


本日のフォーラムについて(おもろチャレンジの紹介)



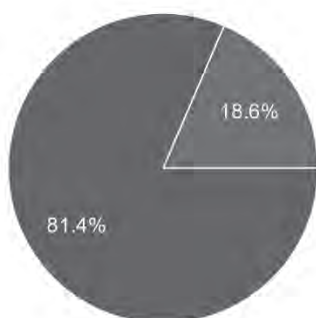
- 満足
- やや満足
- 普通
- やや不満
- 不満

参加したグループを教えてください。



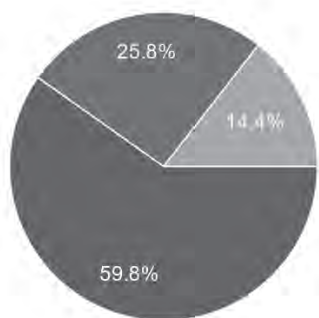
- 文学
- 教育
- 法学
- 経済
- 理学
- 医学
- 人間健康
- 薬学
- 工学
- 農学
- 総合人間
- 保護者交流会

本日のフォーラムについて(グループワーク・保護者交流会)



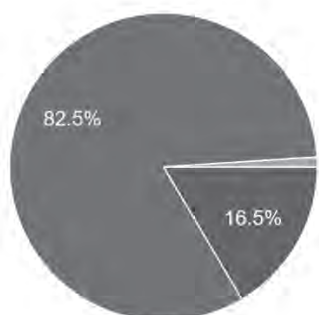
- 満足
- やや満足
- 普通
- やや不満
- 不満

## 入試説明について



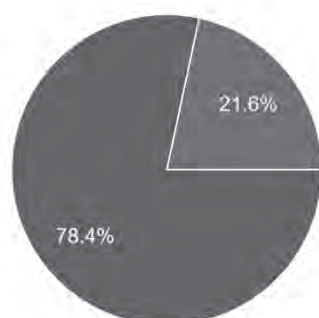
- 満足
- やや満足
- 普通
- やや不満
- 不満

このフォーラムに参加して、将来、研究者になりたいと思いましたか？  
また、保護者の方はお子さんに研究者を目指してほしいと思いましたか？



- 研究者になりたい。なってほしい。
- 研究者も将来の選択肢のひとつである。
- 研究者になりたくない。なってほしくない。

このフォーラムに参加して、京都大学を受験したいと思いましたか？  
また、保護者の方はお子さんに京都大学を受験させたいと思いましたか？



- 受験したい。してほしい。
- 受験しようか迷っている。わからない。
- 受験しない。させない。

## 自由記述(感想・ご意見)

- ・普段はお聞きできないような貴重な講義を受けることができ、非常に勉強になりました。
- ・仕事をする上で、楽しさを見つけることの大切さを学びました。ありがとうございました。
- ・将来を考えるうえでとても参考になりました。ありがとうございました。
- ・オンラインでも京都大学の雰囲気を感じることができてとても良い時間になりました。ありがとうございました。
- ・大学受験に関連した双方向のイベントには参加したことがなかったためとても新鮮でした。ありがとうございました。
- ・京大生の方だけでなく、先生ともお話しすることができてとても有意義でした。ありがとうございました。
- ・質問に親身に答えてくださってありがとうございました！
- ・少人数でわかりやすい説明をありがとうございました。
- ・このような機会があれば、また参加したいと思います。  
学生の皆さんに会って話したい気持ちもありましたが、関東に住んでいる身としては、オンラインでの開催は助かりました。ありがとうございました。
- ・実際に学生のお話をお聞きして、進路を考える参考になりました。ありがとうございました。
- ・受験を考えている京都大学の先生や在学生の方に、直接質問することができ、お話もとても分かりやすく、有意義な時間でした。また、京都大学に行きたいという思いも強まりました。このような貴重な場を設けて下さりありがとうございます。
- ・学部出身の教員の方や学生さんと話が出来るととても参考になった自分があまり興味ない学部から学部への質問や、受けるつもりのない特色入試の説明の時間が長いと思った
- ・本当に貴重な体験をありがとうございました。笑顔で答えて頂きとても楽しかったです。またこのような企画をお願いします。
- ・最後、特色入試の説明時間が長かったので、もう少し一般入試についても時間配分して欲しかったです(多数派は一般入試で受けると思うので)
- ・先輩方のお話はとても興味深く、京都大学に行きたいとより強く思いました。本日はありがとうございました。
- ・パンフレットを見ただけでは分からなかったようなこと、例えば進振りや学科間の移動のことなどを知ることができてよかったです。何より、学部生の方と教員の方に直接質問させていただいて嬉しかったです。より京都大学に行ってみたいという気持ちが強まりました。本日は本当にありがとうございました。
- ・農学部の講師の方が、ホームページについての意見も伺って下さり、こちらの気持ちもくみ取ろうとしてくださっているのだなと感じてうれしかったです。実際に京大生や先生の方々と交流することで京都大学への関心が深まりました。ありがとうございました。
- ・詳しくご説明いただいたので、よく分かりました。ありがとうございました。
- ・とても勉強になる楽しい時間でした。もともと京都大学に惹かれていたのですが、さらに入学したいという気持ちが強くなりました。勉強への熱意も高まっています。ありがとうございました。
- ・とても楽しい時間でした。実際にお話を聞かせていただいて、自分の興味を追求できる環境が魅力的だと感じました。ほんとうに幅広い学問に触れることが出来ることや、いろいろな興味を持った生徒たちとともに学びたいと思いました。
- ・娘の受験したい学部の話が聞きたかった
- ・質問ができる貴重な機会をありがとうございました。京都、ドイツにいらっしゃる大学生と、保護者(各地)とが気軽に繋がれるのはとても良いですね！皆様素敵なお方ばかりでした。おもしろチャレンジの最初の方のカエルのイラストが共有されていなかったのをちらっとだけ振り返りになったのが残念でした。すごく素敵な絵だったのでもっとじっくり見たかったです！スライドも工夫がいっぱいで面白かったです。環境と教育の内容もとても興味深く、知ることができて良かったです。参画センターの方々をはじめ、今日のために準備くださった皆様、本当にありがとうございました。
- ・休日の中、先生たちや女子学生さんと実際にざっくばらんにお話しする事ができて有意義な時間が過ごせました。皆さんとても素敵に輝いていました。是非娘も研究者になる夢を叶えて欲しいと思いました。遠方なのでオンラインであって良かったです。今後もオンラインも併用して下さると地方から参加しやすいです。
- ・とても、いい経験になりました。大学の雰囲気が伝わりました。申し込みの時点と現在希望する学部が変わり年に何度か開催して頂くといいなと思いました。
- ・娘は模擬試験と重なり参加出来ませんでした。保護者が参加出来て良かったです。  
学生の生の声を聞いて参考になりました。理系の学生が多かったので文系の話しをもっと聞きたかったです。保護者としては受験の宿、当日のことや住まい、暮らし、親が出来ることなどを直接聞いてとても助かりました。娘にも京都大学での生活を楽しんでほしいです。本日はありがとうございました。
- ・ネット環境が安定していなかったため終盤は娘と一つの端末から参加しました。京都大学のみなさんと直接お話しできる貴重な機会をありがとうございました。
- ・すごく楽しそうな学校で絶対に入りたいと思った。学部も迷ってきてしまったので、ビジョンを思い浮かべながら検討していきたい。
- ・進路について迷っているところも多かったのですが、先生や先輩方のお話を聞く機会が持て、とても参考になりました。

オンラインということもあり、参加しやすかったです。

- ・コロナ禍の影響で、高校1年生時のオープンキャンパスに訪れたきりでしたが、今回のオンライン車座フォーラムに参加することができ、受験のモチベーションになりました。  
新型コロナウイルスの感染終息後もオンライン開催していただけると、京都大学志望の後輩も気軽に参加できると思いますので、是非検討していただければ幸いです。  
ありがとうございました。
- ・京大の先生や生徒の方とお話しするのは初めての体験で、とても興味深かったです。
- ・は今薬学部・医学部で迷っています。今回は時間の都合もあると思いますが、1つの学部しか選べず医学部の方と直接話す機会がなかったことが少し残念です。私のように学部を迷っている方はいると思うので複数の学部の人が混ざり合っただけで話す場面や時間を短くして2つの学部に参加できると嬉しいです。地方学生にとってオンラインでの開催は参加しやすくとてもありがたいです。年間の開催数も増やしていただくと他の学部も見れていいと思います。また今まで持っていた京都大学のイメージが今回学生さんや先生と話すことで変わりました。空気感を感じることができ、大学生活についてより具体的なイメージを持つことができ良い機会となりました。本日はありがとうございました。
- ・研究内容や京都大学のことについてたくさん学ぶことができたので、将来の選択に役立てようと思いました。ありがとうございました。
- ・とても有意義な時間を過ごすことができました！今後の勉強の励みにさせていただきます！本日はありがとうございました！！
- ・とても面白く、今後についての参考になりました。ありがとうございました。
- ・理学部でしたが、グループワークとても楽しかったです。京都大学の理学部は、分野がとても自由で、やりたいことがいろいろできそうな環境でとても魅力的でした。様々なことを話していただき、ありがとうございました！また、他の学部も参加してみたかったなと思いました。貴重な機会を設けてくださり、すごく為になる時間でした。本当にありがとうございました。
- ・グループワークで想像していたよりリラックスして楽しくお話を聞くことができました。大学生になるのはまだ先の事ですが、早く京都大学に入学したいと思いました。有意義な時間をありがとうございました。
- ・今回の車座フォーラムでは、教授や京大生の方々と直接交流することが出来て、とても良い経験になりました。私は進路に悩んでいたのですが、教授や京大生の方が、様々な分野の研究をしたいと思っている人にこそ、自由が校風の京都大学がおすすめであると話して下さって、自分の進路の幅が広がりました。宮崎から京都大学まで行くのは難しいので、今回はオンラインでこのような機会を与えて頂き、とても楽しかったです。これからもこのような機会をオフラインが可能になっても、オンラインでも与えて頂けるとありがたいです。本当にありがとうございました。
- ・大変いい経験をさせていただきました。このようなフォーラムを企画していただきありがとうございました。
- ・貴学に出願しているのですが、今回のフォーラムに参加し、学生の方の生の声を聴かせていただいて、絶対に入学したいという意志がより強くなりました。
- ・各部の話し合いでは、質問に対して詳しく答えてくださったので、とてもよかった。
- ・素晴らしい機会をありがとうございました。ずっと気になっていた古今和歌集の質問に答えていただけてとても嬉しかったです。今までぼんやりと「研究」って面白そうだと思っていたのですが、今回京都大学の方と話せたことで、具体的にイメージを持つことができ、さらに研究への憧れの気持ちが生まれました。私は理系科目が苦手で、今の段階では全く京都大学の合格レベルには達していません。なかなか結果が出ず、いつも嫌な気持ちで勉強していました。そんな私が今回一番心に残った言葉は「一般教養は学問の buffet」です。天下の京大生はそういう捉え方をしているのか！ととても感動しました。数学や理科も、国語や社会と同じように楽しんでいけば、何か変わるかもしれない。その積み重ねが良い研究者になることに繋がると思うとわくわくしてきました。好きなことに真っ直ぐに情熱を注ぐ京大生と、貴重な史料とともに勉強できる日々を実現するために、まずは高校での「学問の buffet」を味わい尽くそうと思います。今度はキャンパスで、お会いしたいです。本当にありがとうございました。これからもよろしく願いいたします。
- ・保護者のグループの録画されたものを、また他のグループの録画を参加した高校生が見れるようにしてほしい
- ・今回のフォーラムを通じて、今までは知りえなかった現場の声、生の声というものを直接聞くことができ、沢山勉強になりました。また、京都大学という日本最高峰の場で、実際に学びを深めたいと強く感じました。来年も楽しみにしております。本当にありがとうございました。
- ・とても勉強になる楽しい時間でした。もともと京都大学に惹かれていたのですが、さらに入学したいという気持ちが強くなりました。勉強への熱意も高まっています。  
ありがとうございました。
- ・とても面白く、今後についての参考になりました。ありがとうございました。
- ・京都大学の雰囲気を感じる事ができてとても良かったです。女子高生のためのフォーラムだったためか、素敵な女性教授陣ばかりで女性にとって良いモデルが近くにいるって素敵だなと感じました。娘にもぜひ頑張ってもらいたいです。
- ・楽しかったです。将来の夢が少し確立されたような気がします。ありがとうございました！

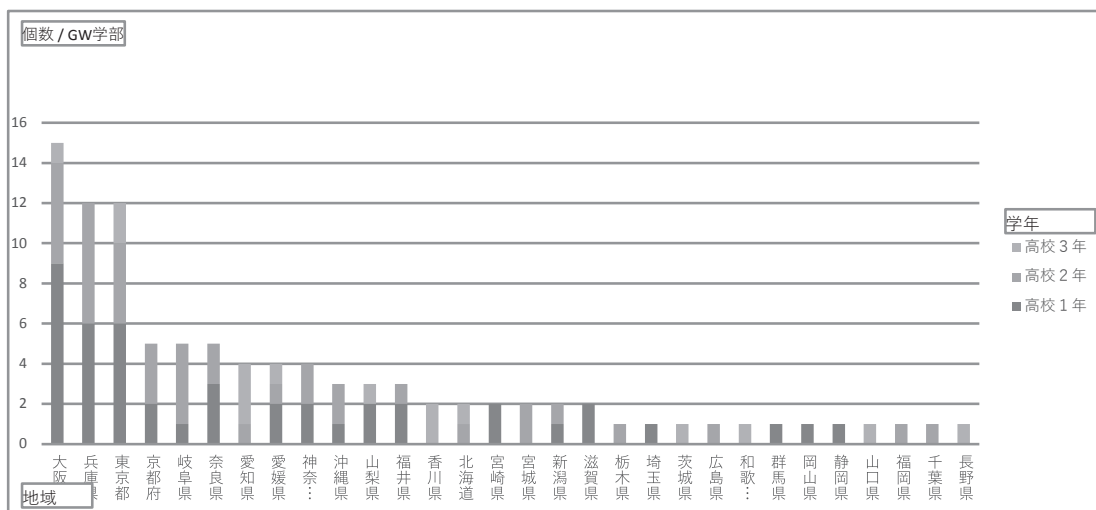
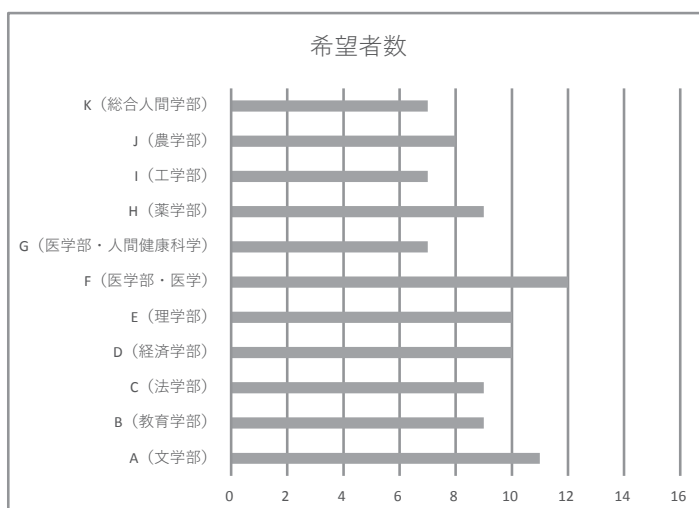
2021車座フォーラム申し込み状況

個数 / GW学部	列ラベル			
行ラベル	高校1年	高校2年	高校3年	総計
大阪府	9	5	1	15
兵庫県	6	6		12
東京都	6	4	2	12
京都府	2	3		5
岐阜県	1	4		5
奈良県	3	2		5
愛知県		1	3	4
愛媛県	2	1	1	4
神奈川県	2	2		4
沖縄県	1	2		3
山梨県	2		1	3
福井県	2	1		3
香川県			2	2
北海道		1	1	2
宮崎県	2			2
宮城県		2		2
新潟県	1	1		2
滋賀県	2			2
栃木県		1		1
埼玉県	1			1
茨城県			1	1
広島県		1		1
和歌山県			1	1
群馬県	1			1
岡山県	1			1
静岡県	1			1
山口県			1	1
福岡県		1		1
千葉県		1		1
長野県			1	1
<b>総計</b>	<b>45</b>	<b>39</b>	<b>15</b>	<b>99</b>

学部	希望者数
A (文学部)	11
B (教育学部)	9
C (法学部)	9
D (経済学部)	10
E (理学部)	10
F (医学部・医学)	12
G (医学部・人間健康科学)	7
H (薬学部)	9
I (工学部)	7
J (農学部)	8
K (総合人間学部)	7
合計	99

◆保護者申込者数

11



そう遠くないむかし、  
女子高生だったあなたに。

あなたの母校で  
京都大学の魅力を伝える

# 女子高生 応援大使 事業のご案内

# SHE ≡ YOU

そこにいるのは、あの頃のあなたです。

本事業は、多数の卒業生(女性)が本学に入学している高校について、「応援大使」として卒業生である本学の女子学生に母校訪問を行っていただき、座談会のような形での話し合いの場を通じて、京都大学の魅力や大学生としての生活、学習方法等におけるアドバイスなどを直接後輩たちに伝えることで、母校の後輩が進路等について考える手助けをしていただきたいという趣旨により、実施するものです。

なお、令和3年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、Web会議システムを利用した形式で実施します。

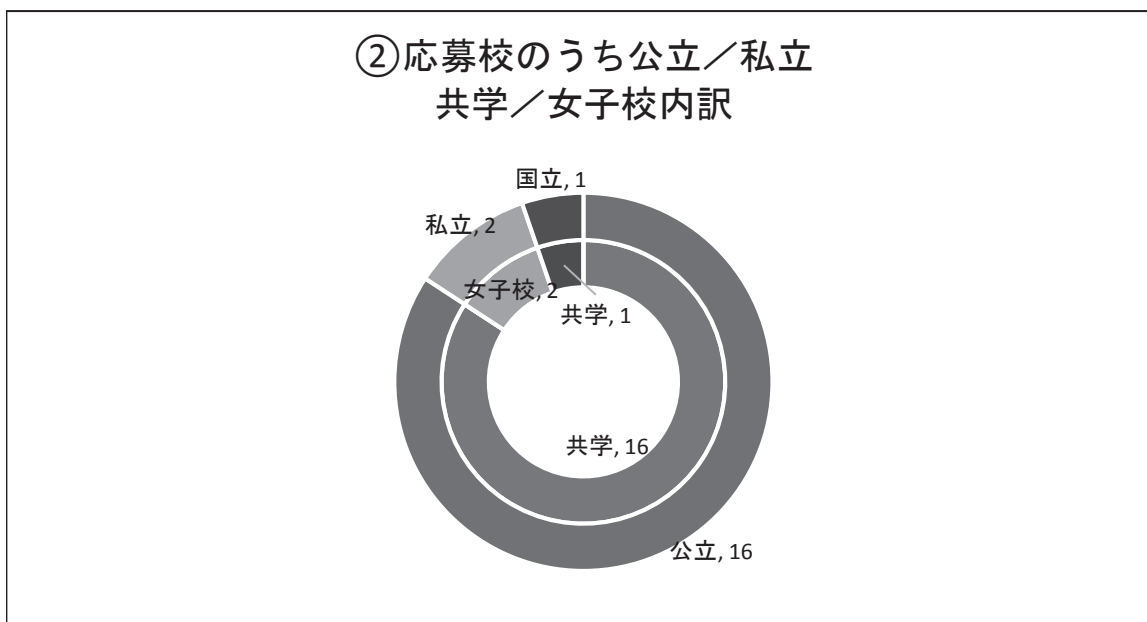
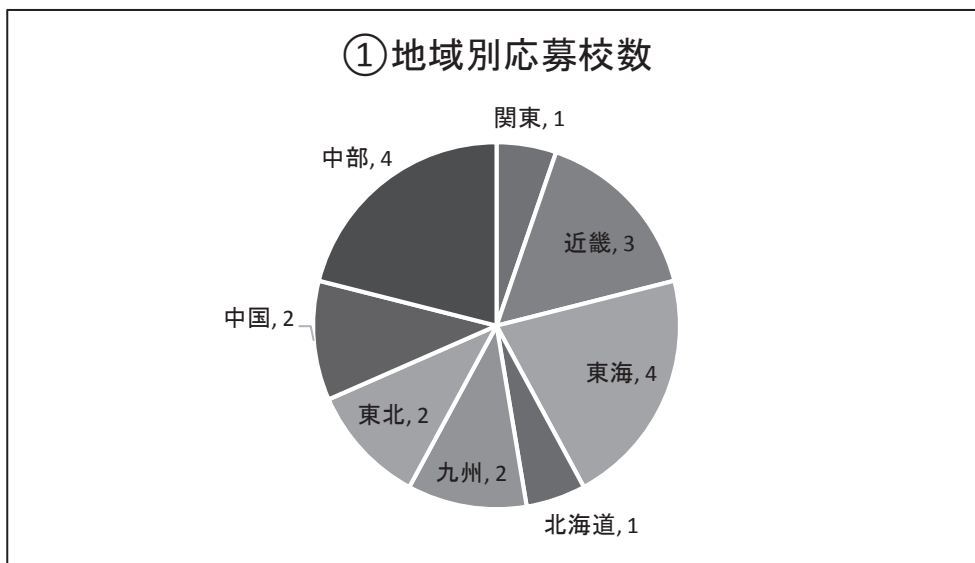


## 令和3年度 女子高生応援大使事業実施状況

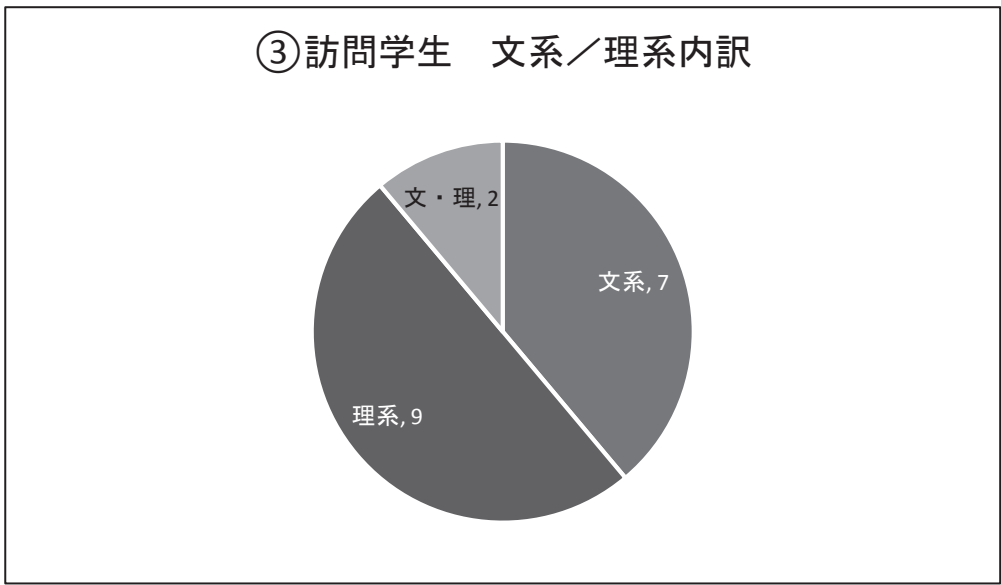
- ・応募校数: 19校
- ・うち事業実施校数: 18校
- コロナウイルスの影響による行事見直しにより中止: 1校

### 1. 応募校数集計

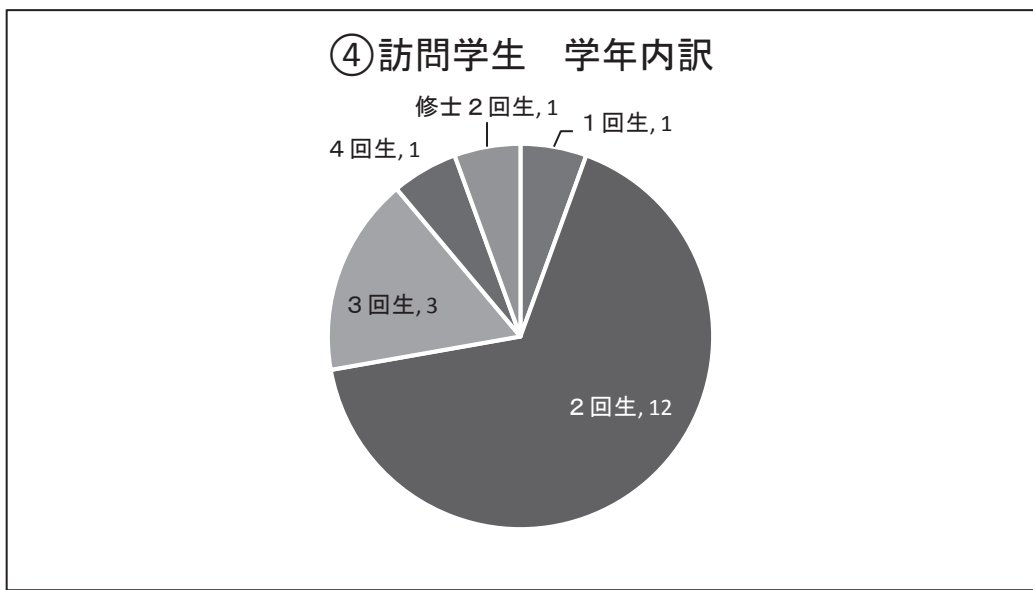
応募のあった19校について集計



2. 訪問学生集計  
実際に訪問した18校、18名について集計



※総合人間学部について、「文・理」と表記。



## 令和3年度女子高生応援大使

### 【実施後の感想】

・高校1年生ということで、まだ高校生活にも慣れてきたばかり、大学入学はまだ先の話と感じているようだったので、学生生活の様子や体験談を話して具体的なイメージを持ってもらえるよう心がけた。参加してくれた高校生の志望学部が私の所属と違ったため、学業面の魅力についてはざっくりとしか伝えられなかったように思う。高校生からの質問としては、受験勉強に際しての苦手教科の克服、モチベーションの保ち方などであった。最後に「京都大学に行きたい気持ちが増した」と言ってくれたので、本事業の目的は果たせたのではないだろうか。

・受験勉強や模試の成績についての質問が多かった。このことから、みな勉学に対する意識が高く、早い時期から受験を意識し始めていると感じた。

・地元を出て一人暮らしをすることに、不安や心配を抱く生徒が多いと感じた。

・部活動等の課外活動と勉強を両立する方法についても問われ、課題活動にも熱心に取り組む人が多いことがわかった。

・高校時代1日何時間くらい勉強していたか、塾でたくさん授業を取るべきか、数学をどうやって勉強していたか、一人暮らしはどんな感じか、1ヶ月の出費はどのくらいか、など。高校時代のことなどはうろ覚えのことも多かったので思い出しながら話した。自分を振り返るいい機会になった。

・質問の内容等から、高校生の学習意欲や問題意識が高いことを感じた。また、志望校を高く設定することに対しても意欲的であると感じた。

・大学生活や一人暮らしに対して不安を持っている生徒が多いように感じました。経済的に親御さんから地元を出ることを反対されているような生徒もいて、一人暮らしにかかる費用についての質問も受けました。また、京都大学は私の高校ではかなり成績上位でないと合格するのが厳しい大学なので、学習方法などについてもよく聞かれました。

・あまり自分が受験期何をしていたのか、明確には覚えていなかったため、伝えられることは少なかったけど、二人とも熱心に話を聞いてくれているのがzoom上でも伝わってきて、とても嬉しかった。自分の受験期を思い出して、自分の時と同じような悩みや相談事がかかっているのが伝わってきて、大変だろうなと思った。初対面の二人だったけども、心から頑張ってもらいたいと思った。

・高校生からの質問は、計画を達成できなかったときの対処法、モチベーションの保ち方学校生活の送り方の工夫、京都大学でしかできないこと等があった。また、実施して感じたことは、勉強方法に関する質問は意外と少なかったということだった。

・学習方法が知れて勉強になった、京都大学の特徴や大学生活をイメージすることができて受験勉強のモチベーションが上がったといった感想がありました。質疑応答では、私の大学生活（アルバイトや部活、時間の使い方）についてももう少し詳しく聞く質問があったり、愛

知からだと下宿をすることになるのでその際の費用や生活にかかる費用なども聞かれました。

・前回（2019 年度実施、対面）に比べて生徒の方の反応は少々掴みにくかった。中学生も聞いて下さり、母校での京都大学への興味が高まっていると感じた。

・質疑応答の内容は「勉強のモチベーションを保つ方法・眠くなった時の対処法」「いつから何を勉強していたか」「時間がない中でどのように勉強内容を絞っていたか」のようにやはり受験勉強に関する質問が多く見られ、他にも「京都大学に入る決め手（他大学との違い）」「将来をどこまで見据えていたか」のように大学を決めるための質問や「大学生活のサークルでの具体的な内容、夏休みなど休みの過ごし方」など大学生のプライベートに関係した質問も見られました。

・私が高校生の際に知りたかったと感じた受験勉強関係のことを中心に説明をしたのですが、高校生からの質問を受けてここで困ったときはこうしていたよ、のような対処法がもう少しあればよかったと思いました。また、京都大学に決めた理由を他大学と比較してももう少し詳しく述べることができたらと感じました。

・母校の後輩たちに京都大学の魅力や大学生活についてお伝えすることができました。自分が高校生のころ大学についてどのようなことを知りたかったかを想像するのが難しくはありましたが、感想をお聞きすると京都大学の雰囲気についてお伝えしたことが印象に残った生徒が多くおり、京都大学特有の雰囲気についてうまく伝わったのではと思います。

・大学生活についての話よりも、大学受験についての話の方が需要があるのだと感じた。

・最初にアイスブレイクの意味合いで、京都の写真を紹介しました。少人数での座談会だったので、ここで打ち解けて、この後質問をたくさんしてくれたのでうまく進められたと思います。話が盛り上がり、一時間半になりましたがとても充実した時間でした。母校と言うことで思い入れもあるので、受験に勝利して京大に来てくれると嬉しいなと思いました。

・高校生から、話題のひとつひとつに対して、細かく質問が寄せられ、意識の高さを感じました。苦手教科の数学とどのように向き合ったかという話題について、具体的に教科書、参考書をどのように使っていたかという質問がありました。京都大学の良いところは何ですかという質問があり、自分の「好き」を躊躇なく追及している人たちが多く、京都という街の影響もあり、日本で起こっている事を相対化して捉えることができること、と答えました。

・苦手な数学や英語をどう勉強していたか、成績 1 桁とっても親からもっと頑張れと言われるがどうすればいいか、平日で部活があった日はどれくらい勉強していたか、などといった勉強面の質問から、座右の銘は何か、高校生のうちに恋愛しておいたほうがいいのか、など面白い質問もあった。実施してみて、最初はためらいつつも結局質問が途切れずに来ていたので、高校生が大学生に直接話を聞く良い機会になったのではないかと思います。

### 【困ったこと・改善点】

・実施日程が高校の定期試験直前に被ってしまったこともあり、参加者が少ししか集まらなかったのが残念だった。また、コロナ禍という状況下で仕方ないことだが、対面で実施できたらそれに越したことはないと感じた。

・高校側のzoomの音声接続などが最初うまくいかなかったのですが、私は問題ありませんでしたが、事前に接続確認などする時間を設けておくこと今後スムーズだと思います。

・大学と、高校と、女子高生応援大使とでそれぞれが何をすればよいのか分かりづらいので、誰が誰に連絡しなければいけないなどを明確化してほしい。

・わたしが高校生であったときはまだコロナがそこまで広まっていないときでありオープンキャンパスや文化祭、高校生活の状況が今と大分異なっていたことで、先生に現在の高校生活の様子を確認はしたのですが、まだまだわかっていなかった部分もあり今の生活にそって高校生活でおすすめすることを説明するのが難しかったです。オープンキャンパスについては調べたらわかったのですが、他にもコロナ禍になりどんな風変わったのかが知れたらよかったですと思いました。

・参加した中高生の文理など興味がある分野がわからず、適切な応答ができなかった質問もあった。

・zoom ライセンスの付与や接続テストの詳細など、進め方についての説明が不足していたので、コミュニケーションが余計にかかってしまいました。(ただ、対応が速かったので大変助かりました。ありがとうございました)

・高校からの連絡が、大学からの連絡からかなり時間が空いて来たので、本当に実施するのかどうか分からず戸惑いました。

・対面とは違い、向こうの雰囲気が感じられないため、自分の答えに満足しているのか、相手は有意義と考えてくれているのかがわからず、不安になった。やはり対面で開催できるに越したことはない。



女性のみなさん  
その悩み、

# メンターに 相談してみよう。

研究分野の  
選択に  
アドバイスが  
欲しい!

研究者に  
なりたい!

キャリアパス  
について  
相談したい!

頼れる女性の先生方がメンターとなり、  
学生・院生・研究者（女性限定）の  
疑問・悩みをお聞きします。  
あなたの悩みをご相談ください。

## 対象

- ◎女子大学院生
- ◎博士後研究員（ポスドク）
- ◎若手女性研究者

01



下記アドレスから受付用フォーマットをDLください。

<https://qr.paps.jp/ZH5jB>

02



必要事項をご記入のうえ下記アドレスまでメールでご送付ください。

[w-shien@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp](mailto:w-shien@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp)

お問い合わせは



**075-753-2437**

【京都大学男女共同参画センター】

くわしくは  
コチラから! /

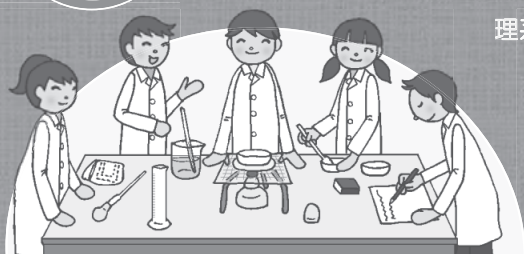


参加無料!

第16回 女子中高生のための

# 関西科学塾

申込締切  
6/20(日)



理系大好き女子はもちろん、  
文・理の進路で迷っている人も大歓迎!  
好きなプログラムを選んで申し込みを!

お申し込みはWebサイトから▶  
<http://www.kansai-kj.org/>



**A** 2021年 **7/11(日)** 13:30-16:40

大阪府立大学(オンライン) **身近なロールモデルと気軽に話そう!**

◆開校式  
◆講演 ◆理系女子大学生体験談  
◆理系女子大学生との交流会

中高生対象  
定員100名

**B** 2021年 **8/18(水)** 午後

株式会社ダイセル **どんな仕事? 女性技術者に何でも聞いてみよう!**

(インバージョン・パークよりオンライン)  
◆研究所見学  
◆女性技術者との交流会

中高生対象  
定員50名

**C** 2021年 **10/24(日)** 大学での実験を体験!

大阪大学、大阪市立大学、京都大学(オンライン)

◆実験・実習 ※詳細は裏面

中学生対象  
定員178名

**D** 2021年 **11/7(日)** 大学での実験を体験!

奈良女子大学、神戸大学(対面またはオンライン)

◆実験・実習 ※詳細は裏面

高校生対象  
定員148名

**E** 2021年 **12/12(日)** 午後

大阪府立大学(オンライン) **大学の研究施設を見てみよう!**

◆研究施設見学  
◆交流会

研究について聞いてみよう!

中高生対象  
定員100名

**F** 2022年 **3/19(土)**・**3/20(日)** 午後

大阪府立大学(対面) **実験結果をまとめて発表してみよう!**

◆実験・実習とまとめ  
◆発表会、表彰式

中高生対象  
定員100名

**A** 「DDS研究に至るまで—あるリケジョのリアル」

児島千恵 (大阪府立大学大学院工学研究科応用化学分野 准教授)

ドラッグデリバリーシステム(DDS)ってご存知ですか? 今、注目の新型コロナウイルス・ワクチンも、画期的なDDS開発なしには実現しませんでした。この講演では、一人のリケジョがDDS研究に至るまでをリアルにお届けします。



**A** 「理系と社会をつなぐ ~サイエンス・コミュニケーションの現場から~」

吉岡亜紀子 (弁理士/大阪市立科学館科学デモンストレーター)

おもしろい科学実験を見つけたら人に教えたくくなりますね。ほんまや! おもしろい! と言われたら嬉しくなりますね。科学を人に伝える時、おもしろさをわかってもらうためには、どのようなことに気を付けるとよいでしょうか。実験をしなから一緒に考えてみましょう。



**B** 研究所見学 **株式会社ダイセル とは?**



人類初の人工プラスチックであるセルロイド(硝酸セルロース)の製造からはじまった創業100年を超える歴史ある企業です。化学製品、プラスチックだけでなく自動車エアバッグのガス発生装置など、幅広い技術と製品で社会に貢献しています。 <https://www.daicel.com/>

主催: 大阪府立大学、一般社団法人関西科学塾コンソーシアム  
共催: 大阪大学、奈良女子大学(理学部、男女共同参画推進機構)  
京都大学(男女共同参画推進センター、大学院理学研究科)  
神戸大学男女共同参画推進室、大阪市立大学  
協賛: (株)ウイルウェイ、ロート製薬(株)、(株)ダイセル、昭和電線ホールディングス(株)  
(株)ダイヘン、(株)フジキン、中西金属工業(株)、(株)日本経済新聞社、三井化学(株)、日東電工(株)、東洋アルミニウム(株)、一般社団法人日本物理学会

協力: 男女共同参画学協会連絡会、一般社団法人日本鉄鋼協会、公益社団法人日本金属学会、一般財団法人染色体学会、一般社団法人近畿化学協会、NPO法人あなたらしくをサポート  
後援: 文部科学省(申請中)、大阪府教育委員会(申請中)、京都府教育委員会(申請中)、奈良県教育委員会(申請中)、兵庫県教育委員会(申請中)、堺市教育委員会

◆ **問い合わせ先** (事務局へのお問い合わせは可能な限りメールでお願いいたします)  
大阪府立大学 国際・地域連携課 地域連携室内  
関西科学塾運営事務局 〒599-8531 大阪府堺市中区学園町1-1  
E-mail: [kagakuju2021@ao.osakafu-u.ac.jp](mailto:kagakuju2021@ao.osakafu-u.ac.jp) TEL: 072-254-9942 (平日9時~17時半 土日祝日休み)



# 第16回女子中高生のための関西科学塾 2021年10月24日(日)・C日程

NEWS  
LETTER  
Vol.4-3



発行:  
大阪府立大学関西科学塾運営事務局  
〒599-8531  
大阪府堺市中区学園町1-1  
Email:kagakujuuku2021@ao.osakafu-u.ac.jp  
HP : http://www.kansai-kj.org/



## 京都大学 中学生対象 実験・実習を楽しもう!



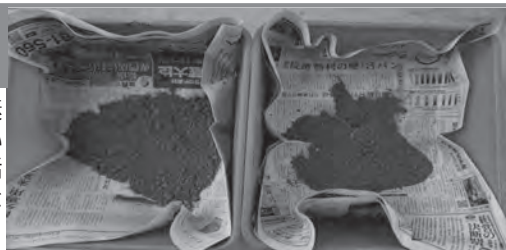
### C-11 太陽の虹色を見てみよう 〈理学研究科・浅井 歩〉

京大花山天文台にある望遠鏡をどのように操作し、どのような観測データが得られるのか、そこから何が分かるのかを実習しました。当日は薄曇りではありませんでしたがオンライン越しでも太陽の分光スペクトル(虹)を楽しむことができました。

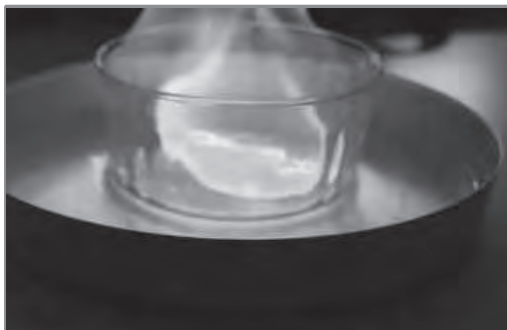
受講生の感想：太陽だけでこんなにいろんな視点があることに驚き、それを分かりやすく話してくれる浅井さんに感動しました!自分もいろんなことに疑問を持てる理系女子を目指していきたいです。花山天文台にも行ってみたいです。今日は本当にありがとうございました。

### C-12 植物は何を食べているか? 〈農学研究科・落合久美子〉

窒素は植物の必須元素の中でも最も不足しがちな元素であり、肥料三要素の一つとして農地に与えられています。実習では、窒素がなぜ大事なのかについてお話しした後、野菜や土壌に含まれる窒素の定量分析法を学びました。



受講生の感想：少人数制で受動的に聴講するのではなく、生徒参加型の授業で楽しかったです。



### C-13 ラプラスの悪魔・マクスウェルの悪魔・采を投げぬ神 〈情報学研究科・宮崎修次〉

時間発展のルールが定まっていながら長時間にわたる予測ができないカオス、野菜のカリフラワーや雷の放電痕のように一部と全体が似た形になっているフラクタル、プラズマのように部分の単純な重ね合わせとして全体が理解できない様々な非線形現象を例にとり数理学の一端を体験して頂きました身近なものをを用いた様々な卓上実験を観察して頂きました。

受講生の感想：先輩の受験や大学でのお話も聞けて良かったです。

京都大学理系研究室によるオンライン科学塾が開催されました。



学生・高校生応援イベント

2021シンポジウム

# Are you ready? SDGsが拓く未来

## 7/13(火) 9:00~17:00

【会場】 **ハービスHALL** 大阪市北区梅田2-5-25 ハービスOSAKA B2F

主催 日経ウーマノミクス・プロジェクト実行委員会（日本経済新聞社）

協力 大阪大学、岡山大学、京都大学、神戸大学、徳島大学、  
公立大学法人大阪（大阪市立大学、大阪府立大学）、  
関西大学、関西学院大学、桃山学院大学

協賛 三洋化成工業株式会社、住友電気工業株式会社

後援 関西経済連合会、大阪府、関西広域連合、関西女性活躍推進フォーラム、  
関西文化学術研究都市推進機構、関西SDGsプラットフォーム

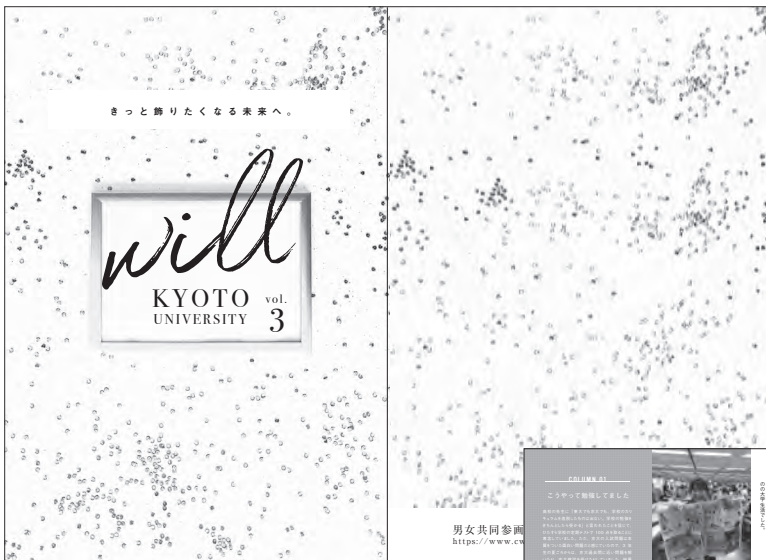
来場 視聴  
**参加無料**  
要事前申込

来場お申し込み・オンライン視聴は公式サイトでご確認ください

〈公式サイト〉 <https://nwpf21.jp>



<b>SDGs 座談会 発表コンテスト</b> 【高校生の部】【大学生の部】	<b>大学・企業 研究室紹介 プレゼンテーション</b>	<b>高校生 研究成果発表 ポスターセッション</b>
午前の部 9:00~11:30 午後の部 14:30~16:00 表彰式 16:30~17:00	13:00~14:00	14:00~16:00
<b>協力大学・企業 ブース相談会</b>		11:30~16:00



宇宙×医療。  
今はまだ漠然とした  
夢を叶えるために。

卒業生 専攻  
**円尾 芽衣**

理学部 理学科、宇宙物理学 卒業  
大阪府立大学 理学部 理学科  
宇宙物理学専攻 宇宙物理学 修士  
文芸春秋社 編集者

**MARUO MEI**

男女共同参画  
<https://www.will.kyoto-u.ac.jp/>

高卒生の皆さんへ! message for student.

02

高卒生の皆さんへ! message for student.

高卒生の皆さんへ! message for student.

高卒生の皆さんへ! message for student.

もの見方が広がっていく  
面白さを追い求めること  
私の関心は人文・  
社会科学の思考から。

TACHIBANA SUMIRE

「たまたま」運命に恵まれ大へ

自分から  
自分から

自分から

03

高卒生の皆さんへ! message for student.

高卒生の皆さんへ! message for student.

高卒生の皆さんへ! message for student.

MOCHIDA MAHO

高卒生の皆さんへ! message for student.

高卒生の皆さんへ! message for student.

高卒生の皆さんへ! message for student.

人の役に立ちたい、  
言ふ顔が見たい。  
それが学生生活を通して  
気づいた私の価値観。

MURAKAMI YU  
**村上 宥**

工学部 機械科 卒業  
大分県立大学 工学部 機械科  
大分県立大学 工学部 機械科  
大分県立大学 工学部 機械科

**URAKAMI YU**

高卒生の皆さんへ! message for student.

高卒生の皆さんへ! message for student.

高卒生の皆さんへ! message for student.

05

高卒生の皆さんへ! message for student.

高卒生の皆さんへ! message for student.

高卒生の皆さんへ! message for student.

ビジネスパーソンとして力をつけ、  
ビジネスを通して社会に  
インパクトを。

KATAOKA NAOKO

「たまたま」運命に恵まれ大へ

自分から

自分から



## 京都大学たちばな賞（優秀女性研究者賞）表彰式

3月3日（水）、京都大学たちばな賞（優秀女性研究者賞）の表彰式が行われました。新型コロナウイルス感染拡大予防の観点から、今回の表彰式はWeb会議システムを使用したライブ配信形式で実施し、学内外から多くの視聴がありました。



京都大学たちばな賞は、優れた研究成果を挙げた本学の若手女性研究者を顕彰することによりその研究意欲を高め、もって将来の我が国の学術研究を担う優れた女性研究者の育成等に資することを目的として創設され、今回で第13回となります。

今村 博臣男女共同参画推進センター広報・相談・社会連携事業ワーキンググループ主査の司会進行で、はじめに、男女共同参画推進センター長である稲垣 恭子理事・副学長より開会の挨拶がありました。

次に、湊 長博総長よりたちばな賞学生部門受賞者の村山 陽奈子氏（理学研究科 博士後期課程2年）、研究者部門受賞者の今村 恵子氏（iPS細胞研究所 特定拠点講師）へ表彰状と記念盾が授与され、伊東 知康 株式会社ワコール代表取締役社長執行役員より副賞の「ワコール賞」が贈呈されました。また、優秀女性研究者奨励賞受賞者の田鶴 寿弥子氏（生存圏研究所 助教）にも、同じく湊総長から表彰状と伊東代表取締役社長執行役員から副賞の「ワコール賞」が贈呈されました。その後、たちばな賞受賞者の村山氏と今村氏による研究発表が行われました。

最後に、平島 崇男理事・副学長より閉会の挨拶があり、盛会のうちに終了しました。



### たちばな賞（優秀女性研究者賞）受賞者

部門	氏名	所属・身分	研究テーマ
学生部門	村山陽奈子	理学研究科 博士後期課程2年	強相関電子系における回転対称性の破れを伴う新奇量子相の解明
研究者部門	今村 恵子	iPS細胞研究所 特定拠点講師	筋萎縮性側索硬化症の病態解明と新規治療薬の開発研究

### 優秀女性研究者奨励賞 受賞者

部門	氏名	所属・身分	研究テーマ
研究者部門	田鶴寿弥子	生存圏研究所 助教	新旧手法を併用した木質文化財の科学調査による東アジアの木の文化の多様性解明へむけた文理融合型研究

## 2020年度 第3回懇話会セミナー 「無意識のバイアス 茨城大学におけるダイバーシティ推進」

3月8日（月）12時10分より京都大学女性教員懇話会主催の第3回懇話会セミナー「無意識のバイアス 茨城大学におけるダイバーシティ推進」がオンラインにて開催され、約30名の参加がありました。

まず、茨城大学ダイバーシティ推進室長の木村 美智子講師よりダイバーシティ推進室の歩みが述べられ、続いてデータを見ながら取り組みと現状について話されました。また、教員や講演者などを採用する際に選ぶ側には女性がいることが必須であることなどを述べられました。その後、参加者との質疑応答の時間があり、男女問わず貴重な意見交換ができ盛会に終了しました。



## 保育園入園待機乳児保育室利用者 オンライン保護者懇談会（2/16）・卒園式（3/31）

2月16日（火）にランチの時間を利用して、待機乳児保育室利用者の保護者懇談会がオンラインで行われ、保護者7名と委託運営会社の担当者、主任保育士が参加しました。担当者による司会進行で、初めに育児介護支援事業ワーキンググループの主査 齊藤 真紀先生より挨拶があり、続いて主任保育士より日々のお子さんの様子、ひとりひとりについて話がありました。

その後、参加者が自由に発言できる時間が設けられ、「週末はどのように過ごしているのか?」「寝かしつけるコツは?」など育児にまつわる悩みや、「おもちゃはサブスクリプションを利用している」といったお得で役立つ情報など、子育てに関するさまざまな話題で時間いっぱいまで大いに盛り上がりました。最後に委託運営会社作成の動画を視聴し、和やかな雰囲気でした。

また、3月31日（水）10時より、保育室にて卒園式が行われ、Zoomを使ってライブ配信されました。保護者の方が見守る中、保育士から歌やメダルプレゼントをもらったりと笑顔あふれるひと時となりました。

2020年度「ゆりかご」から11名の園児が巣立ってきました。卒園おめでとうございます！！



委託運営会社作成の動画より  
(2021年2月16日)



卒園式の様子（2021年3月31日）

## 病後児保育室 開室のお知らせ

当病児保育室は2020年3月24日より休室とさせていただいておりましたが、2021年4月5日（月）より当面の間、【病後児保育室】として再開いたしました。利用条件などは状況に応じてその都度変更されますので、ご利用の際はHPをご確認のうえお申し込みください。（ご利用には事前登録が必要です）

<http://www.cwr.kyoto-u.ac.jp/support/care/sick/>



## 全学共通科目「ジェンダー論」講義動画 公開

2020年度全学共通科目「ジェンダー論」の講義動画8本を、センターホームページにて公開しています。「生物学的性と社会的ジェンダー」「戦後日本と世界におけるジェンダーの変容」「男性にとってのジェンダー論」それぞれのテーマに沿った講義です。オンライン授業となったことで遠方の講師にも依頼が可能となり、充実した内容となっております。どうぞご視聴ください。

[http://www.cwr.kyoto-u.ac.jp/activity/ilas\\_seminar/](http://www.cwr.kyoto-u.ac.jp/activity/ilas_seminar/)



### 家庭内から始める男女共同参画

#### その① まずは情報共有から

新年度が始まり、子どもの保育園や学童クラブでの生活が新たに始まった家庭も多いことでしょう。両親が就学・就労する各家庭では、このような生活を回すためのさまざまな工夫をされていると思います（注1）。

テレワークの普及により、組織では、管理職の目が行き届かないところで仕事をする従業員の活動をどのように管理するかが課題になっていますが、共働きの世帯において、家族のめいめいの予定を、体調などにも気を配りながら、毎日がそれぞれにとって意義深いものになるように管理・調整することは、組織の人事管理と同じくらい難しいタスクです。

このような生活のマネジメントの第一歩は、家族間の情報共有ではないかと思われます。とりわけ、不定期な予定が入ることが多い研究者世帯においては、会議等のために定時に帰れない時の保育園等へのお迎え、学会等による片親出張時のワンオペなど、早い段階で情報共有して対策を考えなければいけない場面が数多くあります。第三者の協力を仰ぐ場合には、その手配や確認も必要です。朝の支度をしながら、あるいは夕食時の雑談で伝えただけでは、言った、言わないの争いになりがちですし、SNS等も見落とされたり、見てはもらえても忘れられてしまったりすることがあります。

このようなとき、たとえば、スケジュール共有アプリ（注2）を使えば、スケジュールを家族で共同管理できるだけでなく、ToDoリスト等を共有することができます。プッシュ通知で情報が共有される機能があれば、見逃されるおそれも減ります。子どもの送迎などは、誰が担当するのかまで、自分の予定は、準備や移動で拘束される時間まですべてを書き込んでおけば、新たな予定をどのように入れられるかを、家族全員の動きを加味しながら各自において検討することができます。

子どもが持ち帰るプリントなどは、両親ともに目を通す習慣を作り、スマホ等でスキャンしてクラウド保存し、必要ときに家族の誰でも見られるようにしておくことなども、手間はかかりますが、情報が散逸しがちな忙しい家庭では有用であることもあります。たとえば、小学校からのプリントに「夏休みに持ち帰らせるアサガオは、花が咲いたら摘みとって冷凍しておいてください。2学期に染色の授業で使います。」と一行書かれているのを見落とすと、相方の出張先から「帰ったらアサガオ冷凍しておいて」というSNSが入ったとき、「鉢ごと？」と誤解するかもしれません。わが家では、この学校からの連絡を知らなかった家族の一人が、冷凍庫にあるアサガオを不要品と誤解して捨ててしまい（生魚の骨などをゴミの日まで冷凍していることがあります）、大騒ぎになりました（注3）。

ドイツに住む共同研究者は、「娘3人が異なる習い事をしていて、毎晩、パートナーと、翌日の娘たちの放課後の送迎をどうするか話し合うのが日課」と語っていました。

円満な家庭を維持しつつ、安定した研究生生活を推進するには、パートナーの付度や配慮に甘えず、情報を「見える化」し、忙しい毎日であっても誠実に話し合う習慣を持つことが大事であるように思われます。

（文責 育児・介護支援事業 WG 専用アドレス：ikwg@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp）

- 1 一人親や片親が単身赴任の世帯の研究者が直面する大変さについては、機会を改めて考えてみたいと思います。
- 2 興味のある人は、「スケジュール管理」「スケジュール共有」、「アプリ」、「子育て」「共働き」などのキーワードで検索してみるとよいでしょう。
- 3 後日談ですが、花のシーズンを終えていたかに見えたアサガオは、その数日後、大輪の花をいくつも咲かせ、息子を救いました。

過去のコラムは、こちらでご覧いただけます。<http://www.cwr.kyoto-u.ac.jp/column/mina/>

## 連載：研究者になる！－第83回－

医学研究科・助教 鳥井 美江



### ●受験・部活・イベントで充実した学生生活を満喫

進学した高校は入学直後から大学受験に向けた授業が詰め込まれており、夏休み、冬休みには奈良県吉野の山奥で合格するまで就寝できない学習合宿があるなど受験勉強一色でした。高校3年間は同一クラスで、クラスメイトと勉強したり遊んだり大半の時間を一緒に過ごしました。高校時代苦楽を共にした友人達とは進路は様々ですが、今でも年に1回は担任を囲んで飲み会をしています。大学進学後は、受験勉強から解放された反動で、学業よりも課外活動を満喫する日々を過ごしました。部活は医学部ゴルフ部と留学生支援サークルに所属し、毎月1日には朝4時から伊勢神宮に向かい、名物の朔日餅と月替わりの朝粥を食べ、1限目の講義は睡魔と戦うのが習慣でした。留学生支援サークルでは、いろいろな国の留学生とホームパーティなどで交流し、仲良くなった友達の国を訪ね歩きました。また、奈良県の伝統行事・観光協会のイベントや、大阪今宮戎神社の福娘としてオリンピック招致活動や宝恵籠行列、十日戎に参加するなど、学外の方々との交流を通して多くの貴重な経験をする機会をいただきました。大学生生活を十分に満喫した後、卒業論文『ICUにおける褥瘡発生リスク』に取り組む中で『褥瘡（炎症）はどのように起こるのか？』ということに興味を持ち、大学院への進学を決めました。当時の三重大学看護学科は博士課程がなく、進学に臨床経験が必要だったことから、修士博士と一貫して学べる医学系研究科に進学し、免疫学を専攻しました。大学院では実験動物を用いて抗酸化因子チオレドキシン（TRX）の気道炎症抑制メカニズムについて研究し、医学博士号を取得しました。

### ●患者さんに還元できる研究を目指して

博士修了後は、京大附属病院の免疫膠原病内科で看護師として働く一方で、母校の三重大学のがんワクチン治療講座で、リサーチアソシエイトとしてTRXの大腸発がん抑制メカニズムの研究をしていました。看護師として免疫膠原病内科の患者さんのケアに当たる中で、免疫疾患のメカニズムや治療法に興味を持ち、ヒトを対象とする研究をしたいと思うようになってきました。2年半ほど兼業生活を送ったのち、縁あって京大のLIMSの特定助教に採用され、研究中心の生活へと変わりました。大学教員になることが決まった時、病棟で一緒に働いていた先生に関節リウマチの共同研究に誘われ、関節リウマチ患者におけるサルコペニアについて研究することになりました。サルコペニアは加齢に伴って生じる進行性および全身性の骨格筋量や骨格筋力の低下を特徴とする症候群であり、転倒や骨折、ADL・QOL低下の原因となります。サルコペニアは、加齢のみが原因となる場合を一次性（原発性）サルコペニア、活動・疾患・栄養に関連する原因の場合を二次性サルコペニアと分類されています。サルコペニアの発症メカニズムはよくわかっていませんが、栄養摂取量や身体活動量、筋蛋白質合成因子が加齢に伴い減少する一方で、不活動、体脂肪、異化ホルモンが増加し、筋蛋白質の分解促進、筋再生能力の低下が起こり、サルコペニアが発症すると考えられています。関節リウマチは、手足をはじめ全身の関節痛、腫脹、こわばりを特徴とする自己免疫疾患であり、炎症性サイトカインが主に関与しています。関節リウマチ患者は炎症性サイトカインやステロイドの内服により筋肉が萎縮しやすいことに加え、疼痛や関節の変形で活動が制限されることからサルコペニアを発症しやすいと考え、調査を行いました。その結果、サルコペニアを合併している関節リウマチ患者には転倒や骨折が多いことが明らかになりました。また、サルコペニアの合併には年齢、罹病期間、Stage（関節破壊の進行度）、低栄養が促進的な関連因子であり、生物学的製剤の使用は、抑制的な関連因子であることもわかりました。昨年度からサルコペニアの再調査を開始し縦断研究を行っており、今年度は関節リウマチ患者のサルコペニア改善と分子標的薬の寛解休薬を目指した運動療法の治療ストラテジーの開発研究、全身性エリテマトーデス患者におけるサルコペニアやフレイルの関連因子を調べる研究を開始しています。自己免疫疾患を抱えながら私たちの研究に協力して下さっている患者さんの日常生活が少しでも楽になり、役立つことに繋がる研究をしていきたいと思っています。

### ●恵まれた環境のもとで研究と家庭を両立

3人の未就学児を抱えての毎日は、本当に忙しくて大変です。それでも家族との時間は、息抜きにもなり仕事にも張りがでます。夫は単身赴任ですが、週末は率先して家事（料理以外）や育児をしてくれます。夫とはお互いの研究の話をすることも多く、平日も毎晩電話で子どもの成長を共有しているので、精神的にもとても助かっています。また、上司や共同研究者も育児をしながら研究しているため、仕事以外の相談もしやすく、職場の環境は非常に恵まれていると感じます。どうしても一人で回らない時は両親に子どものお迎えや、出張時のサポートをしてもらうこともあります。みんなにサポートしていただき成り立っている生活ですので、サポートしてくれる方々への感謝を忘れず、家族との時間も大切にしながら、今まで以上に教育や研究に取り組む事を目標にしたいと思っています。

Gender Equality Promotion Center

〒606-8303 京都市左京区吉田橋町  
E-mail w-shien@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp  
HP <http://www.cwr.kyoto-u.ac.jp/>

# たろばな 京都大学男女共同参画推進センター Gender Equality Promotion Center

## 「女子高生・車座フォーラム2021」11月7日（日）にオンライン開催

「女子高生・車座フォーラム2021」を11月7日（日）にオンラインにて開催します。

京都大学男女共同参画推進センターでは、京都大学での学生生活や研究者の仕事を知ってもらうため、毎年「女子高生・車座フォーラム～京都大学を知ろう 学生・研究者と語ろう～」を開催しています。フォーラムでは、理系・文系それぞれにどんな研究分野や領域があるのか、なぜ今の分野を選んだのか、といった大学進学に関わる話をはじめ、試験勉強、進学後の大学生活、研究の面白さや苦労など、さまざまなテーマについての疑問に、学生や研究者がお答えします。

保護者の方々の疑問にも、学部生や大学院生がお答えします。昨年度に続き、今年度もオンラインで実施しますので、遠方の皆さんも奮ってご参加ください。

日時 2021年11月7日（日） 9:30-12:30（8:50よりZoom接続開始）  
会場 オンライン（Zoomにて開催）※先着順、事前申し込みが必要です  
参加費 無料  
募集定員 女子高校生100名程度／保護者50名程度  
申込期間 2021年7月12日（月）9:00～9月17日（金）17:00まで

参加条件や申込方法についての詳細はホームページをご覧ください。

<https://www.cwr.kyoto-u.ac.jp/rooting/kurumaza/>

なお、京都大学の新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う活動制限のガイドライン <http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/about/foundation/coronavirus/> における対応レベルが4になった場合は中止とし、HP上でお知らせします。



「女子高生・車座フォーラム2021」  
オンライン「女子高生」  
参加無料

京都大学がどんなところなのか、大学ではどんな勉強や研究をするのか、また大学卒業後の進路にはどんなものがあるのか、などなど、色々な疑問をお持ちのみなさま、京都大学の企画する「女子高生・車座フォーラム2021」にいらっしやしませんか？  
京都大学男女共同参画推進センターでは、京都大学の学生生活や研究者の仕事を知ってもらうと、「京都大学を知ろう 学生・研究者と語ろう」を企画しました。フォーラムでは、理系・文系それぞれにどんな研究分野や領域があるのか、なぜ今の分野を選んだのか、といった大学進学に関わる話をはじめ、試験勉強、進学後の大学生活、研究の面白さや苦労など、さまざまなテーマについて疑問に、学生や研究者がお答えします。保護者の方々の疑問にも、学部生や大学院生がお答えします。どうぞ奮ってご参加ください。

開催日時 2021.11.7 [SUN] 9:30-12:30 (8時50分から接続開始)

募集定員 女子高校生100名程度／保護者50名程度(先着順)  
申込方法 男女共同参画推進センターホームページをご覧ください、<https://www.cwr.kyoto-u.ac.jp/>  
申込期間 7.12 [月]-9.17 [金]

主催/共催 京都大学男女共同参画推進センター 共催/協賛 京都大学教育研究・学生支援課 入部会

お問い合わせ MAIL [w-shie@i2.adm.kyoto-u.ac.jp](mailto:w-shie@i2.adm.kyoto-u.ac.jp) TEL 075-753-2437



「車座フォーラム」  
知ろう！語ろう！  
京都大学。

当日の日程はこちら！

PROGRAM 【プログラム】

8:50-	開演開始
9:30-9:40	フォーラム開会 センター長挨拶
9:40-9:55	【おもろチャレンジ】体験談
10:00-11:30	グループワーク「車座になって話そう」 ① 講師・京大生とのグループワーク ② 京大生との交流
11:30-12:10	まとめの学体会合
12:10-12:30	入場説明(動画配信)
12:30	閉会

GROUP WORK  
グループワーク希望学部

- ① 文学部
- ② 教育学部
- ③ 法学部
- ④ 経済学部
- ⑤ 薬学部
- ⑥ 医学部(医学)
- ⑦ 医学部(人間健康科学)
- ⑧ 理学部
- ⑨ 工学部
- ⑩ 農学部
- ⑪ 総合人間学部

## ILAS セミナー「ジェンダーと文学」開講

文学研究科川島 隆准教授の2021年度ILASセミナー「ジェンダーと文学」が4月13日（火）より開講しました。この授業では文学や映画など、言葉を用いたエンターテインメント作品を取り上げ、そこでジェンダーやセクシュアリティをめぐる問題がどのように表現されているかを講義いただきます。後半からは学生自身がテーマを決めて発表を行い、毎回活発な意見交換がなされています。

日程：4月13日（火）～7月27日（火）

時間：毎週火曜日 5限（16：45～18：15）



## ベビーシッター利用育児支援

京都大学男女共同参画推進本部では、本学における教職員の仕事と子育ての両立支援を目的として、「ベビーシッター派遣事業割引券」を発行して、ベビーシッターによる在宅保育サービス事業を行う者が提供するサービスを利用した場合に、その利用料金の一部を助成しています。利用方法・注意事項等の詳細については下記 URL をご覧ください。

<https://www.cwr.kyoto-u.ac.jp/support/care/babysitter/>（日本語）

<https://www.cwr.kyoto-u.ac.jp/eng/babysitting.html>（英語）



## メンター相談

京都大学男女共同参画推進センターでは、女性の先生方にメンターをお願いし女性の学生、院生、研究者の相談を受けています。「研究分野の選択で迷っている、研究を続けることに漠然と不安がある、研究分野を変えたい」など、研究上のことで困ったときはもちろんのこと、キャリアに悩んだりアドバイスが欲しいときなど、相談に対応しています。2021年度メンターには理系61名・文系31名登録されています。

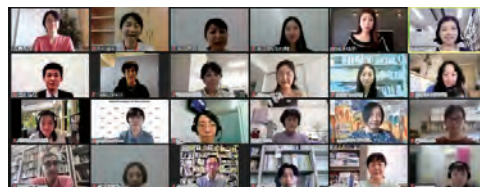
ご利用の際は下記 URL をご覧ください。

[https://www.cwr.kyoto-u.ac.jp/support/consulting\\_rooms/mentor/](https://www.cwr.kyoto-u.ac.jp/support/consulting_rooms/mentor/)（日本語）

<https://www.cwr.kyoto-u.ac.jp/eng/mentoring.html>（英語）

## 女性教員懇話会 第1回ハラスメント問題研究会 「ハラスメントと指導・助言のボーダーラインを考える」

6月25日（金）12時10分より、第1回ハラスメント問題研究会がオンライン開催されました。講師として大浦 綾子弁護士ほか6名の弁護士を招き、大学における具体的事案に即して解説をいただきました。本セミナーは3回シリーズで行われ、第2回8月19日（木）、第3回9月14日（火）に予定されています。（いずれもオンライン、12時10分から）詳細は、京大女性懇話会（<https://sites.google.com/kyoto-u.ac.jp/female/home/>）ホームページをご覧ください。



### ニュースレター HTML版 配信のお知らせ

PDF版に加えHTML版での配信もしています。スマホやタブレットでも読みやすくなりました。

URL：<https://www.cwr.kyoto-u.ac.jp/about/newsletter/>





## 家庭内から始める男女共同参画 その② わが家のベストな分担の模索

男女共同参画の実現には、パートナーと同居しているのであれば、育児・家事の負担がどちらかに偏らないよう、協力し合うことが不可欠です。

送迎や炊事とは異なり、日々の細々とした、しかし不可欠な用事の負担の偏りは気付かれにくいものです。こうした「名もなき家事」の代表例は、トイレトペーパーの補充などですが（注1）、子育て世帯では、保育園や学校に提出する書類の準備、子どもが小さいうちは、友だちとの予定の日程調整、日々の持ち物や宿題の確認なども含まれます。このような用事は、蓄積すれば、結果として多くの時間が割かれます。家族みんなで書き出してみれば、負担の偏りを共有するきっかけになったり、小さな心がけで減らせる家事が見つかったりするかもしれません。

大学の研究者の大半が男性で構成され、子どもをもっても、家事・育児を家族に任せ、昼夜を問わず研究その他の業務に没頭できた時代は過去のものとなりつつあります。少し以前は、わが国では、父親は外で就労して外貨を稼ぐかわりに家庭内外で自由に使える時間を持ち、家事・育児は母親が負担・責任とも負うことが当たり前であるかのように語られることが多くありました（注2）。男性の家事・育児への参画が進んだ現在でも、そのような家族像を前提とした生活習慣や制度が残り、負担は女性に偏る傾向があります（注3）。他方で、長時間労働を是とする業務のあり方が改善されない職場環境で、家事・育児を担う男性の苦境が気付かれないうままであることもあります。

さらに、有職者と学生のカップルであれば学生に、スケジュールの管理が厳しい職種と裁量の多い職種では後者に、収入の違いがあれば少ないほうに負担が偏りがちであるようです。当事者たちが話し合い、合理的な役割分担として望んだ結果であればよいですが、一方が他方の時間や家庭内労働の価値を「安く」見積もった（注4）結果、家事・育児分担の偏りが生まれている場合には、長期的なキャリアプランをふまえ、負担のバランスを見直すことも選択肢かもしれません。もっとも、家庭ごとに事情はさまざまであり、第三者から「もっと家族の協力を得る努力を」と言われても難しい場合もあることも、指導教員や管理職は心得ておく必要があるでしょう。

研究活動には、必要となる時間やタイミングを事前に確定することが難しい作業も多く、また、特定の作業に従事しない思索の時間も創造的な活動には不可欠です。子育てをしながら研究活動に従事する研究者が、ジェンダーや社会的な立場を問わず、日々の生活において自由に研究に使える時間を持てるよう、家族や職場、社会の理解が進むこと、同時に、育児中の同僚がいるために他の構成員の負担が不当に重くなることのないような職場環境の整備が進むことを切に願っています。

（文責 育児・介護支援事業 WG 専用アドレス：ikwg@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp）

注1 「名もなき家事」で検索すると、さまざまな例が各所で紹介されています。忙しくても担当できる家事は、朝のゴミ出しだけではありません。「『名前のない家事』って、知っていますか？」男女共同参画通信 vol.47（京都市、2019）参照。 <https://www.wings-kyoto.jp//publish/assets/Vol47.pdf>

注2 もっとも、大正時代まで、わが国においては、男性が育児を当然のように担っていたことについて、2020年度全学共通科目ジェンダー論の落合恵美子教授の授業動画をご参照ください。  
[http://www.cwr.kyoto-u.ac.jp/activity/ilas\\_seminar/online\\_m2-2/](http://www.cwr.kyoto-u.ac.jp/activity/ilas_seminar/online_m2-2/)

注3 これは、男性側の要因によるとは限りません。女性が、自分がやったほうが早くすむ、家事が不得手であれば女性としての能力が低いと考えている、やり方の違いを受け入れられないなどの事情があることによる場合もあります（前掲（注1）の文献参照）。

注4 家庭内での家事や育児は対価が支払われない「アンペイド・ワーク」の代表といわれます。家庭内のケア労働は社会の再生産に不可欠の領域でありながら、その価値が経済的にも社会的にも正当に認められてきませんでした。総論的な概説書として、川崎賢子・中村陽一（編）『アンペイド・ワークとは何か』（藤原書店、2000）を参照。

過去のコラムは、こちらでご覧いただけます。<https://www.cwr.kyoto-u.ac.jp/column/mina/>

## 連載：研究者になる！－第84回－

大学院横断教育プログラム推進センター・特定准教授 木村 里子



### ●失敗続きから、運命の出会い

通っていた高校で出される膨大な課題をこなしつつ、友人と青春を謳歌していた当時、研究室で実験をする研究者になる想像は少ししていたものの、フィールドワーカーになるとは微塵も想像していませんでした。将来図はぼんやりしたままだったので、職業の選択をこの時点ですることができず、選択肢の多そうな京大農学部への進学を決めました。1回生の頃は、浪人した反動もあり、典型的に遊びました。まさか講義をする側にまわるとは思ってもいませんでしたが、この頃の経験のお陰でサボりがちな学生の気持ちもよくわかります（笑）。2－3回生の頃は家庭教師のバイトに明け暮れ、貯まったお金で海外旅行へ何度も行きました。3回生の学生実験で失敗が続き、細かな作業が苦手だと気づいた私は、大きな生き物ならば…！と単純な理由で研究室を選び、4回生で研究室配属されてからは研究一色になりました。

先生が、学生の意思を尊重してくれる研究室だったので「何の研究をしたいですか？」と聞かれた時に「海で大きい生き物…クジラの研究がしたい！」と答えたところ、外部機関にいる水中音響でイルカの研究をしている先生となら、一緒に研究が可能だと紹介されました。そして、中国でその先生のスナメリの調査に同行したことが、研究に夢中になるすべての始まりでした。

その後、大学院に進学したものの一般就職と悩み、修士1回生の時には就職活動もしました。しかし研究がとても楽しく、もう少し続けたいと思い、やれるところまでやろう！いけるところまでいこう！と決意し博士後期課程へ進学を決めました。

### ●決定木でたどり着いた先はイルカの研究者！

私は、最初から研究者を目指して頑張っていたわけではなく、目の前にある二択の選択肢を選ぶことを続けていくうちに研究者にたどり着いた、と感じています。研究者は大変な職業だと思っていたので、このような感じで研究者になることはためらわれましたが、尊敬する先生に「就職も研究もどちらも楽しい、楽しそうだと思うなら、君はどちらの道へ行っても大丈夫だよ」と言われ、やっと研究職につく決心がついたのです。

そして現在、水中の大型生物、主に小型鯨類（イルカ）などを対象とし、海洋生物を定量的に観察する手法の開発、および手法を用いた生態解明に取り組んでいます。生物が発する音を利用した受動的音響観察手法、動物に直接機材を装着して行動データを得るバイオリギング手法などを用い、対象生物が発する音の特性や発声行動を調べたり、対象生物が「いつ、どこに、どのくらいいるのか」という基礎的な生態情報を明らかにしたりしています。また、沿岸における船舶航行や洋上風力発電などの騒音が生物や環境に与える影響評価、飼育施設などにおける生物のストレス評価も行っています。

その研究の過程で、生物（哺乳類）研究者である自分自身が妊娠・出産できたことは大きな経験でした。妊娠は大変でしたが、まるで繁殖生理学実習をしているかのようで、その時自分のお腹の中で何が起きているか、別の動物だったらどうなのか、調べたり考えたりすることがとても楽しかったです。

### ●すべてにおいて一流をめざす自分であり続けたい

研究と生活（家事・育児など）の両立、ということに関しては、私は全くできていないとは思っていません。家は散らかりっぱなし、研究も妊娠出産していた数年分は遅れています。研究も生活も何事も妥協したくない性格なので、もっと色々な外部のサービスを利用できれば楽なのかも…と思うことも多いですが、子どもが小さい今は何事も楽しむことを第一に心がけています。母、妻、研究者、すべてにおいて一流になりたいと日々願いながらも、まずは今の自分の状況を受け入れて楽しむことができていると思います。

大切にしているのは、何事も自分で選ぶ、自分で決めるということです。私は、進路を決める時、就職する時、結婚する時、子どもを持つかどうか決める時、それなりに悩んで、選択肢のメリット・デメリットを考えながら、常に自分自身で後悔のないように決断してきました。結婚も出産もせず海外で研究をする選択肢、研究者にならず一般就職をしたりもっとたくさん子どもを産んだりする選択肢などもあったでしょう。それはそれで楽しそうと今なら思えますが、その時自分が決めたことに後悔はありません。どんな結果であっても自分で考えて決めたことならば、悔いなく楽しめると信じ、一日一日を大切に生活しています。



## 全学共通科目（後期）「ジェンダー論」10/5（火）開講

文学研究科 落合 恵美子教授の全学共通科目「ジェンダー論」が10月5日（火）より開講します。

現代社会に生きる女性や男性は、その性別（ジェンダー）ゆえに、どのような問題に直面しているのだろうか。その現実に多面的に光を当て、淵源を探ることにより、日常の中でジェンダーにまつわる問題に気づき、課題解決のための実践ができるようになるための基礎的知識を身につけることをめざした講義です。オムニバス講義のかたちをとり、学内外からゲストスピーカーを招き、さまざまな研究分野においてジェンダーが開くパースペクティブを示していただき、特に男性にとってジェンダー問題とはどのような意味をもつのかについても充実させた講義となっています。

2021年度全学共通科目（後期）「ジェンダー論」

■講義の時間：火曜日3限（13時15分～14時45分）

■講義の場所：Zoomによるオンライン授業

講師と課題

	回	講義日	講師氏名	テーマ
導入	1	10月5日	綱嶋 航平 サイボウズ株式会社	働くこととジェンダー：企業人事の視点から
生物学的性と社会的ジェンダー	2	10月12日	山内 淳 生態学研究センター	なぜ性があるのか：進化生態学的視点から
	3	10月19日	川島 隆 文学研究科	文学に見る同性愛とホモソーシャル性
	4	10月26日	山極 壽一 総合地球環境学研究所	霊長類の性の多様性と人類の進化
	5	11月2日	落合恵美子 文学研究科	日本の子育てはなぜ難しいのか：国際比較から
現代社会とジェンダー	6	11月9日	柴田 悠 人間・環境学研究所	「父親育児」と「保育」の効果：「母親の幸福感低下」や「不利の親子間連鎖」を減らせるか？
	7	11月16日	水島 郁子 大阪大学	年金とジェンダー
	8	11月30日	吉田万里子 国際高等教育院	労働契約とジェンダー：欧州比較から
	9	12月7日	木下 彩栄 医学研究科	医学部入試女子学生差別の問題から：その背景にあるもの
	10	12月14日	三浦 まり 上智大学	女性の政治参画：なぜ進まないのか、どのように進めるか？
	11	12月21日	丸山 里美 文学研究科	女性の貧困
	12	12月28日	鈴木 七海 ジェネシス共同代表	性的同意
	13	1月11日	中村 正 立命館大学	男性の問題：ジェンダーと男性学・男性研究から暴力を考える
	14	1月18日	ミツヨ・ワダ・マルシアーノ 文学研究科	現代日本のクイア映画考

※センターホームページにて2020年度全学共通科目「ジェンダー論」の講義動画を公開しています。

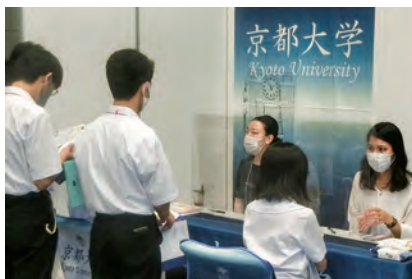
<https://cwr.kyoto-u.ac.jp/activity/ilas-seminar/>

## 令和3年度第2期研究・実験補助者雇用制度 利用者決定

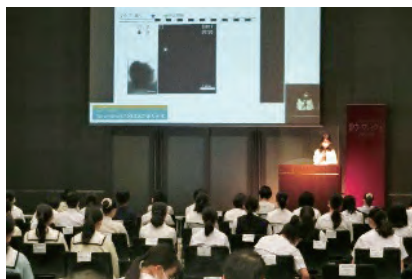
令和3年度第2期研究・実験補助者雇用制度の利用者は、18名（女性15名、男性3名）の方に決まりました。研究・実験補助者雇用制度は、育児又は介護のために十分な研究・実験時間が確保できない研究者に対し、研究又は実験業務（注：事務及び教育関係の業務は支援対象外）を補助する者の雇用経費を助成する事業です。本事業は、女性研究者に限らず、男性研究者も対象となります。また、研究分野の文系・理系は問いません。年2回募集を行っており、補助者未定でも応募できます。

## 日経ウーマノミクス 2021 シンポジウム Are you ready? SDGs が拓く未来

7月13日(火)、日本経済新聞社主催の学生・高校生応援イベント「2021 シンポジウム Are you ready? SDGs が拓く未来」が大阪のハービス HALL にて開催され、併せてオンラインによるライブ配信も実施されました。京都大学も協力大学として参画し、入試企画課の協力のもと相談ブースを設置して高校生からの相談に対応したほか、大学・企業研究室紹介プレゼンテーションでは、磯田 珠奈子さん(理学研究科博士後期課程3年)が「植物の体内時計の不思議」について発表し、SDGs 座談会発表コンテストでは、川原 桜さん、中島 葵さん、矢島 咲紀さん(いずれも総合人間学部3年)による「そ〜じんs」が、「もっと多様性をもっと個性を」というタイトルで学生交流サークル「saKUra」(@saKUra\_kyoto\_u)の活動などについて発表しました。また、本学学生が「Cheers!」として、SDGs 座談会発表コンテストに参加する高校生のサポートを行いました。



ブース相談会の様子



大学・企業研究室紹介プレゼンテーションの様子

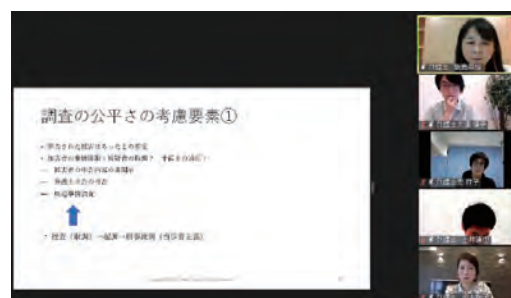


SDGs 座談会発表コンテストの様子

## 女性教員懇話会 第2回ハラスメント問題研究会 「公平な調査の在り方について考える」

8月19日(木)12時10分より、飯島 奈絵弁護士はじめ計7名の弁護士にご講演、質問への回答等を行っていただきました。大学での調査結果が裁判所で覆された事例の紹介の後、調査の公平性を確保するためのポイントとして、事実認定への弁護士の関与、争点等を適時に当事者に知らせること、当事者に対する調査結果の開示、不服申立手続の整備、ハラスメント関係規程の見直し等をご説明いただきました。懇話会では、第3回ハラスメント研究会を9月14日(火)に開催し、10月もイベントの開催を予定しています。

詳細は懇話会 HP (<https://sites.google.com/kyoto-u.ac.jp/female/events>) をご覧ください。





## 「ワンオペ」での子育てと研究の両立

大学には単身赴任生活をしながら、あるいはシングルマザー／ファザーとして研究、仕事、育児に日々奮闘している人たちが少なくありません。ワンオペでの子育てと研究の両立は、体力的にも精神的にも負担が大きくなります。使いやすくアクセス可能な制度やサービスがどれだけ整っているかが、研究を続けていけるかどうかを左右する重要なカギになります。

寄稿者自身もワンオペ子育てを経験した一人ですが、ファミサポ、民間のシッターサービスなど、使えるサービスを駆使して何とかやりくりをしました。子どもが病気をしたときは京大病児保育室「こもも」にお世話になりました。満室であったり、条件を満たさず利用できない場合で仕事が休めないと判断したとき、あるいは保育園や学童が利用できない土日祝日に重要な仕事が入ったときには、迷わずベビーシッターを利用しました。家事代行を頼むなどし、子どもとの時間をできるだけ確保しようとも心がけました。

その代わり、特に子どもが小さい頃は、給与は生活費とサービス料にほとんど消えていくような状況でした。ワンオペ子育て家庭で、研究や仕事を続けるためにサービス料を支払い続ける必要がある場合、これが経済的な負担となってキャリアが妨げられるリスクは大いにあると考えられます。「ベビーシッター利用育児支援」(注1)は教職員(常勤・非常勤)に限られた制度ではありますが、「ひとり親家庭である場合」「配偶者が就労または病気療養中であり子の保育ができない場合」に、在宅保育サービスの利用料金の一部が助成されるものです。少なくとも一部の人々には、負担の軽減になるのではないかと思います。もちろん、各種サービスを利用しても、やはり仕事はある程度、選ばざるを得ないこともあります。万一帰れなくなることが予想されるような日帰り出張は引き受けること自体が躊躇され(注2)、遅くまで長引く会議への出席も困難になります。

このように、時間や金銭的な制限の多い毎日を送っているとき、研究を続けていくうえで何より支えになるのが、職場での周囲の人たちからの理解でした。寄稿者の場合、会議などが長引きそうなどときには当たり前のように定刻に帰れる雰囲気があり、急な休みや遅刻などにも同僚や上司が理解を示してくれたことは、大きな支えでした。

研究者としてのキャリアを続けていくには、家族からの真摯な理解や応援も重要になります。一般企業に勤める夫と別居し、ワンオペで家事・育児をしていた知り合いのフィールドワーカーは、子どもが小さい間の数年間、お盆や正月休みなど夫が休める時期に合わせて1週間程度のフィールドワークを続けていたそうです。夫と双方の実家に数日間ずつ、子どもたちを預けて実施したフィールドワークの時間は、短いながらも、研究には欠かせない思索の時間であり、これが大いにリフレッシュになったそうです。

本コラムで強調したいことは、サポートや理解を求める学生や教員は研究への強い意欲があるからこそ、今でも研究環境に身を置き、家庭でも日々奮闘しているということです。大変な状況におかれている人に限って、公言せず、ひとり負担を抱えこむという事態もしばしば見受けられます。もしかしたら、周囲にサポートや理解を求めることで「研究ができない」「自分勝手だ」と受け止められてしまうのでは、といった懸念があるのかもしれませんが。様々な事情や状況におかれた人々が、研究への意志を保ち、キャリアを形成していけるような環境・体制が整備されていくことを願っています。

(文責 育児・介護支援事業 WG 専用アドレス: ikwg@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp)

注1) <https://www.cwr.kyoto-u.ac.jp/support/care/babysitter/>

注2) 奈良先端科学技術大学院大学には「出張時の保育支援」という制度があります。

[https://www.naist.jp/gender/contents/support/shuchou\\_support/index.html](https://www.naist.jp/gender/contents/support/shuchou_support/index.html)

なお、京都大学の男女共同参画推進センターが提供しているおむかえ保育も、午後10時まで利用ができます。

過去のコラムは、こちらでご覧いただけます。<https://www.cwr.kyoto-u.ac.jp/column/mina/>

### 「保活情報交換会」開催のお知らせ

育児・介護支援事業ワーキンググループでは、来年4月入所を目指される方その他研究者の保活に関心を寄せる方のために、本年度も保活情報交換会を企画しました。保活経験者にその経験をご披露いただいたり、紙面ではお伝えしきれない情報を交換したりする場にしたいと考えています。関心をお持ちの方はぜひお気軽にご参加ください。

※「保活」とは、子どもを保育所に入れるために保護者が行うあらゆる活動・努力のことです。

【日時】2021年9月30日(木) 12時15分～13時30分頃 (Zoomによるオンライン開催)

途中入退室自由 お子さんの声や乱入歓迎

【対象】京都大学の教職員および学生

【申込方法】参加申込みは以下のサイトからお願いいたします。

<https://docs.google.com/forms/d/1cxzHOHi1WBNtXE6EDnteccfmA6Qm9q6x5ZGYtRhaA/edit?ts=61316e2c>

(参加申込みには、kyoto-u.ac.jpが含まれるメールアドレスが必要となります)

## 連載：研究者になる！－第85回－

医学研究科・准教授 竹之内 沙弥香



### ●出逢いによって導かれ実現した夢

高校では、個を大切に、創造性豊かであることを重んじる「自主創造」の校風を、心ゆくまでエンジョイしたように思います。素晴らしい先生や友達に恵まれ、担任の勧めでチャレンジした生徒会、3歳から習っていたスイミングの延長で入った水泳部の活動や文化祭など、勉強そっちのけで青春を謳歌しました。あまりに高校生活をエンジョイし過ぎて、大学受験に危機感を感じ始めたものの時すでに遅し。幼い頃に流行ったアニメの主人公に憧れ、看護師になりたいと思いながらも家族の反対で文系コースに所属していた私は、1年浪人するなかで、やはり自分の夢である看護師への道を目指すことを覚悟し、理系に転向しました。

京大医療短大、米国留学や大学院を合わせると、長く多彩な学生時代を過ごしました。医療短大時代には、最終学年になっても就職活動をしていなかった私を心配して、担当の先生が面接し、ひそかに憧れていた米国のカリフォルニア州にあるホスピスへの留学を後押ししてくれました。その面接の帰り道、講義でそのホスピスを紹介してくれた先生にばったり出会ったこと、ゼミの指導教員であった恩師からも推奨を得たこと、両親が援助してくれたことで、留学の夢が現実になりました。米国の大学では、日本で学んだ看護や医療の知識を全部英語で学び直し、カリフォルニア州の看護師免許取得まで、ひたすら努力の日々でした。でもそこから得た、大切な人達との出会いや、念願のホスピスで看護師として働いた経験は、すべて私の宝物です。

### ●看護師の経験を活かして研究者に

米国のホスピス・緩和ケア病棟での仕事は、毎日新しい学びがあり、やりがいを強く感じていました。出来るものなら、このままずっとここで働きたいと思うほどでした。しかし、母国におけるナースの緩和ケア教育や倫理教育に、何か貢献できればと、5年間お世話になった San Diego の家族や仲間と別れを告げて、京大の大学院に進学しました。帰国後は、現場での看護に専念したいという気持ちが何度も頭をよぎりましたが、大学院で取り組んだ研究プロジェクトをやり遂げるために、研究者を目指しました。当時、アルバイト先の病院で、私が担当していた患者さんが、私の研究テーマについて、これからもっと大切になる領域だから頑張ってくださいと、幾度も励ましの言葉をくださったことも、研究者になる大きな後押しとなりました。

現在私は、病と共に生きる人とそのご家族に、看護師がどのような意思決定支援をすれば、患者の価値観を反映した医療・ケアを提供することができ、患者が満足して日々の療養生活を送ることができるか、より良い支援方法を検討し、多くの研究者と一緒にモデル開発に取り組んでいます。また、日本文化に即した倫理的看護実践と看護倫理教育を進めるために、国際研究や国内共同研究等を通して幅広い視点から考察を深めています。

### ●初心忘るべからず 叶えた夢をさらに大きく発展させるために

私生活では、看護研究者の立場から、妊娠・出産・育児の経験を経て多くの発見をしました。身体の生理的変化の不思議や生命の力強さ、Nursing（看護、授乳、育児）の素晴らしさを、実体験を通して学べる貴重な機会は、女性ならではのメリットだと感じました。

これまでに、子どもの怪我や病気で、急に仕事の予定を変更しなければならないことが何度もありましたが、それでも研究と子育てを両立できたのは、どんな時もあたたかく支えてくれた上司や同僚のおかげと深く感謝しています。大学時代からの付き合いの夫とは忙しいながらも、コミュニケーションを大切に、家事・育児を分担しています。夫が私の価値観をよく理解してくれているから、仕事と子育ての双方を頑張れるのだと感じます。子どもの小さい頃は、困難な課題に直面しては試行錯誤する日々でしたが、大学の支援や周囲の協力のおかげでここまでやってこれたことは、本当に有難いことです。

子どもが少し大きくなった今は、成長をそばで見守りながらも、「初心忘るべからず」をモットーに、より一層教育や臨床研究に真摯に取り組んでいきたいと思っています。質の高い看護ケアを実践できる看護師の育成や、患者さんの well-being の向上につながる研究を実施できる看護研究者の育成に尽力すると同時に、多くの医師や看護師に役に立ち、患者さんやご家族に喜んでもらえるような研究成果を、一つでも多く発表したいです。

## 「保活情報交換会」オンライン開催

9月30日(木)12時15分より、昨年度も好評だった育児・介護支援事業ワーキンググループ主催の「保活情報交換会」を、本年度もオンラインにて開催しました。

「保活情報交換会」は保育園入所を目指す人やその他研究者の保活(子どもを保育園に入れるために保護者が行う活動)に関心を寄せる人たちのために企画されているイベントです。大学構内にある朱い実保育園・風の子保育園の園長にも参加いただき、齊藤 真紀ワーキンググループ主査(法学研究科)の司会で進行されました。

まず、保活経験者である本田 晶子ワーキンググループ推進員(地球環境学)より保育園入園のタイミングや見学についての経験談とアドバイスがありました。さらに齊藤主査より京都大学における支援制度等の説明がありました。その後、各園長からコロナ禍での保育の様子や保活におけるポイントについてお話しいただき、令和4年度京都市保育利用申込みに関する情報も提供いただきました。引き続いて、事前に、また当日に参加者から寄せられた様々な質問に関連したやりとりがなされ、時間いっぱいまで盛り上がりました。約30名の参加のもと、保活について多くの情報共有が出来た大変有意義な時間となりました。ご参加いただきました皆様ありがとうございました。



2021年10月現在、新型コロナウイルス感染のリスクなどから保育園へ子どもを預けることを控える保護者が増加し、また、少子化の影響もあり、0歳児の年度途中入所の空き枠の状況は例年とは大きく異なっているようです。一般的には入所しやすくなったようですが、園により状況が異なるため最新情報をチェックしてください。

## 全学共通科目(後期)「ジェンダー論」

教育支援事業ワーキンググループが担当する全学共通科目(後期)「ジェンダー論」が、10月5日(火)より開講されました。後期の授業は10月22日より対面となりましたが、この講義はオンラインにて実施をしています。

履修登録には600名を超す申込がありました。人数制限があり抽選の結果295名の履修登録となりました。本年度も一部となりますが講義動画を公開する予定をしています。

## 第16回女子中高生のための関西科学塾

「女子中高生のための関西科学塾」は、大学の設備を使つての実験や、理系の先輩たちとの交流・講演などを通して、理系の世界の幅の広さや奥の深さ、その道に進む魅力を実感できる事業を通年で行っています。京都大学、大阪大学、神戸大学、奈良女子大学、大阪府立大学、大阪市立大学の6大学が参加し1年ごとに幹事校を交替しながら、その年度の関西科学塾を運営しています。

第16回目となる今回はオンラインでの科学塾となり、京都大学では10月24日(日)に中学生を対象に開催されました。実習は理学研究科、農学研究科、情報学研究科の3グループで行われ33名の参加がありました。

第16回 女子中高生のための  
**関西科学塾**  
 申込締切日 8/20(日)

申し込みはこちら  
<http://www.kansai-science.jp/>

<b>A</b> 2021年 7/11(日) 13:30-16:40 ●第16回 女子中高生のための関西科学塾 ●特別講演 京都大学 理学部 理学系 教授 齊藤 真紀 ●特別実習 京都大学 理学部 理学系 教授 齊藤 真紀	<b>B</b> 2021年 8/18(水) 午後 ●特別講演 京都大学 理学部 理学系 教授 齊藤 真紀 ●特別実習 京都大学 理学部 理学系 教授 齊藤 真紀
<b>C</b> 2021年 10/24(日) 午前 ●特別講演 京都大学 理学部 理学系 教授 齊藤 真紀 ●特別実習 京都大学 理学部 理学系 教授 齊藤 真紀	<b>D</b> 2021年 11/7(日) 午後 ●特別講演 京都大学 理学部 理学系 教授 齊藤 真紀 ●特別実習 京都大学 理学部 理学系 教授 齊藤 真紀
<b>E</b> 2021年 12/12(日) 午後 ●特別講演 京都大学 理学部 理学系 教授 齊藤 真紀 ●特別実習 京都大学 理学部 理学系 教授 齊藤 真紀	<b>F</b> 2022年 3/19(土) 3/20(日) 午後 ●特別講演 京都大学 理学部 理学系 教授 齊藤 真紀 ●特別実習 京都大学 理学部 理学系 教授 齊藤 真紀

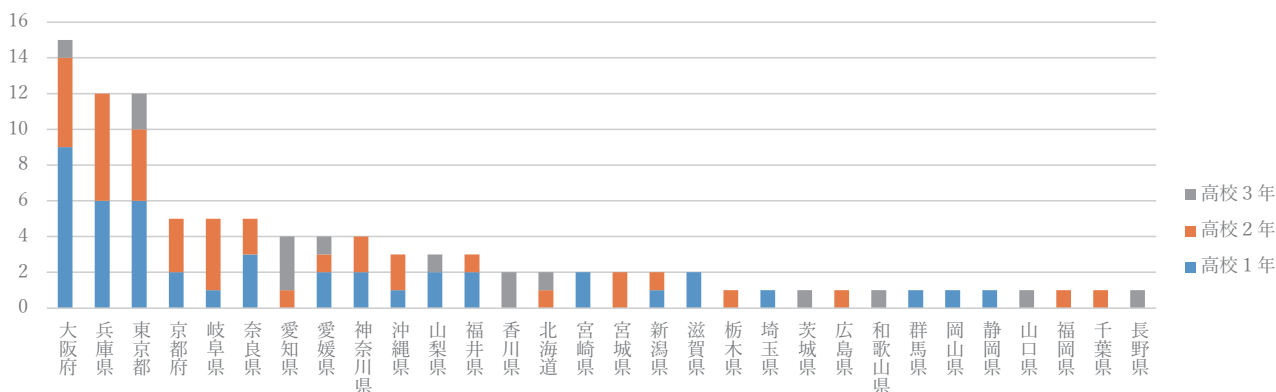
## 女子高生・車座フォーラム 2021

11月7日（日）9時30分より、オンラインによる「女子高生・車座フォーラム 2021」を開催しました。

高校生99名、保護者11名の参加がありました。ご参加くださった皆様、ありがとうございました。

今回で16回目の開催となるこのフォーラムは、女子高生に京都大学での学生生活や研究者の仕事を知ってもらうため、毎年開催しています。これまでは12月下旬の開催でしたが、11月初旬に開催としたことで高校3年生からも多数の参加申し込みがあり、申込当日に定員を越える申込となり関心の高さが伺えました。また、これまで以上に全国各地より参加がありました。当日の詳しい内容につきましては、次号の第100号とHPにてお伝えします。

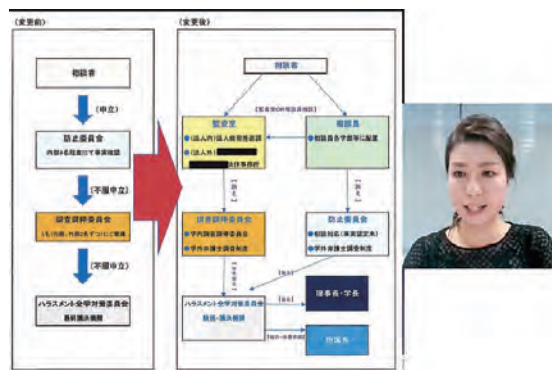
### 地域別参加者



## 女性教員懇話会セミナー

第3回セミナー「大学でのハラスメントの実情」（9月14日12時10分～13時）では、国本 聡子弁護士を基調報告者とし計7名の弁護士にご講演と質疑応答を行っていただきました。大学はハラスメントが生じやすい環境であり大学にはその防止のための適切な措置を講じる義務があること、多くの大学で一定の制度は設けられているものの運用面で課題があること、法曹関係者を積極的に起用した制度を整備した他大学の例等をご説明いただきました。

第4回セミナー「京大における女性の平等参画実現に向けて」（10月13日12時10分～13時）では、「京都大学男女共同参画推進アクションプラン（2022年度～2027年度）」の策定作業が進んでいることを踏まえて、深澤 愛子教授（iCeMS）から、名古屋大学の取組みについて紹介していただきました。名古屋大学では、大学の研究力を高めるべく運営戦略の一環として非常に充実した育児支援等の各種施策を進めていることに、参加者から感嘆の声があがっていました。つづいて和久井 理子教授（法）が京大の現状・課題を概観し、参加者間で意見交換を行いました。



第3回セミナー

### 大学の運営戦略としての育児支援の充実



育児支援を福利厚生ではなく、大学の運営戦略として捉える



第4回セミナー





## 研究者の妊娠・出産・復帰その① 妊娠の報告と対応

研究・教育等で忙しくしている中、初めて妊娠した場合、初めて経験する体調の変化とどのようにつきあっていけばよいのか、業務や研究活動をどうするか、周囲の人へいつ、どのように報告すればよいかなど悩みは尽きません。本コラムでは、これから数回にわたり、妊娠された本人に役に立つと思われる（注1）、また、職場で身近な人が妊娠された、あるいはされる可能性がある場合に参考になりそうな情報をそのような経験をした者の目線でお伝えしていきたいと思います。

今回は、いつ、どのように報告するかと、職場はどのように対応すべきかと、職場側の対応について取り上げます。

産婦人科で妊娠を告げられ、自治体で母子手帳を交付されると妊娠生活が始まります（注2）。妊娠が判明しても、その後起こりうるさまざまな事態を考えれば、直ちに職場に報告することを躊躇されることもあるでしょう。しかし、健診を受けるために休んだり、体調の変化に応じて業務内容を見直してもらったりする必要が出てきます。また、妊娠は、どのように健康な人であっても、順調に経過するとは限りません。出産予定日が確定する頃には悪阻（つわり）がはじまり思うように仕事ができなくなったり、切迫流産のために突然自宅・病院での安静が必要になったりする場合があります。また、いずれ産休に入り、職場から一時離れることにもなりますので、職場には、代替人員の手配等の対応に向けた準備の時間が必要になります。そのため、妊娠が判明したら、早めに職場の責任者に報告し、さまざまな事態に備えましょう。万一身動きがとれなくなった場合に備えて、業務の引き継ぎや自宅の仕事環境の整備なども併せて行っていくとよいでしょう。報告は、まず、職場の責任者や仕事・業務で直接かかわる人に、次いで少しずつ周囲の人に、とすることが多いようです。妊娠出産の可能性およびその場合の仕事の希望などは、直接関連する上司には普段から相談をしておく、いざという時に対応もしやすくなります。

一般企業とは異なり、大学の研究職においては、この種のことを誰に相談・報告すべきなのかが明確でない場合もあります。しかし、妊娠初期は心も体もデリケートな時期で、適切な対応や配慮が求められるとともに、妊娠の経過に応じた業務上の対応も必要になります。日頃から、妊娠が分かったら誰に報告するのかなど、職場としてそのような事態を予定していることを周知し、構成員の相談や報告のハードルを下げることが望まれます。

一方、妊娠の報告を受けた職場の責任者は、慎重に対応する必要が生じます。妊娠はデリケートな個人情報であり、無事に出産を迎えられるその日まで何が起こるか分かりません。本人の意思に反して、業務上必要な範囲を超えてその事実を第三者に告げることは控えましょう。また、妊娠・出産に関わる学内の制度について、事務担当者に情報提供を受けるよう助言をしましょう（注3）。

妊娠をしたこと、妊娠中の時差出勤などの母性健康管理措置や深夜業免除などの母性保護措置を受けたこと等を理由に、降格等の不利益な取扱いをすることは法律で禁止されています。また、妊娠したことを理由に仕事や研究を辞めることを促したり、妊娠中の業務の軽減について不満を述べたりすることにより妊娠中の人働き続ける環境を悪化させることはハラスメントに当たります（注4）。職場の責任者には、自らそのような行為をしないことはもちろん、そのようなことが行われないような職場の環境作りが求められます。

出産までの数か月間は、意外と短いものです。いざというときに慌てないように数か月先まで余裕をもって計画を立て、家族や周囲の人と相談しながら、お腹の子どもとの大切な時間を健康にまた穏やかに過ごしていただけることを願っています。また、職場の同僚や責任者にあたる方々においては、妊娠した女性が相談しやすい雰囲気を作っていただけるとありがたいです。

（文責 育児・介護支援事業 WG 専用アドレス：ikwg@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp）

注1）妊娠・出産にかかる法制度について、以下のウェブサイトでは、働く女性の視点で整理されています。

<https://www.bosei-navi.mhlw.go.jp/ninshin/>

注2）以下のウェブサイトでは、京都市の委託を受けて、公益社団法人京都府助産師会が、不妊・不育症、思いがけない妊娠等に悩む人たちに向けて、情報や相談窓口を提供しています。<https://www.ninshin-hotnavi.com/>

注3）学内の支援制度についてのパンフレットがございます。

[https://www.kyoto-u.ac.jp/sites/default/files/embed/jaaboutgender\\_equalitydocuments201908.pdf](https://www.kyoto-u.ac.jp/sites/default/files/embed/jaaboutgender_equalitydocuments201908.pdf)

注4）「妊娠・出産・育児休業等に関するハラスメントとなり得る言動例について」

[https://www.kyoto-u.ac.jp/sites/default/files/embed/jaaboutfoundationhuman\\_rightsharassmentdocuments2016gendourei.pdf](https://www.kyoto-u.ac.jp/sites/default/files/embed/jaaboutfoundationhuman_rightsharassmentdocuments2016gendourei.pdf) をご参照ください。

過去のコラムは、こちらでご覧いただけます。<https://www.cwr.kyoto-u.ac.jp/column/mina/>

## 連載：研究者になる！－第86回－

人間・環境学研究科・准教授 中筋 朋



### ●世界各国のパフォーマーとともに演劇三昧

高校時代は病気で運動禁止の時期があったため、体育祭や遠足などの思い出は少ないものの、ピアノに夢中になり必死で練習したり、文化祭には友人とカジノをつくったり、屋内ではエネルギーに過ぎしていた毎日でした。当時はまだ自分の興味と勉強が結びつかず、漠然と認知哲学を学びたいという気持ちで、京都大学文学部へ入学しました。入学後は学生劇団に入り、劇団の活動が開始する18時になってその日はじめて大学に……ということも多々ある、不真面目な学生でした。劇団では、そもそも喋りながら動くということがとても難しく、自分が自分のからだをまったく把握していないことに気づき、その後コンテンポラリーダンスのワークショップに多く参加するようになります。夏休み中、ギリシア、ドイツ、アメリカ、フランスなどさまざまな国の先生に1日中レッスンを受けたり、いっしょにパフォーマンスをつくったり、と非常に贅沢な時間を過ごすこともありました。第二外国語がドイツ語だったのにフランス文学研究室に進んだため、授業で読む文章にいつも手いっぱいでしたが、よき交換パートナーやその友人と過ごすことで新しい言語を身につけていく楽しさを体験することができました。

### ●哲学、科学……多角的方面から演劇にアプローチ

学部生の頃は、自分がダンスや演劇の世界で体験していることと、大学での勉強をかなり分けて考えていたので、全く違う研究をすることも考えましたが、最終的に、自分がからだ、意識、ことばについて体験したことを考えていくには、ことばを発しているからだと対峙する芸術である演劇について研究するのが一番良いように思えました。また、19世紀末のヨーロッパは、からだと無意識の問題を考えるうえで、おもしろいターニングポイントです。もともとはフランス現代演劇、その後、現代演劇をつくる大きな転換点となった19世紀末の研究へ。人間の脳の仕組みがわかってくると同時に、私たちが「無意識」の影響を強く受けているということも注目されるようになった19世紀末の、「人間の内面の表現はどのようなものになりうるのか、そしてそれを身体で表すとどのようなことになるのか」ということを研究のテーマにしています。このことを考えるには、演劇そのものだけでなく、当時の哲学・科学、そしてそれがどのように生活に働きかけていたかを知ることが必要です。また、演劇作品や文学作品を見るにしても、その芸術的な価値を探るだけでなく、歴史資料として見る視線も重要になります。最近では、人間の思考が、どのように魔術的なものと非魔術的なもののあいだで螺旋を描いてきたかを考えるために、19世紀の小説や戯曲、そして演技実践について考えています。

### ●大切なのは体感・体験の知。自分のからだで実験し、自分自身をプロデュース

演技というものを通して気がついた「私は自分のからだの操縦が下手である」ということは、日常生活でもいろいろな「生きにくさ」を生んでいます。それに取り組むために、からだにアプローチして、その影響について考え、まわりの人たちともそれを共有していくうちに、大学院生になっていました。芸術を「している」人がまわりに多かったので、「それについて書く」ということには後ろめたさがありましたが、フランス留学でそのように「書く」「話す」ということも芸術と同じ意味でひとつの行為になりうるということがわかり、これをずっと続けていこうと思いい、最終的に研究者になっていました。研究者は、研究をしていくと同時に自分をプロデュースする必要もあります。そのことを大変だと思ふより、自由でよいなと思う気質だったことが現実的には大きかったのだと思います。考えてみると、私は「自分のからだで実験すること」が好きなようです。語学でもからだを動かすことでも、頭でわかることと、それができるかどうかは別の問題です。何かについて考えることや書くことは、この違いがわかりにくくなりがちですが、体感としてわかっているかどうかを置き去りにしないようにしています。また、「ニュートラルに、けれども個性的に」ということも心がけています。身体がもっている「個性」と、日常生活の蓄積でできたからだに負担をかける「癖」は大きく異なります。一見個性にも見えるこの「癖」を解放したあとに出てくる「個性」を大事にしたいと考えています。加えて今まで学んできたことをさらに進め、学問として広げていくことができると思いますね。

Gender Equality Promotion Center

〒606-8303 京都市左京区吉田橋町  
E-mail w-shien@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp  
HP <https://www.cwr.kyoto-u.ac.jp/>

# たちばな

## 京都大学男女共同参画推進センター Gender Equality Promotion Center

### 「創刊 100 号に寄せて」



男女共同参画推進センター長  
理事・副学長 稲垣 恭子

ニュースレター「たちばな」は、本号をもちまして創刊 100 号の節目を迎えることができました。本誌は本センターの前身である女性研究者支援センターの広報を目的とする「ニュースレター」として 2006 年 11 月に創刊されました。その後、ニュースレター「たちばな」となり、2014 年 4 月に男女共同参画推進センターが設立されてからも引き続きセンターの事業活動や本学の男女共同参画に関するトピックを紹介してまいりました。その間、本学の男女共同参画においては、平成 18 年度科学技術振興調整費「女性研究者の自立的な研究環境整備促進」に採択され、事業終了後は「京都大学重点アクションプラン」に位置づけられ、活動を継続しています。次年度からは、第 4 期中期目標・中期計画に伴って新たに策定した「京都大学男女共同参画推進アクションプラン（2022 年度～2027 年度）」がスタートします。このアクションプランでは、女性教員や女子学生の比率を向上させるために、数値目標の設定や積極的な支援策、また育児・介護等の支援や環境整備、広報活動の拡充などの具体的な方針を設定しています。これらの実施を通して、教職員・学生全体で本学におけるジェンダー平等をこれまで以上に推進していきます。これに伴って、広報誌であるニュースレター「たちばな」におきましても、本学で実施される数々の事業やその成果を広く皆さまにお伝えするとともに、本学の女性教員や各界で活躍する本学出身の方々のインタビュー記事等、さらに充実した楽しい内容にしていきたいと考えています。引き続き、皆様のご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

## ニュースレター創刊号とニュースレター「たちばな」初月号



ニュースレター創刊号（2006 年 11 月）



ニュースレター「たちばな」初月号（2007 年 4 月）

## 女子高生・車座フォーラム 2021



して当日を迎えました。

フォーラムは今村 博臣男女共同参画推進センター広報・相談・社会連携事業ワーキンググループ主査の司会のもと開会しました。はじめに、稲垣 恭子センター長より挨拶があり、京都大学は知的好奇心や夢を育てていける場所であることを中心に話があり、「本日の車座フォーラムを有意義に楽しんでいただき、皆さんが京都大学にチャレンジされることを心待ちにしています。」と締めくくりました。



続いて、大学の体験型海外渡航支援制度「おもろチャレンジ」の紹介があり、体験者2組、総合人間学部の田中 花音さんの「サイエンティフィックイラストレーターの夢をパリまで追いかけて」と大学院医学研究科のTRINH THANH HAI さん、教育学部の中山 貴美子さんの2名による「レゾエミリア教育と森の幼稚園から考える自然と人間のつながり」のプレゼンテーションが行われました。

その後、女子高生は希望学部別のグループワークを教員と京大生と共に行いました。事前に集めた質問内容をもとに活発な意見交換が行われ、中には資料を作成するなど工夫をする学部もありました。また、京大生からは受験勉強や学生生活に関する実体験が聞けたりと、非常に内容の充実したグループワークとなりました。一方で保護者は京大生との交流会に参加し、受験生を持つ保護者ならではの視点で様々な質問がなされ、京大生は受験生時代に親にして



グループワークの様子



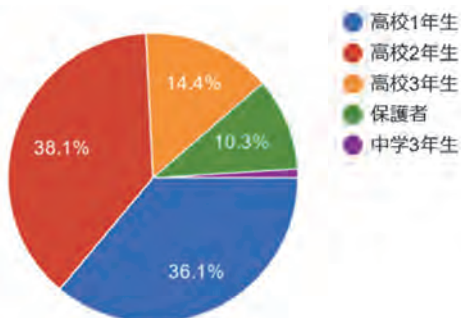
保護者交流会の様子

欲しいこと、して欲しくないことなどについて率直な声を伝えるといった有意義な交流会となりました。

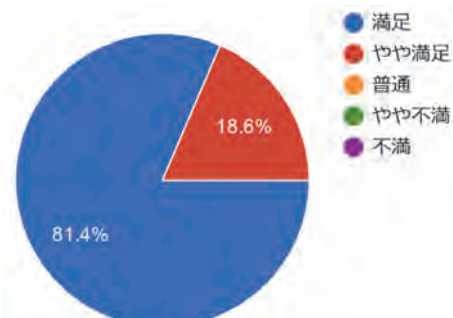
グループワーク終了後は足立 壯一男女共同参画推進センター支援室長の進行のもと、全員でまとめの会を行いました。それぞれの学部の講師よりグループで話し合った内容の報告があり、他グループの話し合いについての情報の共有をしました。その他、他学部から寄せられた質問に対して関連する学部の講師にその場で回答いただき、議論が盛り上がったまとめの全体会となりました。最後に入試企画課から入試説明の動画を配信し、閉会しました。

## 車座フォーラム アンケート（参加者合計 110 名中 97 名回答）

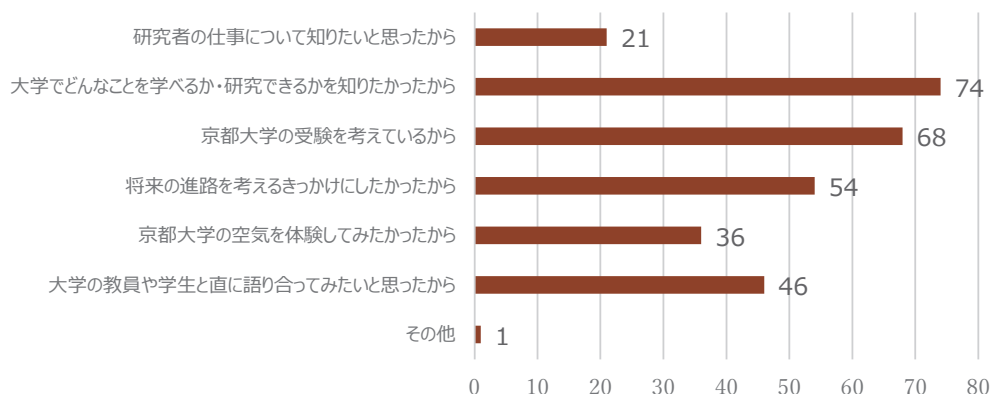
### ① 参加学年について



### ② 本日のフォーラムについて（グループワーク・保護者交流会）



## ③ あなたがこの車座フォーラムに参加しようと思った動機は何ですか？（複数回答可）



## 車座フォーラム参加者の声 ※一部抜粋

- ・とても楽しい時間でした。実際にお話を聞かせていただいて、自分の興味を追求できる環境を魅力的だと感じました。ほんとうに幅広い学問に触れることが出来ることや、いろいろな興味を持った生徒たちとともに学びたいと思いました。
- ・大学受験に関連した双方向のイベントには参加したことがなかったためとても新鮮でした。ありがとうございました。
- ・進路について迷っているところも多かったのですが、先生や先輩方のお話を聞く機会が持て、とても参考になりました。オンラインということもあり、参加しやすかったです。
- ・今回のフォーラムを通じて、今までは知りえなかった現場の声、生の声というものを直接聞くことができ、沢山勉強になりました。また、京都大学という日本最高峰の場で、実際に学びを深めたいと強く感じました。来年も楽しみにしております。本当にありがとうございました。
- ・京都大学の雰囲気を感じる事ができてとても良かったです。女子高生のためのフォーラムだったためか、素敵な女性教授陣ばかりで女性にとって良いモデルが近くにいるって素敵だなと感じました。娘にもぜひ頑張ってもらいたいです。（保護者）
- ・休日の中、先生たちや女子学生さんと実際にざっくばらんにお話する事ができて有意義な時間が過ごせました。皆さんとても素敵に輝いていました。是非娘も研究者になる夢を叶えて欲しいと思いました。遠方なのでオンラインであって良かったです。今後もオンラインも併用して下さると地方から参加しやすいです。（保護者）

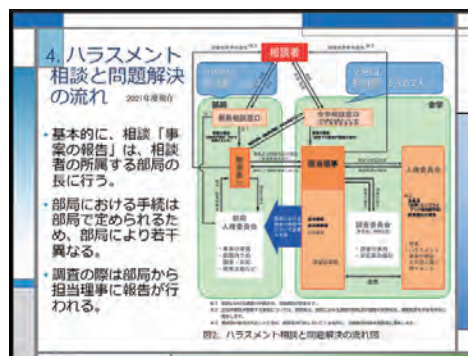
## 女性教員懇話会セミナー 第4回ハラスメント問題研究会

### 「自分ごととして考える：京都大学におけるハラスメント対応制度をもとに」

12月14日（火）12時10分～13時に第4回ハラスメント問題研究会が開催されました。

中川 純子准教授（京大学生総合支援センター・カウンセリングルーム）に京都大学の相談制度について解説していただきました。その後、大浦 綾子先生はじめ8名の弁護士、参加者との間で質疑応答があり、相談・調査の担当者を分けることは適切であること、他大学では調査に弁護士等第三者があたる制度の採用例があること、カウンセリングルーム（<https://www.gssc.kyoto-u.ac.jp/counsel/information.html>）は教員も利用できることなどを教えていただきました。

次回研究会は、2022年1月25日（火）12時10分～13時「ハラスメント問題 Q&As」と題して開催され、問題に詳しい8名の弁護士の先生に、ご質問に答えていただきます。参加申込・事前質問は、こちら（<https://bit.ly/3s501aG>）から受け付けています。





## 研究者の妊娠・出産・復帰その② いつから休む？

前回より、研究者の妊娠・出産・復帰に関連して生じる悩みや課題を扱っています。2回目である今回は、産休・育休の取得を取り上げます。

一般に、産休とは産前休暇および産後休暇を略したもの、育休とは育児休業を略したものとして使われており、本コラムでもそれに倣いたいと思います（注1）。

産前休暇の取得は、本人の判断に委ねられており、出産予定日の6週間前（双子以上の場合は14週間前）から、請求すれば取得できます。これに対して、産後休暇は、強制休暇で、本人の意思にかかわらず、出産の翌日から8週間は就業することができません（ただし、産後6週間を経過後に本人が請求し、医師が認めた場合は就業することができます）。産前・産後休暇は、取得してもその間給与は従来通り支払われます（注2）。

一方、育児休業は、一定年齢以下の乳児を養育する就労者が、男女を問わず、希望する期間子どもを養育するために休業することができるものです。本学においては、常勤教職員の場合には3歳に満たない子が対象となります。また、常勤教職員以外の場合には、原則として1歳に満たない子が対象となりますが、一定の事情があれば、1歳6ヶ月または2歳に達するまで取得できます。育児休業の間は、給与は支払われませんが、一定の要件を満たしている場合は雇用保険から「育児休業給付金」が育児休業中に支給されます（注3）。

出産予定日が決まれば、産前休暇が取得可能な時期が定まります。正式な申請は取得する直前にする場合であっても、研究・教育活動の関係者に見通しを与えるために、いつから取得するかを早めに決めて、伝えておくことが望ましいでしょう。自分が抜ければなりたなくなる業務がある場合や担当が決まっている授業がある場合には、代理を探す時間を見込んでおかなければなりませんし、研究や発表のスケジュールも関係者の協力を得て見直すことが必要となってくることもあります。

各種の研究費には、産休・育休の間は使用できなくなるものもあります（注4）。本学では、簡単に以下のような取扱いがされています。例えば、科研費については、研究中断届けを出していなくても、産休・育休中の科研費執行は認められず、科研費を用いた雇用もできません。ただし、研究代表者が産休・育休を取得する場合、産休・育休を取得しない別の者に研究代表者を変更すれば、当該科研費を用いた雇用を継続することができます（なお、科研費の申請自体は産休・育休中においても可能です）。その他の外部資金については、外部資金の提供元と研究代表者の了解のもとで、別の取扱いができることもあります。各部局に配分された運営費を財源とするものについては、各部局の判断に委ねられます。以上は、読者の皆さんにおおまかなイメージをお伝えするための概略です。各自の研究費の執行にかかる正確な取扱いについては、必ず各部局の会計担当者にご確認ください。

以上のように、産休・育休中には研究費の執行ができなくなる場合があるため、本人の希望で、産前休暇の開始時期をできる限り遅らせる、あるいは取得しないというケースもあるようです。もっとも、妊娠の経過次第では、出産予定日を待たず、入院や早期の出産に至ることもあり、また、産後休暇は強制的に取得することになります。したがって、とりわけ、自分が研究代表者になっている資金で行われている共同研究については、休んでいる間の扱いにつき関係者と相談しておく必要があります。

育児休業については、いつまで取得するのかについて悩まれる方も多いと思われます。これについては、次回取り上げたいと思います。

（文責 育児・介護支援事業 WG 専用アドレス：ikwg@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp）

注1）本文の記述は、特に注記がない限りは、常勤教職員の場合を前提にしています。各自の雇用形態にかかる京都大学の制度については、以下のウェブサイトをご確認いただくとともに、事務担当者に詳細をお尋ねください。

[https://www.kyoto-u.ac.jp/sites/default/files/embed/jaaboutgender\\_equalitydocuments201908.pdf](https://www.kyoto-u.ac.jp/sites/default/files/embed/jaaboutgender_equalitydocuments201908.pdf)

また、産前休暇・産後休暇・育児休業にかかる法制度一般については、以下のウェブサイトをご参照ください。

[https://www.bosei-navi.mhlw.go.jp/ninshin/sanzen\\_sango.html](https://www.bosei-navi.mhlw.go.jp/ninshin/sanzen_sango.html) <https://www.bosei-navi.mhlw.go.jp/ninshin/ikuji.html>

注2）本文の記述は、いずれも妊娠した女性について現行制度についてです。育児休業について法改正に基づく制度変更が予定されております。新制度および男性の育児休業や育児参加一般については、また回を改めて取り上げたいと思います。（改正育児・介護休業法については厚生労働省の「育児・介護休業法について」<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000130583.html> 参照）

本学には、外部資金で雇用されている常勤研究者の産前・産後休暇の給与相当額を支援する制度がございます。<https://www.cwr.kyoto-u.ac.jp/support/research/expenses/> また、学術振興会の特別研究員は、出産または育児に伴い研究に専念することが困難な場合には、一定の場合、採用の中断及び延長を申請することができますが、中断期間中は研究奨励金も支払は停止します（ただし、研究再開準備期間中には半額が支給されます）。「日本学術振興会特別研究員 遵守事項および諸手続の手引き 令和3年度版」18頁参照。

注3）支給額は、支給対象期間（1ヶ月）当たり、原則として休業開始時賃金日額×支給日数の67%（休業開始から6ヶ月後は50%）相当額となっています。

注4）育児休業等の取得に伴う科研費の交付申請の留保や中断については、科研費FAQの【Q5201】（令和3年10月版であれば、31頁以下）をご参照ください。[https://www.jsps.go.jp/j-grantsinaid/01\\_seido/05\\_faq/data/kakenhi\\_2021faq.pdf](https://www.jsps.go.jp/j-grantsinaid/01_seido/05_faq/data/kakenhi_2021faq.pdf)

過去のコラムは、こちらでご覧いただけます。<https://www.cwr.kyoto-u.ac.jp/column/mina/>

## 連載：研究者になる！－第87回－

環境安全保健機構 健康科学センター・助教 中神 由香子



### ●悩んだ末に決めた医師への道

江戸時代に活躍した医師の一人で、門下生が 3000 人もいたとされる中神琴溪、私はその中神琴溪の末裔（10 代目）にあたります。そのため、父、祖父、曾祖父と代々医師であり、親戚にも医師が多かったことから、自然と医学の道に興味を抱くようになりました。ただ当時、同志社高等学校に通っていたのですが、内部推薦で進学できる同志社大学には医学部がありません。また、安易な気持ちで医師という職業を選択したくない思いがありました。将来どうしたか真剣に悩んだ末、医学部受験を選ぶことにしました。

京大医学部に合格しましたが、入学した当初は恥ずかしながら、医師＝臨床医と考えていました。研究をする医者とは変わり者なんじゃないか？といった偏見すら抱いていました。ところが、6年間の医学部生活の中で、熱い思いを抱き研究室に通っている同級生や先輩の存在が気になり始めました。好奇心から研究室に通い、ドイツの研究室で実験する機会もありました。しかし、当時は動機が明確でないこともあり、あまり長続きしませんでした。ただ、振り返ってみると、この学生時代の研究経験があったからこそ、臨床医になった後に基礎研究を行う選択肢が生まれたのでしょうか。今では学生時代に研究に携わることができた有難さと意義深さを強く感じています。

医学部を卒業し初期研修医として精神科臨床に携わる中でやりがいを感じ、精神科を専門とすることにしました。そして、統合失調症と出会いました。統合失調症は幻覚や妄想が特徴的な精神疾患ですが、その病態には未解明な点が多く、今も根治的治療方法は見つかっていません。長期入院を余儀なくされている沢山の患者さんを目の当たりにし、なんとか良い治療方法を見出せないだろうか、と研究への思いが募るようになりました。

### ●仮説から世界で初めての発見へ

幻覚や妄想といった症状が特徴的とされる統合失調症は思春期から 20 代の若い時期に発症します。生涯有病率は約 1% であり、決して珍しい疾患ではありません。なぜ統合失調症になるのか、について研究が行われ、遺伝子異常や免疫異常などの様々な要因との関連が明らかになってきましたが、未だ解明されていることは多くありません。

一方、2007 年に抗 NMDA 受容体抗体による脳炎が報告されました。この脳炎では統合失調症と似た症状が引き起こされますが、統合失調症と異なり、免疫療法を含む根治的な治療方法が存在します。抗 NMDA 受容体抗体が発見される以前は、この脳炎患者さんの一部は統合失調症と診断されていた可能性があります。

私はこの事実を知り、まだ見つかっていない未知の抗体によって統合失調症症状が出現している一群があるのではないか？と思うようになりました。そして、一部の統合失調症患者の病態には自己抗体が関連しているのではないかと、という仮説のもとに研究を行うようになりました。その結果、ミトコンドリア代謝に関連する PDHA1 に対する抗体を有する一群が、統合失調症患者に存在することを発見し、世界で初めて報告されることになりました。その後さらにはこの抗体の病的意義解明のため研究を深めています。

### ●臨床と研究を両輪に

#### 大きな夢を持って、細くとも、長く

私自身の研究が臨床に根差していることもあり、臨床業務も大切にしています。そのため、研究に割ける時間には限界があります。一方、研究にはこれだけやれば終わりという限界はなく、やればやっただけ、新たにやるべき事が出てくる側面があります。そのため、たとえ研究を進めるスピードが遅い状況になっても焦りすぎないように心がけ、細くとも長く、継続的に研究を進めていくことを信念としています。

私には娘がおりますが、残念ながら夫のサポートが得られず、家事や育児は私が担っています。仕事と家庭生活の両立には、福利厚生が役立っています。家事や育児を手伝ってもらえる環境が理想的だと思いますが、そうでなくても福利厚生を利用しながら仕事や研究を諦めない道もあると思います。どのような状況であっても、今やれることを精いっぱいやるしかありません。私は統合失調症の治療をより良いものにするという大きな夢を持ち、細くとも長く、研究を続けていきたいと思っています。

Gender Equality Promotion Center

〒 606-8303 京都市左京区吉田橋町  
E-mail w-shien@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp  
HP <https://www.cwr.kyoto-u.ac.jp/>

## 京都大学たちばな賞（優秀女性研究者賞）表彰式



3月3日（木）、京都大学たちばな賞（優秀女性研究者賞）の表彰式が行われました。新型コロナウイルス感染拡大予防の観点から、昨年に引き続き表彰式はWeb会議システムを使用したライブ配信形式で実施し、学内外から多くの視聴がありました。

京都大学たちばな賞は、優れた研究成果を挙げた本学の若手女性研究者を顕彰することによりその研究意欲を高め、もって将来の我が国の学術研究を担う優れた女性研究者の育成等に資することを目的として創設され、今回で第14回となります。

今村博臣 男女共同参画推進センター広報・相談・社会連携事業ワーキンググループ主査の司会進行で、はじめに、男女共同参画推進センター長である稲垣恭子 理事・副学長より開会の挨拶がありました。



次に、湊長博 総長よりたちばな賞学生部門受賞者の中西智子氏（医学研究科 博士課程4年）、研究者部門受賞者の小田裕香子氏（ウイルス・再生医科学研究所 助教）へ表彰状と記念盾が授与され、加茂下泰生 株式会社ワコール 取締役 常務執行役員より副賞の「ワコール賞」が贈呈されました。また、優秀女性研究者奨励賞受賞者の前田玉青氏（理学研究科 博士後期課程2年）と川崎純菜氏（生命科学研究科 博士後期課程3年）にも、同じく

湊総長より表彰状と加茂下取締役 常務執行役員より副賞の「ワコール賞」が贈呈されました。その後、たちばな賞受賞者の中西智子氏と小田裕香子氏による研究発表が行われました。

最後に、村中孝史 理事・副学長より閉会の挨拶があり、盛会のうちに終了しました。



### たちばな賞（優秀女性研究者賞）受賞者

部門	氏名	所属・身分	研究テーマ
学生部門	中西 智子	医学研究科 博士課程4年	大規模ゲノミクスによる呼吸器難治性疾患の遺伝的素因の解明と臨床的意義の検討
研究者部門	小田 裕香子	ウイルス・再生医科学研究所 助教	上皮組織の修復を促進する新規生理活性ペプチドの発見

### 優秀女性研究者奨励賞 受賞者

部門	氏名	所属・身分	研究テーマ
学生部門	前田 玉青	理学研究科 博士後期課程2年	ドローンによる観察から明らかにする野生化ウマの重層社会
学生部門	川崎 純菜	生命科学研究科 博士後期課程3年	オープンデータを用いたウイルス配列の網羅的探索と感染症研究への応用



## 令和4年度第1期研究支援・実験補助者雇用制度 利用者決定

令和4年度第1期研究支援・実験補助者雇用制度の利用者は、20名（女性15名、男性5名）の方に決まりました。

研究支援・実験補助者雇用制度とは、育児又は介護のために十分な研究・実験時間が確保できない研究者に対し、研究又は実験業務（注：経理等の一般事務や秘書業務及び教育関係の業務は支援対象外）を補助する者の雇用経費を助成するものです。本事業は性別は問わず、育児・介護に携わる研究者が対象となります。

令和4年度第1期より名称を「研究・実験補助者雇用制度」から「研究支援・実験補助者雇用制度」に改め、資料収集などの事務的な研究支援業務に従事させる場合には、補助者を事務補佐員又はオフィス・アシスタント（事務）として雇用できることとなりました。

## 2022年度保育園入園待機乳児保育室「ゆりかご」

学生・研究者の学業、研究と育児の両立を支援することを目的とし、「保育園入園待機乳児のための保育施設」（愛称ゆりかご）を設けています。この保育施設は、自治体に保育園入園申請をおこなったが、入園待ちを余儀なくされている研究者等を対象としています。

2022年度は4月4日（月）から開室の予定です。

利用希望の方は、事前登録をした上で、自治体への保育園入園申請を行い、入室希望日の1か月前までにお申し込みください。詳細については下記URLをご覧ください。

<http://www.cwr.kyoto-u.ac.jp/support/care/nursery/>



## 2021年度 ワーキンググループ活動報告

### 広報・相談・社会連携事業 WG

主査 今村 博臣

広報事業では、センターの活動について、ウェブサイトやwebニュースレター「たちばな」、卒業生紹介の冊子「Will」を通して、学内外に広報活動を行いました。

相談事業では、メンター登録教員を増員し、幅広い相談内容へ対応できるように体制を強化しました。

社会連携事業としては、関西の他大学と連携し、第16回女子中高生のための関西科学塾をオンラインで開催しました。京都大学においては、10月24日に様々な分野のグループに分かれて実験を実施しました。また、11月7日には女子高生・車座フォーラム2021をオンラインにて開催しました。新型コロナウイルス感染症の影響で、どちらのイベントも昨年に引き続きオンライン開催となりましたが、両イベントとも多数の高校生および保護者にご参加いただきました。将来を担う次世代の女性たちに、早い段階から京都大学の雰囲気に触れ、教員や学生と交流する機会を提供することができたと考えています。

## 育児・介護支援事業 WG

主査 齊藤 真紀

当 WG では京都大学構成員の育児と介護に関する支援活動を行っています。

今年度も4月に男女共同参画推進センター内に待機乳児保育室を開室いたしました。ここでは京都大学の学生・研究者を対象として、認可保育所に入所できなかった生後15ヶ月未満のお子さんをお預かりしています。近年京都市に認可保育所が相次いで開設されていますが、依然として年度途中での保育所入所は厳しいもようで、保育室の総利用者数（途中退室者を含む）は年度末の時点で16名に達する予定です。

また、新たな支援の可能性を模索すべく、情報の発信と収集を促進するため、ニュースレターたちばなへのコラム掲載を継続しており、今年度は6本の記事を掲載しました。また、教職員・学生の皆さんの保活（子どもを保育所に入所させるための活動）への支援活動として、保活情報交換会を開催しました。

## 病児保育事業 WG

主査 横山 淳史

京都大学男女共同参画推進センター・病児保育室「こもも」（以下、病児保育室）は、京都大学に在籍する全ての教職員・学生の子供（生後6ヶ月から小学校6年生※2019年4月から年齢上限引き上げ）を対象とし、急な疾病により保育園／幼稚園、小学校などに通うことの出来ない病中病後児の保育を行っています。事前登録制による運用で、登録者数はのべ1250名、うち2021年度の新規登録者21名（2021年12月末現在）です。2021年度は新型コロナウイルス感染症対策により、病後児保育室として定員2名で再開することとなりました。利用状況は感染症の流行に大きく左右されており、厳しい利用条件のために断わらざるを得ない日が続くこともしばしばみられますが、利用者からは概ね良いご意見をいただいています。

定期的な利用者へのアンケート調査や要望を受けて、利用基準についての見直しを随時行っており、利用者からはより利用しやすくなったという声をいただいています。感染対策上困難な点もありますが、京都大学医学部附属病院感染制御部の協力のもと、京都大学教職員・学生が育児を行いつつ、仕事や学業を継続することの可能な環境を実現するため、今後も引き続きよりよい運営方法を検討する必要があると考えています。

## 就労支援事業 WG

主査 木下 彩栄

本 WG の主要活動である「研究支援・実験補助者雇用制度」については、育児や介護期にある研究者の研究継続支援という目的に即して、アンケートなどに示される利用者の声も考慮しながら、毎年、少しずつ改良を加えてきている。本年度中の実績は、第1期で応募者24名、利用者15名、第2期で応募者25名、利用者18名と、時期により変動はあるものの、ここ数年応募者は増加傾向にある。予算の制約のなかで、応募者が困難な状況にあることがわかりながら十分な支援ができないケースも増えてきている。また、ここ数回の傾向として、特任教員・研究員など比較的短い任期で京都大学に所属している研究者、特に外国人研究者からの応募が増加している。不安定な雇用、慣れない土地、家族からの援助も望めない、という状況のなかで育児や介護と研究の両立に苦慮されている男女研究者も多い。必要な支援が可能になるよう制度を充実させることが喫緊の課題である。

## 教育支援事業 WG

主査 落合 恵美子

教育支援事業ワーキンググループは、本学の学生を対象とした正規の授業（ILAS セミナー、全学共通科目）の提供を中心に、本学における性別（ジェンダー）と男女共同参画に関する教育に貢献することをミッションとしています。今年度も新型コロナウイルス感染症の流行のため、オンライン授業を余儀なくされましたが、支障なく実施できました。ILAS セミナーは「ジェンダーと文学」をテーマにした講義・ディスカッションと個人発表を行い、毎回時間いっぱいまで活発な意見交換が行われました。全学共通科目「ジェンダー論」はオンライン化をむしろチャンスとして、遠方の講師も依頼し、進化生態学、霊長類の性など生物学的性と社会的ジェンダーに関する根源的なテーマに始まり、育児、年金、労働、政治参画、貧困などの社会的課題や、文学や映画など文化について、ジェンダーという視点から切り込む講義を提供しました。医学部入試女子学生差別や性的同意など、社会的関心を集めている問題も取り上げ、男性研究についても紹介しました。全14回中、プライベート・著作権等の問題の無い6回の録画を公開動画として編集し、センターHPから公開する予定です。

## 連載：研究者になる！－第88回－

文学研究科・准教授 丸山 里美



### ●音楽を通して興味を持った社会学

高校生の頃は、軽音楽部でバンド活動に明け暮れていました。音楽がその時代の社会的状況や差別された人たちの声を反映して生まれることを知り、大学では社会や文化について考えることのできる社会学を専攻したいと考えるようになりました。社会学を学びたい、と目標を定めてからは、京都大学文学部の受験に向けて努力しました。

大学入学後は、軽音楽部での活動のほか、映画を見たり、講演会に行ったり、おもしろそうと思ったところにはどこにでも顔を出していました。夏休みなどの長期休みにはバックパックを持って放浪の旅に出ることもありました。また1回生から参加していた現代風俗研究会という集まりで、様々な個性を持つ学生や研究者たちと知り合い、研究の楽しさに触れることになりました。そうした環境のなかで、身近にいたのが社会学の大学院生や研究者だったことも、3回生で専攻を決める際に社会学を選ぶ理由となりました。何かフィールドワークをして卒業論文を書きたいと考え、テーマを「ボランティア」に決めて、自分もボランティアをしながら参与観察をしました。大阪市西成区の釜ヶ崎地域で行われていた炊き出しをフィールドにし、3回生からは毎週のように通っていました。

### ●自分の目と足で。フィールドワークが私の研究の原点

「調べてものを書く」仕事に就きたくて、学部生のころは新聞記者になりたいと考えていました。しかしフィールドワークや卒業論文を書く作業が楽しく、また実際にやってみると、短期間でアウトプットを求められる記者よりも、長期間調査に取り組める研究の方が自分に向いていると思ったため、学部3回生の冬に研究者を目指すことに決めました。現代風俗研究会を通して知った、社会学の大学院生や研究者が身近にいたこともあり、研究者の生活のイメージがつきやすかったこともあったと思います。卒業論文のためのフィールドワークをした釜ヶ崎は、日雇労働者やホームレスの人が集住している、男性が圧倒的に多い街です。そこでフィールドワーク中、この街で女性が生きる困難を、身をもって知ることになりました。それをきっかけに、ときどき見かけることがあったホームレスの女性が、どのようにこの困難のなかを生きているのかを知りたいと思うようになりました。院生時代は、女性のホームレスの人を対象に実態調査をしていましたが、現在は世帯内の資源配分に焦点をあてながら、ジェンダーに留意した貧困の概念や測定の仕方について研究しています。

### ●限られた時間を工夫して子育てと研究を

私生活では子どももいるため、研究と家事・育児などの生活との両立に、日々頭を使っています。その中で心がけているのは、ひとつひとつの仕事にかかる時間や締切、優先順位を考えて、仕事のスケジュールを立てるということ。仕事を種類でわけ、午前中はずっとも集中力のいる仕事、ミーティングは午後に入れるようにするなど、それぞれの仕事に適した時間に行うようにすることで、限りある時間を有効に使えるように工夫しています。自分のためだけに使える時間は多くないものの、研究に関しては簡単に理解した気持ちにならず、本当にわかったと思えるまで、時間をかけて取り組むことを大事にしています。近い将来、できればまた海外で研究もしたいし、博士論文以降の研究を本にまとめる作業もしたい。子どもの成長を楽しみながら、自分の時間も大事にし、研究を続けていきたいと思っています。

Gender Equality Promotion Center

〒606-8303 京都市左京区吉田橋町  
E-mail w-shien@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp  
HP <https://www.cwr.kyoto-u.ac.jp/>



## Ⅱ 「育児・介護支援」事業



# 育児・介護支援事業ワーキンググループ活動報告

当 WG では京都大学構成員の育児と介護に関する支援活動を行っています。

今年度も4月に男女共同参画推進センター内に待機乳児保育室を開室いたしました。ここでは京都大学の学生・研究者を対象として、認可保育所に入所できなかった生後 15 ヶ月未満のお子さんをお預かりしています。近年京都市に認可保育所が相次いで開設されていますが、依然として年度途中での保育所入所は厳しいようで、保育室の総利用者数(途中退室者を含む)は、年度末の時点で 16 名に達する予定です。

また、新たな支援の可能性を模索すべく、情報の発信と収集を促進するため、ニュースレターたちばなへのコラム掲載を継続しており、今年度は 6 本の記事を掲載しました。また、教職員・学生の皆さんの保活(子どもを保育所に入所させるための活動)への支援活動として、保活情報交換会を開催しました。

育児・介護支援事業 WG 主査 齊藤 真紀

## ■2021 年活動記録

4 月 5 日(月)	保育園入園待機乳児保育室開室
5 月 27 日(木)	育児・介護支援事業ワーキンググループ会議
7 月 28 日(水)	育児・介護支援事業ワーキンググループ会議
9 月 28 日(火)	育児・介護支援事業ワーキンググループ会議
9 月 30 日(木)	保活情報交換会開催
11 月 29 日(月)	育児・介護支援事業ワーキンググループ会議
1 月 7 日(金)	育児・介護支援事業ワーキンググループ会議
3 月 2 日(水)	育児・介護支援事業ワーキンググループ会議
3 月 15 日(火)	保育室利用者懇談会開催

## 京都大学男女共同参画推進センター 2021年度「保育園入園待機乳児のための保育施設」利用案内

京都大学男女共同参画推進センターでは、学生、研究者の研究と育児の両立を支援することを目的とし、男女共同参画推進センター内に、「保育園入園待機乳児のための保育施設」を設けます。この保育施設は、現在、保育園の入園待ちを余儀なくされている研究者等を対象とします。運営については、民間企業に委託し、大学が一部費用を負担して実施します。

### ◇保育施設の概要

施設の名称: 京都大学男女共同参画推進センター保育園入園待機乳児保育室

施設の所在地: 京都市左京区吉田橋町 京都大学男女共同参画推進センター内

受入定員: 4月～5月: 3名、6月～8月: 6名、9月～翌3月: 18名

### ◇保育の概要

開室期間: 2021年4月5日から2022年3月31日

開室日: 月曜日～金曜日(国民の祝日に関する法律に定める休日、大学の創立記念日、大学が定める夏季・冬季休業期間を除きます。また、京都大学男女共同参画推進センター長がやむを得ない事情により必要と認めるときは、臨時に休室することがあります。)

開室時間: 9時～18時 ※時間外保育は、8時～9時及び18時～20時までとし、別途利用料が必要です。

対象乳児: 入室時生後9週目～2022年3月末時点で15ヶ月未満の健康な乳児

運営体制: 運営を保育業者に委託します。

### ◇利用条件

利用資格: 京都大学に所属する学生、常勤の教員、研究員(週30時間以上勤務、学術振興会特別研究員を含む)、医員(週31時間以上勤務)

### ◇利用料金(税込、乳児1人あたり):

週5日利用: 50,000円/月、学生40,000円/月

週4日利用: 44,000円/月、学生35,000円/月

週3日利用: 35,000円/月、学生28,000円/月

週2日利用: 25,000円/月、学生20,000円/月

※1) 週4日、週3日、週2日の利用は、あらかじめ曜日を指定して、利用するものとします。

※2) 月の途中の入・退室は日割り(1日2,500円/学生2,000円(税込))計算も可能です。

※3) 時間外保育料金は、30分1,000円/学生800円(税込、乳児1人あたり)です。

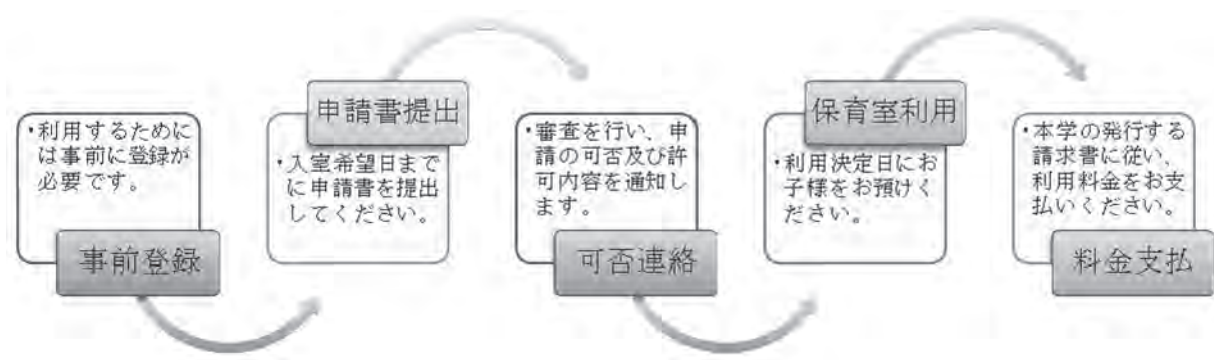
※4) 紙おむつ、ミルク、おやつ、食事等は利用料金に含まれませんので保護者が持参してください。ご希望される方は粉ミルク・おやつを2,000円/月(税込、乳児1人あたり)でご利用いただけます。

※5) 双子等の複数の乳児が利用する場合の利用料金は、乳児1人当たりについて、所定の利用料金に80/100を乗じた額とします。





## ◇利用方法



### 1. 事前登録

利用希望の方は、別紙 1「事前登録票」に必要事項を記入のうえ、事前登録を行ってください。事前登録票は、ホームページ (<https://www.cwr.kyoto-u.ac.jp>) からダウンロードし、メールで送付することもできます。

送付先:京都市左京区吉田橋町

京都大学男女共同参画推進センター保育室利用係

メールアドレス:w-shien@mail.adm.kyoto-u.ac.jp

(注)定員を超えることが予想される場合は、先に事前登録した方の利用が優先されます。

### 2. 保育室利用申請書提出

原則として、入室希望日の1ヶ月前までに、別紙2「利用申請書」・別紙4「健康・身体状況伺い書」を提出してください。送付先・方法は事前登録と同様です。ただし、特別な事由のある場合は、事前登録票と合わせて、入室希望日の1ヶ月以内の提出も受け付けます。なお、申請事項に変更が生じた場合は、別紙3「利用変更申請書」に変更内容を記載し提出してください。なお、保育室入室までに自治体が発行する利用不可通知の控えを提出する必要があります。

### 3. 申請結果通知書の交付

受入の可否については書類審査を行って決定し、男女共同参画推進センターから申請者に「申請結果通知書」によりお知らせします。

### 4. 保育室の利用

保育室の利用については、「保育室利用の手引き」及び「京都大学男女共同参画推進センター保育園入園待機乳児保育室利用規程」を遵守し、利用してください。

### 5. 料金の支払い

利用者は、所定の方法で定められた期日までに、本学が発行する請求書によりお支払いください。

\*利用登録・申請において得た個人に関わる各種情報は、保育室の各業務及びそれらの業務に関する連絡・問い合わせのために利用します。

別紙一覧(省略)

別紙1:「保育園入園待機乳児保育室」利用の事前登録票

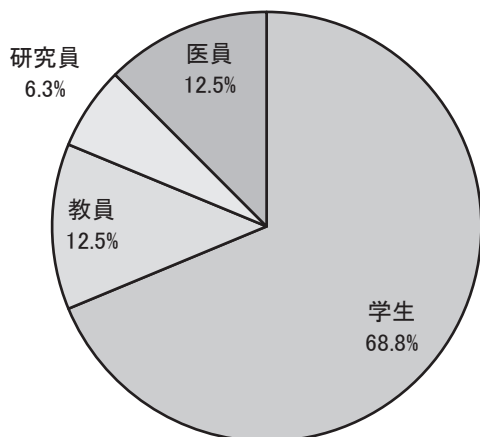
別紙2:「保育園入園待機乳児保育室」利用申請書

別紙3:「保育園入園待機乳児保育室」利用変更申請書

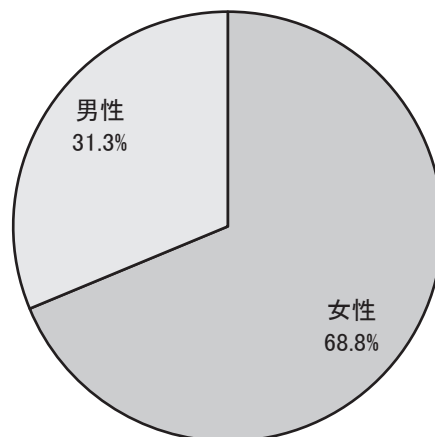
別紙4:「保育園入園待機乳児保育室」健康・身体状況伺

## 2021 年度待機乳児保育室利用実績

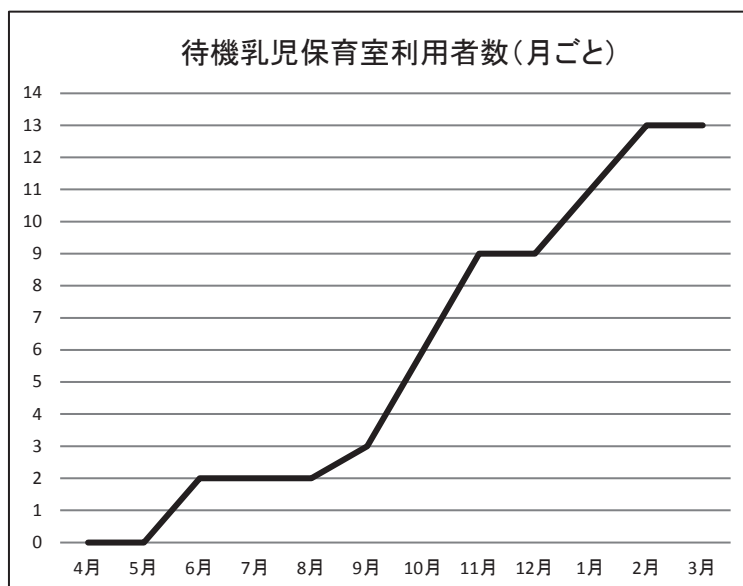
身分別集計



性別集計



待機乳児保育室利用者数(月ごと)



今年もやります!!!  
**保活情報交換会** 締め切り9月26日

奮ってご参加ください。

対象：京都大学の教職員および学生  
2021年9月30日（木）12時15分～13時30分  
途中入退室自由 お子さんの声や乱入歓迎!!

保活ってなに??という方から子どもを預けて働くママまで様々なママがいます。ざっくばらんな情報交換しませんか。当日は近隣保育園の園長も参加されます。

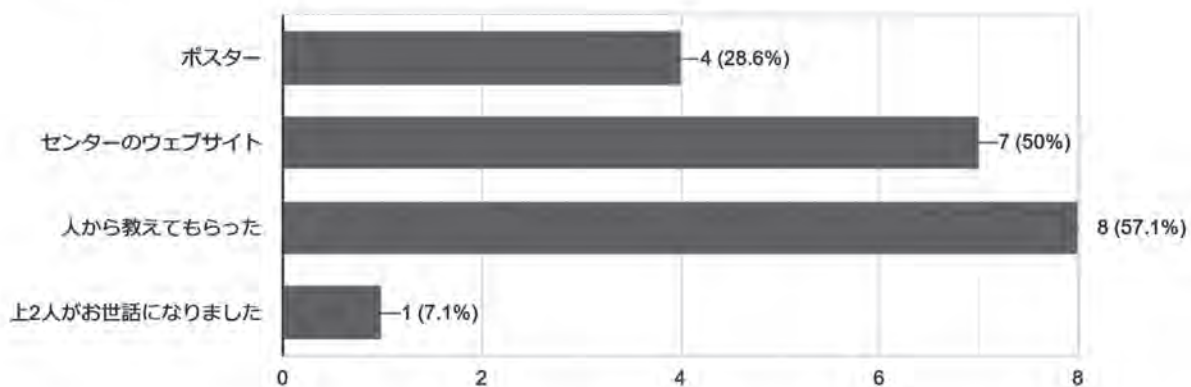
zoom QRコードからお申し込みください。  
メールでも申込みを受け付けております (kyoto-u.ac.jpが宛先)の連絡先までお問い合わせください。  
当日のzoom URLは申込者にご連絡いたします。  
問い合わせ先 男女共同参画推進センター  
☒w-shien@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp ☎075-7534437



## 2020年度待機乳児保育室 利用者アンケート(利用者16名中15名回答)

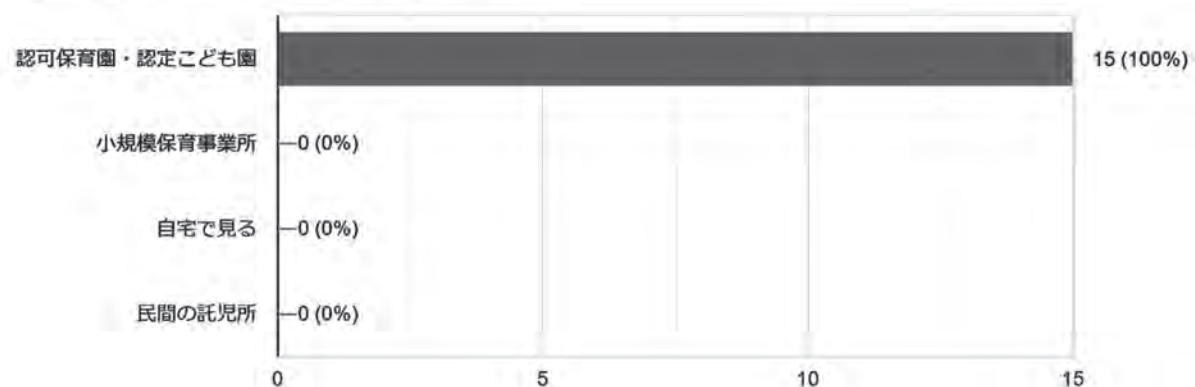
### この保育室をどうやって知りましたか

14件の回答



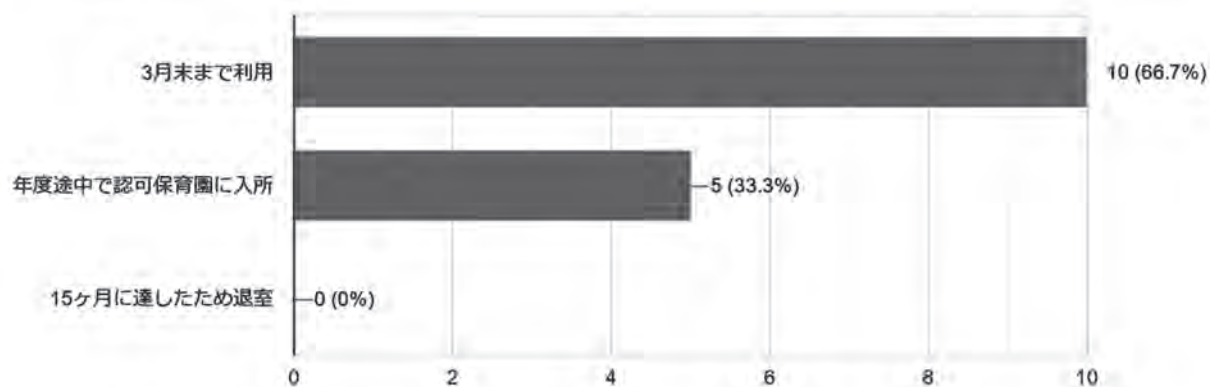
### 2021年4月からのお子さまの保育状況

15件の回答



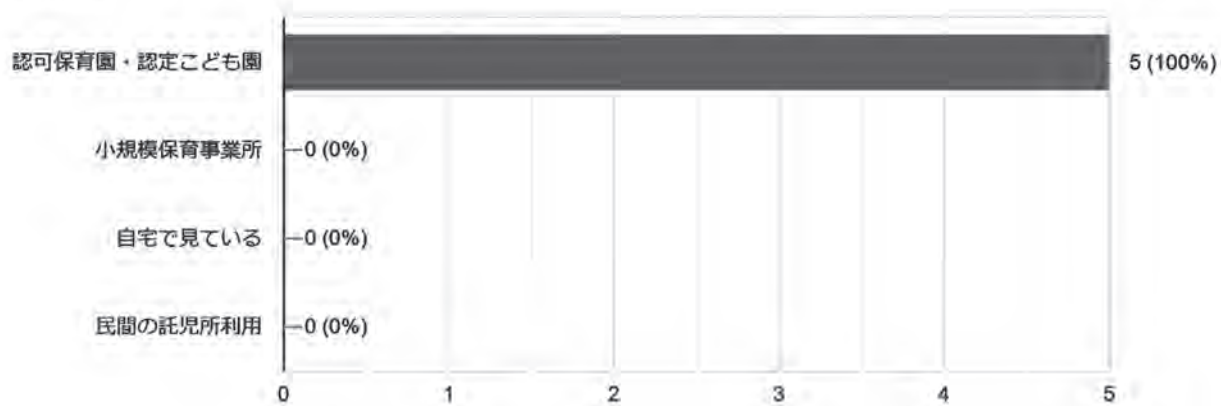
### 待機乳児保育室の利用状況

15件の回答



### 年度途中で退室された方の3月までの保育状況

5件の回答



## 2020 年度待機乳児保育室 利用者アンケート(コメント)

利用者 16 名中 15 名回答

### 【保育園に入るために工夫したこと、苦勞したこと】

・早くから保育園の事務室にお願いしに行ったりしましたが、京都市がポイント制で調整するため勘案できないと言われ結局待機児童となりゆりかごに入所しました。2月に保育園で転園者が出たため3月より保育園に入園できました。

・保育園入所応募締め切りが近かったので、子供が産まれる前から保育園を見学したり資料を揃えたりしていました。

・ゆりかごさんに入っている状況を行政に届けるために、その際一緒に預けられていた保護者の方や事務の方から、情報収集させていただいた。(点数に繋がるかもしれないと聞いたので)

・年度途中はタイミングが全てなので、ポイントをできるだけ上げて待つしかないと感じました。

・今回は運よく二次調整で空いていたところに申し込みできましたので、あまり参考にならないと思います・・・。電話連絡と見学はいきました。

・認可保育園の4月入園希望の申込締切が出産予定日の直前だったため、安定期の間に夫婦で近所の園を5箇所ほど見学に行き、希望を出しました。しかし出産後に、より夫婦の事情に合ったこども園を見つけたため、二次調整で改めて応募し、預け先が決まりました。早めにリサーチや見学をして、夫婦間の考え方のすりあわせや育児のイメージをしたのが重要だったと思います。

・妊娠中の段階から認可保育園の見学はたくさんしました。出産予定日が4月の入所可能かどうかギリギリだったため、4月入所の可能性と年度途中での入所の可能性の両方を模索する必要があったことが苦勞したことです。

・夫婦ともに学生、フルタイムのためか希望の園に入れました。見学は可能な限り行きました。

・大学院生はたくさんバイトを掛け持ちしていてもポイントが上がりませんでした。結局1歳クラスで第4希望にぎりぎりひっかかりました。やはり0歳の4月に入るのが一番入りやすいのかと思いました。

・上2人が通っている保育園の0歳児クラスには定員がなく中途入園できませんでしたが、第2希望の保育園が受け入れてくださることになりました。その際に入園前の面談で、4月には上2人が通う保育園へ転園希望を出すことを正直にお伝えしたところ、快く受け入れてくださいました。

・保育園見学の際に家庭状況(フルタイムか、兄弟がいるかなど)を伝え、入園できそうか伺

った上で、申し込みをした。

### 【感想など】

・授乳室もあり搾母乳も受け付けてくれて、ありがたかったです。先生方もみなさま優しく、癒されました。息子もとても馴染んでいたと思います。今でも、保育室で先生方が歌っていた歌(大きなたいこ)を歌うととても喜びます。短い間でしたが本当にお世話になりました、ありがとうございました。

・アットホームな保育室で、月齢の近い子たちと一緒に過ごせて良い刺激を受けていたようです！

・妻も私もすぐに働く必要があったため、大変助かりました。小さいうちから友達と触れ合う機会がたくさんあってとてもよかったと思っています。また、イベントごとに準備してくださってありがとうございました。こちらもとても癒されました。

・大学にこのような施設があったので助かりました。最初は保育園に入れなくて困ってお願いしましたが、預けてみると保育園よりもゆったりとした空気でじっくり見てもらえるので、月齢の低い間保育室に預けられて良かったです。

・約半年間、大変お世話になりました。先生方やお友達に囲まれて、楽しい保育室生活を送ってくれたと思います。迎えに行くと、いつも存分に遊んで充実した様子で笑顔で迎えてくれるので毎日の癒しでした。まだ寝がえりもできない状態でしたが、あれよあれよと寝返りからハイハイ、ちょっとしたつかまり立ちまでできるようになり、優しく見守ってくださった先生方に感謝しています。本当にありがとうございました。

・お世話になったのは1ヶ月だけでしたが、民間の託児サービスに比べ使いやすい金額で預かって頂き、また託児中は先生方が歌を歌ってくれるなど雰囲気も大変よく、満足しています。利用中、娘もご機嫌でした。ありがとうございました。

・本当にお世話になりました。5月の時点ではまだまだ小さくて、預ける前は不安もありましたが、本当によく見てくださり、寝返りが出来るようになったり、初めてのお友達ができたりと、すごく成長した2か月でした。認可保育園への転園が決まり、短期間の利用でしたが、すごく助かりました。ありがとうございました。

・早生まれなので、いきなり保育園だと1年近く大きなお友達と一緒に過ごすことになるのが不安でした。ゆりかごでは月齢の近いお友達ばかりで先生も多くいてくださり、細やかにみていただけて本当に良かったです。睡眠、食事、遊び方、すべて娘に寄り添っていただけていると感じることができました。大人が傍にいないと楽しく遊べないことも多かったようで、いつも対応していただけたことに本当に感謝しています。4月からはいよいよ大きなお友達と一緒に過ごすこととなりますが、保育の始まりがゆりかごだったのは娘にとっても仕事復帰する私にとっても幸運でした。お世話になり本当にありがとうございました。

・第一子で何も分からないまま早期に復帰したので初めは不安でしたが、寝返りや歩く練習も始めていただいたり成長について他のお子さんのお話を聞けたりすることで、心強かったです。研究に早く復帰できた事ももちろん有り難かったです。毎日楽しそうに通ってくれて、人にも慣れ、本当に通わせて頂いてよかったと思います。他の子たちのお父さんお母さんも同じような環境であることも、居心地良く通わせて頂けた一因だと思います。

・半年間、お世話になりました。保育室でいつも子供が楽しそうにしていたので私たち親も嬉しかったです。保育室での様子欄を読むのが毎日の楽しみでした。本当にありがとうございました。

・年度途中からの産休明けでの復帰に際して、預け先があるというのは大変助かりました。保育室の先生方は、どなたも愛情を持って子供に接しておられる様子が感じられ、安心して利用できました。今回は、自分で探して利用させて頂きましたが、例えば、事務に産休手続きをするとこちらの保育室の情報（シッターのサポート制度なども含めてセンターの活動全般も含めて）が提供される、というようなサポートがあっても良いかと思います。私の場合は同じ医局に女性が少なく、利用したことがある人から教えてもらう、ということがなかったもので、見つけられてラッキーだったと思っています。病児保育などは、病院のポスターでも見かけるのですが、こちらの保育室のことを知っている方はほとんどいなかったです。

・3回利用させて頂きましたが、休職前に「〇月に復帰します」と宣言したとおりに、確実に復帰できたことで職場の理解も得やすかったように感じています。このため、年度途中でも、ほぼ確実に子供の預け先が確保できるという保育室の存在は、非常に助かるものでした。大学病院での臨床勤務になると、手術やカンファレンスは8時~8時半、外来も9時には始まるので、9時より前の延長料が発生するのは、毎日になると辛かったです。難しいとは思いますが、今後基本開室時間の前倒しを希望いたします。

・ゆりかごの先生は皆さまとても優しく親切でありがたかったです。ありがとうございました。

・4ヶ月お世話になりました。

初めは認可に入れず入所という事で不安もありましたが、先生方がすごく温かく、たくさん可愛がって下さり、今はゆりかごに入園できてよかった！と家族一同感じております。毎日、安心してお願いすることができました。本人にとっても、歌や本などたくさん教えてもらい楽しい場所になったようで、毎日にこにこ登園できました。来月からも通いたいくらい親子共々大好きな場所で卒園が寂しい限りです。本当にありがとうございました。



## おむかえ保育

### ■利用案内

決まった曜日だけ子どもを保育園に迎えに行けない。急遽夕方に打合せが入り、保育園のお迎えに間に合わない…などで、困っていませんか。そんな研究者・学生のために、男女共同参画推進センターでは「おむかえ保育」を開設します。この保育は、研究等仕事の都合で子どもを保育機関に迎えに行けない保護者に代わり、保育者が子どもを迎えに行き、男女共同参画推進センターで一時保育を行うものです。運営については、保育業者に委託して実施します。ご利用を希望される方は、下記の内容を熟読のうえ、お申し込みください。

### ◇利用条件

#### 【利用資格】

京都大学に所属する学生、常勤の教職員、研究員(週 30 時間以上勤務日本学術振興会特別研究員を含む)、医員(週 31 時間以上勤務)

#### 【保育対象】

生後 2 カ月から小学 3 年生までの利用資格者の子ども

#### 【利用定員】

5 名程度(兄弟、年齢構成により異なる場合がある)

#### 【利用料金】

①保育料金 1,040 円(税抜)/30 分～1,300 円(税抜)/30 分(時間帯により異なる)

\* 子ども 1 人についての料金です。

\* 利用は 2 時間以上、30 分単位で受け付けます。

②その他利用手数料(状況により異なる)

※交通費・夕食等は別途実費が必要です。

#### 1. 事前登録(無料)

別紙1「おむかえ保育事前登録票」に必要事項を記入のうえ、利用希望日の2日前の15時までに事前登録を行ってください。登録事項に変更が生じた場合は、再提出してください。

#### 2. 利用方法

##### (1)利用申込(FAX)

利用希望日の2日前の15時までに、別紙2「おむかえ保育申込票」を、センターにメールかFAX(075-753-2436)にて申込みをしてください。

事前登録票を2日前までに提出済みで、特別な事由のある場合は、利用希望当日の15時まで申込を受付けます。ただし、利用希望当日の申込みの場合は、保育者手配の都合によりご希望に添えない場合がありますのであらかじめご了承ください。

##### (2)利用申込受付連絡

別紙2の申込票の受信を確認後、センターから、指定された連絡先に受付確認の連絡をします。

##### (3)利用可否連絡

(保育利用が可能な場合)保育者については決定次第、委託業者から連絡します。

保育者決定後に申し出があった場合は、事前に保育者の写真を渡すことが出来ます。

##### (4)保育者との打合せ

保育者手配が可能な場合、利用前日(当日申込の場合は当日)に保育者から保護者に電話がありますので、迎えに行く保育機関

の場所、方法、夕食の有無、実費支払いの金額等について、トラブルにならないよう詳細に打ち合わせを行ってください。

子どもの夕食は、保護者が用意するか、保育者に購入を希望する場合は、コンビニエンスストア等で購入できるもの(おにぎり、パン等簡易なものに限る)を指定してください。

乳児のミルク、離乳食(レトルト食品など)、哺乳瓶、おむつ、着替え等は保護者が用意してください。

#### (5)利用

利用にあたっては、「京都大学男女共同参画推進センターおむかえ保育利用規程」を遵守してください。

お子様が当日熱のある場合や、伝染病疾病の疑いのある場合は利用できません。この場合、キャンセル料が発生しますので、あらかじめご了承ください。

### 3. 料金の支払い

保護者は、所定の方法で定められた期日までに、委託業者が発行する請求書によりお支払いください。振込手数料は、保護者負担となります。

利用料金①、②に掲げる以外の料金(交通費、夕食費等)については、子どもをセンターに迎えに行った際、実費額を保育者へお支払いください。

#### ◇保育について

保育場所：京都市左京区吉田橋町 京都大学男女共同参画推進センター保育室

#### ◇補償制度について

万一の事故の場合には、施設に起因する損害は国立大学法人総合損害保険、業務に起因する損害は保育委託業者の賠償責任保険が適用されます。

○事前登録票、申込票は、ホームページ(<http://www.cwr.kyoto-u.ac.jp>)からダウンロードできます。

○事前登録及び利用申込において得た個人に関わる各種情報は、おむかえ保育の各業務及びそれらの業務に関する連絡・問い合わせのために利用します。

## ベビーシッター利用育児支援

### ベビーシッター利用育児支援について

京都大学男女共同参画推進本部では、本学における教職員の仕事と子育ての両立支援を目的として、「ベビーシッター派遣事業割引券」を発行して、ベビーシッターによる在宅保育サービス事業を行う者（以下「ベビーシッター事業者」という。）が提供するサービスを利用した場合に、その利用料金の一部を助成しています。対象事業は以下の2つです。

#### ① ベビーシッター派遣事業

- 利用対象者

本学と雇用関係にある常勤教職員及び非常勤教職員（非常勤職員については協会けんぽ被保険者に限る）であって、以下の事情等によりベビーシッター事業者による在宅保育サービスを使用しなければ就労が困難である者

- ・ 配偶者が就労又は病気療養中であり子の保育ができない場合
- ・ ひとり親家庭である場合

※単身赴任者等、子と別居しており、常態として保育を行っていない場合は本事業の支援対象外となります。但し、新型コロナウイルス特例措置の適用対象であり、かつ本事業を利用しなければ本学の業務に従事することが困難である場合に限り、単身赴任者等であっても支援の対象とします。

- 対象児童

0歳から小学校3年生までの児童

※身体障害者手帳の交付を受けている等、その他健全育成上の世話を必要とする場合に限り小学校6年生までの児童も対象となります。

- 割引金額及び利用上限枚数

割引金額：割引券1枚につき2,200円（ベビーシッター事業者の利用料金が1日（回）2,200円以上で1枚、4,400円以上で2枚まで利用可能）

利用上限枚数：対象児童1人につき1日2枚まで、また、1家庭につき1月24枚かつ1年280枚まで

#### 【新型コロナウイルス特例措置】

新型コロナウイルス感染症により保育園・小学校が臨時休園・休校となった場合は、割引券の使用上限枚数を以下のとおりとします。特例措置の適用にあたっては休園・休校期間等が確認できる書類等の提出が必要となります。

利用上限枚数：対象児童1人につき1日5枚まで、また、1家庭につき1月120枚まで（年間の上限はなし）

※登園・登校の自粛要請・協力要請は特例措置の適用対象外となります。

※1日（回）の割引券利用可能枚数は、「ベビーシッター事業者の利用料金÷2、200円」（端数切捨、最大5枚）までです。

※利用方法等は「新型コロナウイルス特例措置について」をご確認ください。

**※上記の利用上限枚数に達しない場合でも、予算の状況等により発券枚数を制限させていただきます場合がございます。予めご了承ください。**

#### ● 利用時の注意事項

※「ご利用に際しての注意事項」を必ずご確認ください。

1. 就労（京都大学の用務）のためにベビーシッターによる在宅保育サービスを利用する場合があります。
2. 本学の勤務日以外に使用することはできません。週休日・祝日等に利用される場合は、当該日が勤務日である（週休日の振替等の手続きが完了している）ことが確認できる出勤簿の写し等の提出が必要です。
3. 利用者の家庭内での保育あるいは保育所等への送迎を依頼する場合に限りません（ベビーシッター宅等利用者の家庭以外での保育には使用できません）。

#### ② ベビーシッター派遣事業（多胎児分）

#### ● 利用対象者

義務教育就学前の双生児等多胎児を持つ本学と雇用関係にある常勤教職員及び非常勤教職員（非常勤職員については協会けんぽ被保険者に限る）であって、以下

の事情等によりベビーシッター事業者による在宅保育サービスを使用しなければ就労が困難である者

- ・配偶者が就労又は病気療養中であり子の保育ができない場合
- ・ひとり親家庭である場合

※単身赴任者等、子と別居しており、常態として保育を行っていない場合は本事業の支援対象外となります。但し、新型コロナウイルス感染症により保育園が臨時休園となり、かつ本事業を利用しなければ本学の業務に従事することが困難である場合に限り、単身赴任者等であっても支援の対象とします。

- 対象児童

義務教育就学前の児童

- 割引金額及び利用上限枚数

割引金額：割引券1枚につき義務教育就学前の多胎児が2人の場合は9,000円、3人以上の場合は18,000円（ベビーシッター事業者の利用料金が1日（回）2,200円以上で利用可能）

利用上限枚数：1家庭につき1日1枚、1年2枚まで

※多胎児を含む義務教育就学前の児童が3人以上いる場合、対象児童が身体障害者手帳の交付を受けている場合、ひとり親家庭の場合等は1年4枚まで使用可能です。

**※上記の利用上限枚数に達しない場合でも、予算の状況等により発券枚数を制限させていただきます場合がございます。予めご了承ください。**

- 利用時の注意事項

※「ご利用に際しての注意事項」を必ずご確認ください。

1. 多胎児分に関しては、申込みを受けてから公益社団法人全国保育サービス協会へ割引券の申請を行います。**発券までにかなりのお時間を要しますので、予めご了承のうえ、前もってお申込みいただくようお願いいたします。**
2. 就労（京都大学の用務）のためにベビーシッターによる在宅保育サービスを利用する場合に限りです。
3. 本学の勤務日以外に使用することはできません。週休日・祝日等に利用される場合は、当該日が勤務日である（週休日の振替等の手続きが完了している）ことが確認できる出勤簿の写し等の提出が必要です。

4. 利用者の家庭内での保育あるいは保育所等への送迎を依頼する場合に限ります（ベビーシッター宅等利用者の家庭以外での保育には使用できません）。

## ご利用手続きについて

割引券の発行等については以下のとおりお手続き願います。なお、割引券のご利用方法については[こちら](#)から概要をご確認ください。

### 初回の割引券発行・利用手続き

**※昨年度利用された方も新たに手続きが必要です。**

**※割引券発行には手続きの都合上、お時間を頂きますので余裕をもってお申込みください。**

1. 下記リンク先に掲載されている「割引券取扱事業者」の中からベビーシッター事業者を選び、事前に請負契約を行ってください。  
[公益社団法人全国保育サービス協会 HP「割引券取扱事業者一覧」](#)
2. 下記必要書類を下の書類提出・問い合わせ先までご提出ください。3)・4)の書類を除き、Eメール添付による提出も受け付けます。

- 1) ベビーシッター利用育児支援事業初回利用申込書

**※割引券は使用することが決定している枚数のみお申込みください。**

※所属部局欄には部局名（例 医学部附属病院、工学研究科等）を記入してください。専攻名等が記載されている事例がありますのでご注意ください。

- 2) ベビーシッター事業者との利用契約書（請負契約書）の写し

**※利用契約書（請負契約書）の契約者は、1)の申込者と同じであることが必要です。**

※以下の事項が明記されているかご確認ください。

- ・ベビーシッター事業者の住所・名称・代表者氏名
- ・利用者の住所・氏名
- ・サービス内容・料金
- ・その他必要な事項

3) 配偶者の在職証明書

※配偶者が本学教職員である場合は提出不要です。配偶者の所属部局及び職名を1)の備考欄にご記入のうえ、配偶者が非常勤教職員である場合は勤務予定表の写しを添付してください。

4) 子の生年月日及び教職員との続柄が確認できる書類（住民票記載事項証明、母子手帳の写し等）

※子が申込者の扶養親族として認定されている場合は提出不要です。

5) その他必要書類

※配偶者が病気療養中である場合には診断書等、子が身体障害者手帳等の交付を受けている場合はその写しをご提出ください。

3. 必要書類の受理後、学内便にて割引券をお送りいたします。お手元に届きましたら、利用者記入欄に必要事項をご記入のうえ、利用時にベビーシッター事業者にお渡しください。また、その際ベビーシッター事業者から「報告用半券」が返却されますので、必ず受け取ってください。

4. **割引券を利用した翌月5日まで（厳守）**に「報告用半券」及び以下の場合には添付書類を学内便にて下の書類提出・問い合わせ先までご提出ください。

・新型コロナウイルス特例措置を適用する場合

休園・休校期間、保育園・小学校等名称及び休園・休校が新型コロナウイルス感染症によるものであることが確認できる書類（保育園・小学校が発出した通知文書の写し等）を添付願います。

また、半券裏面の事由欄に必要事項が記入されているかご確認願います。

※詳細は「新型コロナウイルス特例措置について」をご確認ください。

・週休日・祝日等に利用される場合

当該日が勤務日である（週休日の振替等の手続きが完了している）ことが確認できる出勤簿の写し等を添付願います。週休日の振替・代休日の指定等の手続きについては所属部局の人事担当掛に問い合わせください。

※期限までに報告用半券の提出がない場合は新規の発券を見合わせる場合があります。

## 2回目以降の割引券発行・利用手続き

1. Eメールに以下の事項を記載のうえ、下の書類提出・問い合わせ先宛に送信ください。

-----  
ベビーシッター割引券発行依頼（2回目以降）

所属部局名：

職 名：

氏 名：

利用予定月： 令和 年 月

希 望 枚 数： 枚

-----

2. 発行依頼の受理後、学内便にて割引券をお送りいたします。以降は初回の利用手続きと同様です。

#### ベビーシッター事業者の変更手続き

下記必要書類を下の書類提出・問い合わせ先までご提出ください。

- 1) ベビーシッター事業者変更届

※変更と同時に割引券発行依頼を行う場合は、変更届に希望枚数を記載してください。

- 2) ベビーシッター事業者との利用契約書（請負契約書）の写し

※利用契約書（請負契約書）の契約者は、1)の申込者と同じであることが必要です。

#### 書類提出・問い合わせ先

必要書類等については以下の担当掛宛ご提出ください。

担当：人事部職員育成課ダイバーシティ推進掛（男女共同参画推進本部）

E-mail：g-e アットマーク mail2.adm.kyoto-u.ac.jp（アットマークを@に置き換えてください）

※必要書類が部局人事掛宛に届く等、誤配が多発しております。学内便等をお送りになる前に必ず宛先が「人事部職員育成課ダイバーシティ推進掛」とされてい



るかご確認願います。また、勤務場所が吉田キャンパス以外の方は上記宛先に加えて、「吉田キャンパス」と記載願います。

### ご利用に際しての注意事項

1. 割引券発行には手続きの都合上、お時間を頂きますので余裕をもってお申込みください。特に多胎児分に関しては、発券までにかなりのお時間を要します。予めご了承のうえ、前もってお申込みいただくようお願いいたします。
  2. 割引券は使用することが決定している枚数のみお申込みください。また、使用しないこととなった場合は速やかにご返却願います。
  3. 就労（京都大学の用務）のためにベビーシッターによる在宅保育サービスを利用する場合に限りです。また、ベビーシッター事業者との契約者は、申込者（本学教職員）本人であることが必要です。
  4. 本学の勤務日以外に使用することはできません。週休日・祝日等に利用される場合は、当該日が勤務日である（週休日の振替等の手続きが完了している）ことが確認できる出勤簿の写し等の提出が必要です。
  5. 利用者の家庭内での保育あるいは保育所等への送迎を依頼する場合に限りです（ベビーシッター宅等利用者の家庭以外での保育には使用できません）。
  6. 「報告用半券」について、割引券を利用した翌月5日まで（厳守）に学内便にてご提出ください。期限までに報告用半券の提出がない場合は新規の発券を見合わせる場合があります。
  7. 利用上限枚数に達しない場合でも、予算の状況等により発券枚数を制限させていただきます場合がございます。予めご了承願います。
- 本事業の制度に関しては、下記公益社団法人全国保育サービス協会 [HP](#) をご覧ください。なお、一部本学の取扱いと異なる場合がございますのでご承知おきください。
- 公益社団法人全国保育サービス協会 [HP](#) 「ベビーシッター派遣事業のご案内」
- 本事業とは別に、文部科学省共済組合員を対象として以下の補助制度がございます。本事業の利用対象外の事例であってもこちらの補助制度はご利用いただける場合がございますので、以下のリンク先から詳細をご確認の上、利用される場合

はご自身で直接お申込みください。

JTB Benefit えらべる倶楽部「ベビーシッター利用補助券」

## 新型コロナウイルス特例措置について

新型コロナウイルス感染症により保育園・小学校が臨時休園・休校となった場合（登園・登校自粛要請は適用対象外）には割引券の利用上限枚数を引き上げる特例措置を行っております。詳細は下記をご確認ください。

なお、特例措置として割引券を使用する場合には、以下のとおりお手続き願います。

### 【特例措置の利用方法】

1. 割引券の裏面の事由欄（本券及び報告用半券の2箇所）に休園・休校となった日時、保育園・小学校等名称、特例措置が必要となる事由（例 ○月○日 京都市立○○小学校休校のため）を記入したうえでご利用ください。
2. 報告用半券提出時（割引券を利用した翌月5日まで（厳守））に休園・休校期間、保育園・小学校等名称及び休園・休校が新型コロナウイルス感染症によるものであることが確認できる書類（保育園・小学校が発出した通知文書の写し等）を添付願います。

※ **割引券の事由欄（本券及び報告用半券の2箇所）に記載がない場合又は確認書類の添付がない場合には特例措置の適用は受けられません。利用及び半券提出の際には必ず不備がないかご確認ください。**

### 【新型コロナウイルス特例措置】

新型コロナウイルス感染症により保育園・小学校が臨時休園・休校となった場合は、割引券の利用上限枚数を以下のとおりとします。特例措置の適用にあたっては休園・休校期間等が確認できる書類等の提出が必要となります。

利用上限枚数：対象児童1人につき1日5枚まで、また、1家庭につき1月120枚まで（年間の上限はなし）

※登園・登校の自粛要請・協力要請は特例措置の適用対象外となります。

※1日（回）の割引券利用可能枚数は、「ベビーシッター事業者の利用料金÷2, 200円」（端数切捨、最大5枚）までです。

### Ⅲ 「病児保育」事業



# 病児保育事業ワーキンググループ活動報告

京都大学男女共同参画推進センター・病児保育室「こもも」(以下、病児保育室)は、京都大学に在籍する全ての教職員・学生の子供(生後6ヶ月から小学校6年生※2019年4月から年齢上限引き上げ)を対象とし、急な疾病により保育園／幼稚園、小学校などに通うことの出来ない病中病後児の保育を行っています。事前登録制による運用で、登録者数はのべ1250名、うち2021年度の新規登録者21名(2021年12月末現在)です。2021年度は新型コロナウイルス感染症対策により、病後児保育室として定員2名で再開することとなりました。利用状況は感染症の流行に大きく左右されており、厳しい利用条件のために断わらざるを得ない日が続くこともしばしばみられますが、利用者からは概ね良いご意見をいただいています。

定期的な利用者へのアンケート調査や要望を受けて、利用基準についての見直しを随時行っており、利用者からはより利用しやすくなったという声をいただいています。感染対策上困難な点もありますが、京都大学医学部附属病院感染制御部の協力の元、京都大学教職員・学生が育児を行いつつ、仕事や学業を継続することの可能な環境を実現するため、今後も引き続きよりよい運営方法を検討する必要があると考えています。

病児保育事業WG主査 横山 淳史

## ■2021年度活動記録

4月5日(月)	病後児保育室再開
4月26日(月)	病児保育事業ワーキンググループ会議
5月31日(月)	病児保育事業ワーキンググループ会議
7月14日(水)	病児保育事業ワーキンググループ会議
8月25日(水)	病児保育事業ワーキンググループ会議(メール審議)
9月22日(水)	病児保育事業ワーキンググループ会議(メール審議)
10月27日(水)	病児保育事業ワーキンググループ会議
12月22日(水)	病児保育事業ワーキンググループ会議(メール審議)
1月26日(水)	病児保育事業ワーキンググループ会議
2月23日(水)	病児保育事業ワーキンググループ会議(メール審議)
3月9日(水)	病児保育事業ワーキンググループ会議
3月23日(水)	病児保育事業ワーキンググループ会議(メール審議)

新型コロナウイルス感染対策として、昨年度休室していた病児保育室を、4月5日より病後児保育室として再開いたしました。再開時は看護師が不在となったため、保育士2名での保育となり、開室時間も7:30—15:00までの以前よりは、短い時間での運営となりました。開室後、これまで不定期に行われていた会議を、第4水曜日の12時からWEBで定期的に行なうようにしました。(報告のみの場合はメール開催)

ワーキンググループ会議では、毎月の利用状況の報告を行い、開室後に生じた問題点について、ケース報告、協議などを行いました。具体的には、利用者のない日における、保育士の勤務として、病棟の保育室への応援に入ることができるように調整したり、コロナワクチン予防接種後の副反応に対応した臨時の保育室休室や、保育士の夏季休暇の調整についてなど検討しました。

10月下旬に公募していた看護師の採用がきまり、それにともない、開室時間の変更、保育士の勤務時間の変更等の検討が行われ、11月には臨時のメール審議を行い、開室時間8:00—17:00までの時間での運営、昼食配食の再開など、新しい勤務体制での運営に変更したことを審議し、12月1日より、保育士2名、看護師1名の3人体制での運営となりました。

新型コロナウイルスの感染状況の変化もありますが、ワーキンググループにて、利用基準の見直し、再確認を行いながらの運営をこれからも継続していく予定です。

## 病後児保育室

当病児保育室は2020年3月24日より休室とさせていただいておりましたが、2021年4月5日(月)より当面の間、【病後児保育室】として再開いたします。利用条件などは状況に応じてその都度変更されますので、ご利用の際はHPをご確認のうえお申し込みください。

### 病後児保育室の概要

設置場所：京都大学医学部附属病院 外来棟5階

※東玄関（東大路通沿い）から入ってすぐ右のあるエレベーターで5階です。

対象者：京都大学の教職員および学生の子どもで、生後6ヶ月から小学校6年生までの子ども（以下の疾患と確定されている場合のみ）

病後児（37.5℃以下に解熱後24時間以上経過）

インフルエンザ（解熱後24時間経過後）、とびひ、溶連菌感染症、ヘルパンギーナ、手足口病、中耳炎、発熱や上気道症状を伴わない胃腸炎

ヒトメタニューモウイルス、RSウイルス、マイコプラズマ感染症（迅速キットで確定診断を得られていれば可）

※診断のついていない発熱、感昌、上気道炎後の児はお断りしております。

対象年齢：生後6ヶ月から小学校6年生

定員：2名

開室日：月曜日から金曜日

（国民の祝日に関する法律に定める休日、大学の創立記念日、大学の定める夏季・冬季休業期間を除きます。また、京都大学男女共同参画推進センター長がやむを得ない事情により必要と認めたときは、臨時に休室することがあります。）

保育時間：8時から17時

料金：子ども1人につき、1時間あたり500円

※おやつは各自ご持参ください。（昼食の提供あり）

※保護者が学生の場合は、保育料金の半額を大学が負担します。

利用方法：事前登録制（無料）・予約制

利用希望者は前日(閉室日を除く)14時30分までに「利用登録票」に下記いずれかの証明書を添えて登録ください。

職員証／学生証／共済組合員証／労働条件通知書

※上記のいずれもお持ちでない方は、事前に病児保育室にご相談ください。

利用予約は、前日(閉室日を除く)8時30分から14時30分までに電話でご連絡ください。

**※当日の予約は受け付けません。**

利用の際には、事前にかかりつけ医等で「診察医連絡票」をもらう必要があります。

急病診療所や夜間救急では「診察医連絡票」の記載は行っておりませんのでご注意ください。

**※京大病院の小児科外来での事前診察は受け付けません。**

本室は、国立大学法人総合損害保険および国立大学附属病院損害賠償責任保険が適用されます。

# 京大病後児保育室 こもも

開室日時	2021年4月5日(月)月曜日～金曜日 午前7時30分～
場所	医学部附属病院 外来棟5階
料金	料金1時間500円 ※昼食・おやつは各自持参ください。 <small>※保護者が学生の場合は、利用料金の半額を大学が負担します。</small>

事前診察は京大病院以外の病院で受けてください。  
救急外来や京大病院小児科では事前診察は受け付けません。

利用方法など、詳細は男女共同参画センターのホームページで!  
<http://www.cwr.kyoto-u.jp/support/care/sick>

## 利用 資格

京都大学の教職員および学生の子どもで、  
生後6ヶ月から小学校6年生までの子ども  
(以下の疾患と確定されている場合のみ)

- 病後児(37.5℃以下に解熱後24時間以上経過)
- インフルエンザ(解熱後24時間経過後) ●とびひ
- 溶連菌感染症 ●ヘルパンギーナ ●手足口病
- 中耳炎 ●発熱や上気道症状を伴わない胃腸炎
- ヒトメタニューモウイルス ●RS ウイルス
- マイコプラズマ感染症(迅速キットで確定診断を得られていれば可)







## ～病後児保育室として 再開しました！～

暑い日が続きます。みなさんいかがお過ごしでしょうか。

「病児保育室こもも」は、2020年3月に閉鎖になり2021年4月に「病後児保育室こもも」として再開いたしました。

コロナ禍の中、入室条件が厳しく、限られたスタッフで開室時間も短く、ご迷惑をおかけしています。おもちゃをきれいにしたり新しく作ったり、子どもたちが遊ぶ環境を整えてご利用を待っています。

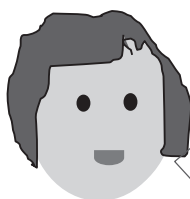
スタッフは現在保育士2名です。担当医も変わりましたのでお知らせします。



担当医師 小児科 横山淳史 Dr  
保護者の方が安心して病気のお子さまを預けることができるように、看護・保育を行いながら、楽しく安全に過ごせる環境づくりに努めます。皆様の子育てを応援させていただきます。よろしくお願いいたします。



保育士 鈴尾 成子  
いろいろな遊びを用意して待っています。  
皆に会えるのを楽しみに待っています！！



保育士 山田 清子  
学校や保育園のように楽しく、おうちのようにほっとりと過ごせるように心がけています。いつでも遊びに来てね！

## 感染対策しています!!

ナノフィール  
加湿しながら消臭・除菌・  
空気清浄します



サーモマネージャー  
入室時に体温を測ります





## おもちゃ紹介32 ～あたらしいおもちゃ～



4月に「病後児保育室」として開室しましたが、コロナ禍のもと入室基準が厳しいため利用が少ないが続いています。問い合わせもいただくのですが、利用基準に当てはまらずお断りすることがあり、心苦しく思っております。

「発熱」「夏風邪」「感冒」などの診断名は「コロナ感染」と区別をつけることが難しいため、利用できないことになっており「診察医連絡票」が以前のものとは異なっています。HP をご覧いただきわからないことがあればいつでもお問い合わせください。

厳しい利用基準の中でもぽつぽつと利用者があります。新しいおもちゃも増えました。みんなに人気の高い、ポーネルンド「クアドリラ」。今まであるものに加えて、部品が増えました。



クリアドラ（ビー玉ころがし）に新しい部品が入りました。音を鳴らしながら坂を落ちるパーツに落ちてきてくるくる回るパーツ。ビー玉がおちるにつれ音が鳴り、楽しく遊べます。



デルタ株はこどもにも感染しやすいようです。なかなか終わりの見えない「コロナ禍」ですが、基本的な感染対策をしっかりとって元気に過ごしましょう。





## おもちゃ紹介33 ～ままごとキッチン～

牛乳パックと段ボール箱を使って、ままごとキッチンを作りました。  
先日保育室に来た3歳のお友だちが、早速遊んでいましたよ。

まずは、野菜や果物を包丁で切ってお鍋に入れます。  
IHのレンジにスイッチを入れると  
ぐつぐつ煮える音がリアルにします。  
ピザ生地、サラミや卵をトッピングして  
オーブンで焼くことにも挑戦。  
アイスクリーム屋さんも  
しています。  
大忙しの様子でした。



キッチンの右側は流し台。  
出来上がったお料理を置く棚もあります。



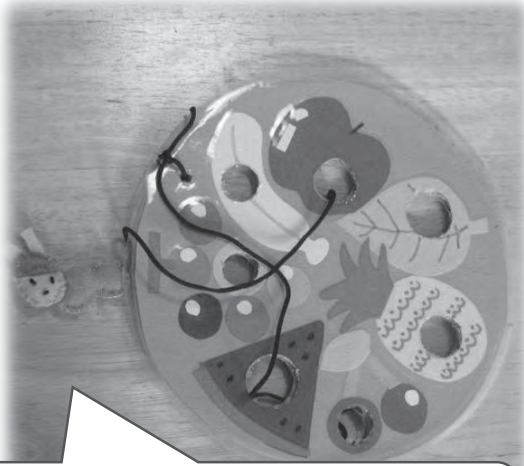
ピザの配達も出来ま〜す♡



## おもちゃ紹介 34 ～手作りおもちゃ～



保育の現場には保育士が自ら作った「手作りおもちゃ」があふれています。  
病児保育室にも子どもたちの興味に沿った手作りのおもちゃがたくさんあります。  
そのうちのいくつかをご紹介します★



《ひもとおし》はらぺこあおむしが穴をくぐりぬけます。

### 《パタパタ絵本》

大好きなキャラクターがあらわれます。

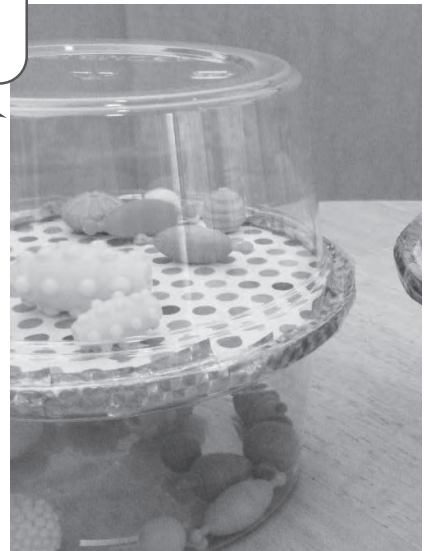


### 《玉落とし》

丸いの細長いの。うまく穴から下に落とせるかな。

### 《棒落とし》

いろいろな色の棒を上からの穴から落として入れます。



指先でつまんだり、ちいさい穴から入れたり落としたり。遊びの中で目と手の協応や手指の巧緻性の発達に役立ちます。





## ～病後児保育室に看護師が入りました～



暑かったり寒かったりしながらも、徐々に秋が深まっていく気配がします。  
街路樹もだんだんと色づいてきました。

4月に「病後児保育室」として再開後、ぽつぽつと利用者も増えていましたが  
夏以降の感染拡大で利用が少なくなっていました。10月頃からようやくコロナ感染者  
数が減ってきましたね。なんとかこのまま終息してほしいところです。

さて、病後児保育室に看護師スタッフが来ました。よろしくお願いします。

また、『小児科医・看護師によるこどもの健康に関する相談室』も再開しますので、よ  
ろしかったらご利用ください



看護師の川端隆子といいます。

現在、4人の子育ての真っ最中です。

こども達が楽しく、ゆったりと過ごすことができ、保  
護者の方にも安心して仕事をしていただけるよう努め  
ていきたいと思います。

よろしくお願いします。

### ★病児保育相談室★

小児科医と看護師がこどもの健康に関する相談をお受けします。

毎月第1金曜日 昼休み（12時から13時）

場所：京都大学附属病院 小児科外来診療室

対象：病児保育室の利用登録をされている方

電話（075-751-3090）で前日12時までに事前予約をお願いします。



## ～病後児保育室「こもも」の 利用時間が変更になりました～



★病後児保育室の利用時間が 12 月 1 日より変更になりました。

利用時間 8:00～17:00

予約は 前日 8:30～16:30 までをお願いします。

また、昼食の提供も再開します。予約時にお聞きしますので  
よろしくをお願いします。





## ～感冒性腸炎～



寒くなり、胃腸炎の流行する季節になりました。

「病後児保育室 こもも」では「感冒性腸炎」の診断であればお預かりできることになっています。

もちろん、発熱がなく「嘔吐・下痢症状」もない、もしくはおさまっている状態であることが前提です。「嘔吐・下痢症状があったがおさまっている。けれどまだあまり食欲がなく保育園に行くのは心配…」という時などのご利用ください。

コロナ禍のため「手洗い、うがい、アルコール消毒」はとても身近なものになりましたが、感染性胃腸炎の「ノロウィルス・ロタウィルス」にはアルコール消毒は効果がありません。家に帰ってきた時、食事の前などにはせっけんでしっかり手洗いをしましょう。



もしご利用の際に「嘔吐」などがあった場合、感染予防のために汚れた衣服などはビニール袋に入れてそのままお返しすることになります。

感染予防のためですのでどうぞご理解ください。





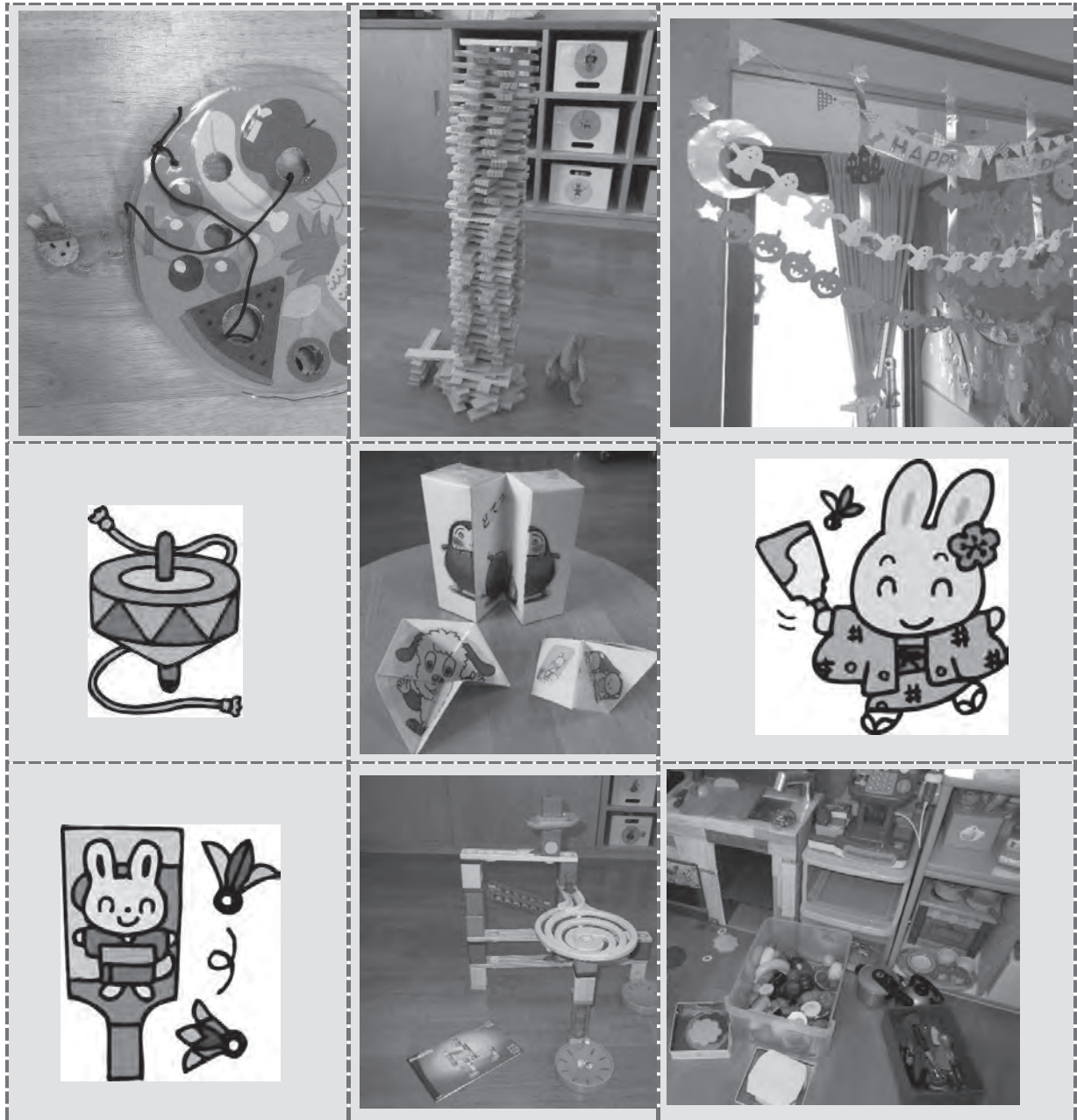
2022年  
新年あけましておめでとうございます



新しい年がはじまりました。今年はどうな一年になるでしょうか。

「こもも」が、また子どもたちの声であふれるような年になることを願っています。

よい一年でありますように。





## IV 「就労支援」事業



# 就労支援事業ワーキンググループ活動報告

本 WG の主要活動である「研究支援・実験補助者雇用制度」については、育児や介護期にある研究者の研究継続支援という目的に即して、アンケートなどに示される利用者の声も考慮しながら、毎年、少しずつ改良を加えてきている。本年度中の実績は、第1期で応募者 24 名、利用者 15 名、第2期で応募者 25 名、利用者 18 名と、時期により変動はあるものの、ここ数年応募者は増加傾向にある。予算の制約のなかで、応募者が困難な状況にあることがわかりながら十分な支援ができないケースも増えてきている。また、ここ数回の傾向として、特任教員・研究員など比較的短い任期で京都大学に所属している研究者、特に外国人研究者からの応募が増加している。不安定な雇用、慣れない土地、家族からの援助も望めない、という状況のなかで育児や介護と研究の両立に苦慮されている男女研究者も多い。必要な支援が可能になるよう制度を充実させることが喫緊の課題である。

就労支援事業WG主査 木下 彩栄

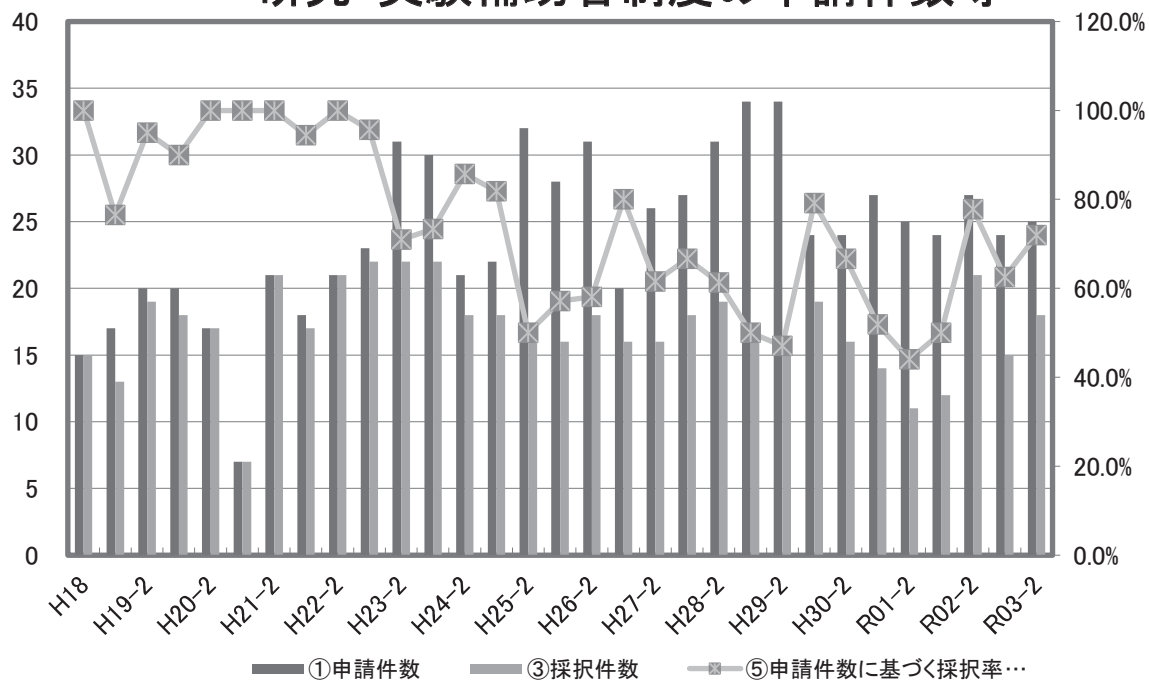
## ■2021 年活動記録

- |              |                                |
|--------------|--------------------------------|
| 5 月 17 日(月)  | 第 60 回就労支援事業ワーキンググループ会議        |
| 5 月 27 日(木)  | 令和 3 年度 2 期 就労支援事業による支援希望者募集開始 |
| 7 月 19 日(月)  | 第 61 回就労支援事業ワーキンググループ会議        |
| 11 月 12 日(金) | 第 62 回就労支援事業ワーキンググループ会議        |
| 11 月 17 日(水) | 令和 4 年度 1 期 就労支援事業による支援希望者募集開始 |
| 2 月 7 日(月)   | 第 63 回就労支援事業ワーキンググループ会議        |

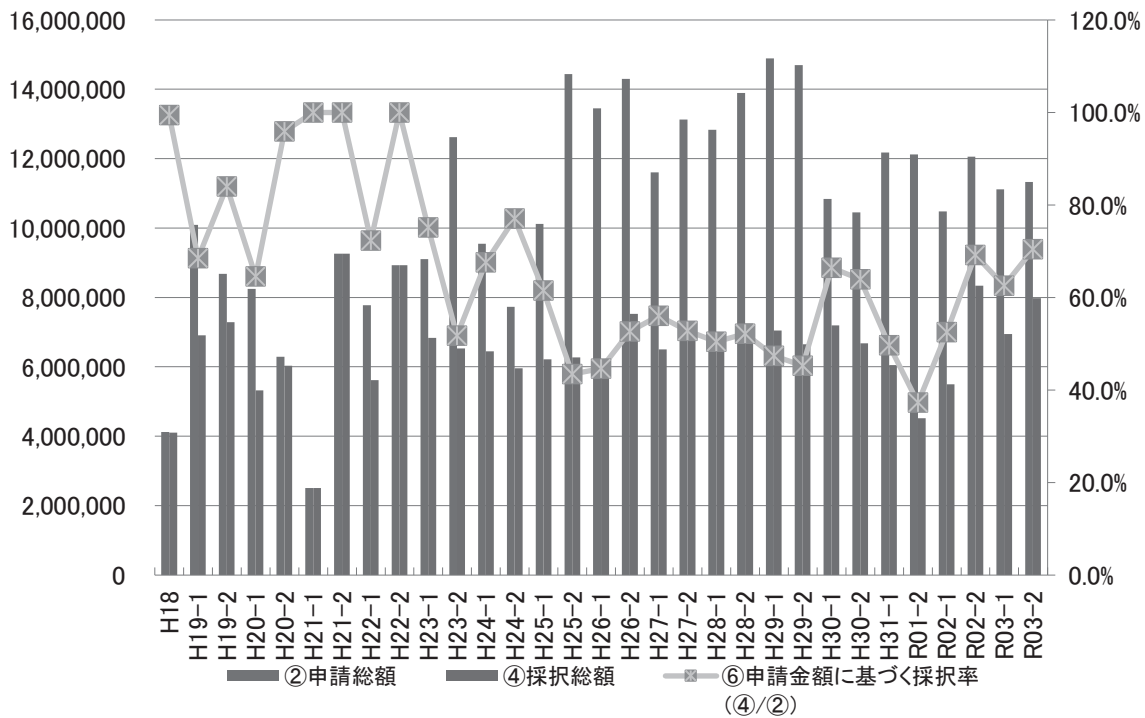
## 研究・実験補助者雇用制度 申請・採択件数及び総額の推移

期 間	①申請件数	②申請総額	③採択件数	④採択総額	⑤申請件数 に基づく採択 率	⑥申請金額 に基づく採択 率
H18	15	4,124,400	15	4,100,400	100.0%	99.4%
H19-1	17	10,091,600	13	6,911,800	76.5%	68.5%
H19-2	20	8,683,500	19	7,291,000	95.0%	84.0%
H20-1	20	8,246,400	18	5,321,200	90.0%	64.5%
H20-2	17	6,294,300	17	6,035,100	100.0%	95.9%
H21-1	7	2,505,000	7	2,505,000	100.0%	100.0%
H21-2	21	9,261,000	21	9,261,000	100.0%	100.0%
H22-1	18	7,772,500	17	5,617,500	94.4%	72.3%
H22-2	21	8,932,500	21	8,932,500	100.0%	100.0%
H23-1	23	9,100,000	22	6,837,500	95.7%	75.1%
H23-2	31	12,617,500	22	6,530,000	71.0%	51.8%
H24-1	30	9,545,000	22	6,450,000	73.3%	67.6%
H24-2	21	7,729,000	18	5,957,500	85.7%	77.1%
H25-1	22	10,115,000	18	6,219,400	81.8%	61.5%
H25-2	32	14,440,000	16	6,275,000	50.0%	43.5%
H26-1	28	13,452,500	16	6,002,500	57.1%	44.6%
H26-2	31	14,300,000	18	7,528,750	58.1%	52.6%
H27-1	20	11,600,018	16	6,503,000	80.0%	56.1%
H27-2	26	13,128,998	16	6,931,000	61.5%	52.8%
H28-1	27	12,830,184	18	6,466,000	66.7%	50.4%
H28-2	31	13,896,100	19	7,253,000	61.3%	52.2%
H29-1	34	14,890,586	17	7,051,000	50.0%	47.4%
H29-2	34	14,690,886	16	6,649,000	47.1%	45.3%
H30-1	24	10,841,229	19	7,199,000	79.2%	66.4%
H30-2	24	10,454,112	16	6,682,000	66.7%	63.9%
H31-1	27	12,176,392	14	6,048,000	51.9%	49.7%
R01-2	25	12,119,404	11	4,518,000	44.0%	37.3%
R02-1	24	10,475,365	12	5,497,000	50.0%	52.5%
R02-2	27	12,060,019	21	8,340,000	77.8%	69.2%
R03-1	24	11,117,378	15	6,949,000	62.5%	62.5%
R03-2	25	11,329,078	18	7,982,000	72.0%	70.5%

### 研究・実験補助者制度の申請件数等



### 研究・実験補助者制度の申請金額等



## ■研究・実験補助者雇用制度 アンケート報告①

対象者:令和2年度第2期 研究・実験補助者雇用制度利用者 21名

形式:実績報告と同時にメールにて依頼。

回答率: 100%(21名)

### 1.「研究・実験補助者雇用制度」を利用することで、どのようなことが可能になったか

- ・採択により、実験だけでなく、データの詳細な評価、執筆や新しい研究テーマの構想、大学院生の指導など、実験以外の時間を取れるようになったことで、結果として進度が大きく上がったと感じています。
- ・産休・育休から復帰すると同時に本制度を利用できたので、慣らし保育、新型コロナウイルスの影響などで研究時間確保が困難となる中、研究を円滑に進めることができました。  
また、サポートを受けて補助者を雇用することにより、自分のサポート人員がいるという精神的な安心感を得ることができました。
- ・主な業務として複数の遺伝子クローニング、発現プラスミドの作製、遺伝子発現レポーターを持つ新規のヒト iPS 細胞株樹立を並列で行うなどの作業を補助してもらったが、ここでは大量のサンプルの並列処理、かつ単純な分子生物学的手順の連続で長時間拘束を伴うものであり、このような作業を分担できたことで申請者自身の専門的技術や知識を必要とする業務に集中して取り組むことができた。
- ・今回、補助者として採用いただいたのは博士課程の学生の方でした。採用前は、学生さん自身のプロジェクトで忙しいのに、無償でお願いすることを躊躇していました。OAとして雇用いただき、実験補助の仕事に頼みやすくなりましたし(もちろん、学生さんの仕事の邪魔をしない範囲で)、文献調査や他の実験を進める時間を作ることができました。
- ・実験補助者に、培養液作成等の実験準備や、qRT-PCR 等のルーティンの測定作業を依頼できたために、申請者は限られた時間のなかで実験そのものに重点的に取り組むことができ、非常に有意義であった。
- ・研究・実験補助者雇用制度のおかげで研究補助者の確保が可能となり、新規導入した画像装置の稼働とそれを用いた研究を開始することができた。国内でも使用経験者の少ない画像装置ではあったが、本装置の使用経験のある研究補助者を確保することで、安全かつスムーズな稼働が可能となり、さらには条件最適化も行うことができた。
- ・研究・実験補助者と協力することで、研究を効率よく継続することができた。子供の急な発熱等で早退しなければならない時でも、後を任せて早退できた。
- ・育児を行うため通常よりも早い時間に一旦帰宅しても、これまでほぼ同じペースで研究を推進することが出来た。そのため、従来通りの学会発表や論文執筆を進めることが出来、研究者としてのキャリア維持に繋がった。また半年の経験によって、補助者自身のスキルアップにもつながり、今後のキャリアパスの一助になった。
- ・前期に比べればよかったものの、コロナ下で勤務が難しかったです。そのようななかで、サポートいただき、研究を進めることができ大変助かりました。
- ・子供の発熱等で保育園からの急な呼び出しに対応するため、夫婦共働きですと、この日は絶対に休めないから予定を入れないというような日があります。自分が実験を始めると、何かあった時に対応できませんので、必要な実験をすることができませんでしたが、代わりに実験をしてもらうことで、予備的な結果を得て、次の研究費の申請の準備ができました。
- ・本制度を利用することで、実験に関する多くの業務を学生にやってもらうことで、子供が熱を出した時の対応や保育園の見学、説明会など特別な用事がある時だけでなく、普段の生活における子育ての時間を確保でき、子供の成長を近くで感じるすることができた。
- ・家族の介護をしながら大学と外勤先の診療業務、責任者となっているコホートの運営や管理、動物モデルを用いた研究を行っておりますが、時間に限りがあり、思うように進めることができない状況でした。雇用者にはコホートのデータ収集以外にサンプルの調整と整理、コホートのデータベースの整理、参考文献の整理など時間がかかる作業を依頼することができましたので、同時に進めることが厳しかった実験動物研究を進められただけでなく次の臨床研究プロジェクトの構想を練り、申請に時間を使うことができました。
- ・研究に集中できる時間が増え、成果をまとめることができただけでなく、次のプロジェクトの準備を進めることができました。コロナ感染対策の為にデータ収集は、複数人同時に行わずに個別に実施する必要があるため、患者毎に消毒を行わなければならないため、今まで以上に時間がかかることになりました。また、講義がすべてオンラインになったので資料の作成や外部調整等に時間を要しましたが、雇用者のサポートで当初予定していた以上に研究を進めることができ、データベースの整理や論文整理などにも時間を使うことができました。

- ・研究補助者を雇用できたことで、私の研究テーマである医療社会学の研究において必要となる政府統計や厚生労働省ホームページからのデータ収集という煩雑な作業を依頼し、作業を順調に進めることができた。この研究補助により複数のサブテーマで研究を並行して進め、成果として支援期間中に2論文の寄稿へとつながった。
- ・本年度の前期に引き続き本制度を利用することで、論文や本の執筆、データ収集、複数の研究課題の平行実施、学会活動などが出来た。また、家族との時間と研究・教育の時間との両立が本年度前期同様にできた。
- ・コロナ禍にあって在宅勤務が増えたことより、まとまった時間が必要な実験ができない日があり、学会などで発表できる機会が少なくなるなどの影響があった。特に、長男が通う小学校でコロナウイルス感染者が発生したことに伴い、在宅勤務を余儀なくされた中で、本制度で雇用された人員が担当したデスクワーク(バイオインフォマティクス解析の補助)のおかげで、2報の論文が掲載に至るなど、研究の推進に大きく貢献した。
- ・育児を一定割合引き受けながら自身の研究活動を進めることができた。
- ・今年度は COVID-19 流行の影響を受け、例年にも増して、講義・演習・実習の準備・調整に追われました。その中でも、本制度を利用して頂くことで、限られた研究時間内に補助者と連携し効率的にデータ分析などの作業を進めることが可能となりました。
- ・The Kyoto University childcare support program provided stability and productivity with my laboratory experiments. It helped me to plan ahead experiments and secure results.
- ・本制度を利用して専門的知識を有する技術補佐員を雇用したことで、実験データの収集・分析を高速化するインターフェースを作成することができ、申請者の研究のスピードアップと人的エラーの減少を図ることができました。
- ・研究室滞在時間が短いために時間が足りず諦めていたような実験を、中断することなく行えるようになりました。また論文執筆等に集中して取り組むこともでき、本制度で単に使える時間が増えただけでなく、実験・研究の効率が向上しました。

## 2. 「研究・実験補助者雇用制度」を利用した感想

- ・我々のような生物材料を扱う研究では、事前にサンプリングスケジュールを決定し、それに従って実験を進めますが、サンプリング条件によっては夜間まで延びることもあります。研究・実験補助者雇用制度の利用により、対応可能な人材がいることは非常に心強いものがありました。
- ・本当に助かりました。任務があつて雇われているのに産休・育休をとってしまった、復帰して教育業務と育児に加え研究もできるだろうかと不安な気持ちだった私にとって、「出産・育児というのは大変なことなのだからサポートするよ、頑張ったね、頑張ったね」と大学、社会に背中を押してもらっているような気がしました。
- ・今回私は学生を雇用しましたが、ちょうど新型コロナウイルスの影響で学生もアルバイトができず困窮しており、ウイン・ウインの関係で研究業務を進めることができたと思います。学生さんも本業務を通じて、自分の研究ではあまり扱ったことのない解析方法など勉強になったと言っていました。
- ・テクニシャン雇用の足がかりとできたこと、またその実験補助を受けて業務を効率的に進められたのは非常にありがたかった。このような補助金が学内・外で更に充実し、枠が増えれば有難いと思う。
- ・子育てにより一日の仕事に費やせる時間がどうしても限られてしまい、仕事の効率がこれまでよりも低下していることが悩みでした。この制度を利用して、それが少し改善されたように思いました。
- ・3,2,0 歳児がいますが、産後4ヶ月で大学病院の臨床スタッフとして職場復帰しました。育児、診療、教育の合間を縫っての研究になりましたが、実験補助者にサポートいただくことで何とか継続することができました。ありがとうございました。
- ・これまで研究補助者をつけた経験がなかったが、この制度を知りはじめて研究補助者を確保に踏み切った。研究補助者なしには進めることが難しい研究であったため、これをサポートしていただける本制度は非常にありがたかった。
- ・実験補助者に仕事を手伝っていただくことで、安心して、子育てと仕事の両立を行うことができた。まだ研究成果が出ていないため成果をもとに資金を調達することができず、個人の資金で雇用することは困難であり、非常に有り難い制度である。
- ・補助者を雇ったのは初めての経験であったが、このような方が一人いると、自分自身の研究のみならず、研究室全体のプロジェクト推進に非常に有益であることが分かった。特に人材不足の研究室にとってはありがたい制度であった。
- ・特に前期に使わなかった予算を後期に使用させていただき大変助かります。こうした柔軟性がとても研究者としてはありがたいです。
- ・5歳と1歳の子供を育てながら夫婦共働きですので、保育園、妻、私の予定が入り乱れる中、研究業務に従事することになりますが、本制度のおかげで、研究でも最も大事な創造的な部分に時間をかけることができました。
- ・それほど複雑な申請を必要とせずにご利用できました。制度のおかげで、研究活動に使用していた時間を子育てにあてることができ、とても感謝しています。

- ・雇用者が時間と労力を要する仕事を手伝ってくれたので、研究に没頭する時間が確保でき、成果も出始めました。実施している研究はさらに深く掘り下げて検討することができ、新しい臨床研究のプロジェクトの構想や準備を開始することができました。
- ・この制度を複数回利用させていただき、研究の成果も徐々に始まったように思います。研究が順調に進むと他の仕事や育児も気持ちにゆとりをもって向き合えるようになりました。
- ・第一子が順調に育ち、また第二子を迎える準備のため育児が大変多忙となる時期でした。この制度により、研究者としての責務と家庭での父親役割を果たす時間を両立させることができ、大変有意義な制度であると感じました。
- ・研究の一部を補助していただくことで、他の研究や教育へエフォートを割くことができたと感じています。また、学会関係の委員会活動の依頼などに対して参加したいという意欲もわきましたので、波及効果があったと感じています。
- ・育児の関係で勤務時間に制約があったが、この間の業務を本制度で雇用した人材が補佐していただいたお陰で、論文投稿およびリプライズに対応することができたように、安心して業務を行うことができた。また、本制度で雇用された学生にとって、研究の現場を実体験できたことは今後のキャリアにより影響を与えたと考えられる。
- ・制度によって研究をある程度補助されたため、時間や協力の配分等を試行錯誤しながら育児することができ、心理的にも非常に助かった。
- ・本制度で補助者を雇用し研究を補助頂けることで、大学教員として教育と研究の両方の責務を果たすことが可能となっていると感じます。子育て中の教員にとって本当にありがたい制度であると感謝しております。
- ・Kyoto University childcare support program is very beneficial for parents with small children. The total amount of hours is sufficient and makes a big difference.
- ・子育てや介護により仕事と家庭のバランスが取れない研究者にとって、本制度を利用することは、研究を進めるうえで絶好の機会だと思います。特に研究責任者(Principal Investigator, PI)の場合、一部のタスクを任せることにより、研究の負担が軽減されますので、その分教育や管理面に集中できると思います。
- ・あと少し時間があれば……と何度も口惜しい思いをしましたが、本制度により研究の効率が向上しました。本制度を利用して大変ありがたいと感じる一方で、支援を受ける身としてしっかり成果を出さねばならないと感じています。

### 3. この制度を利用する上で、困ったこと、改善した方がよいと思うことがあるか

- ・我々の実験系では、実験補助者に一連の実験を習得してもらうまでに時間を要することがあります。補助者が実験に慣れ成果が出始めた頃に雇用終了となると、次回採用時に一からの指導になり、成果を出しにくいことがあります。この補助者の制度がもう少し長期の採択であれば、継続して成果を上げることが可能になると考えます。
- ・制度の基本的な方針(立替が必要な点など)がわかりにくかったです。
- ・私は、育休から復帰する際に本制度を利用する予定だったため、育休中に手続きなどをおこなわなければならず、かなり大変でした。(子供を抱っこ紐に入れて寝かせてからPCを開いて作業したことなど、良い思い出になるとは思いますが)今後、本制度を受けて進めた研究成果を公表する際、謝辞などに何か入れるべきなのか?ご教授いただけると幸いです。
- ・テクニシャンの雇入れ条件、実際の採用過程に関しては申請者個人よりも研究室自体の裁量によるところが大きく(研究室によると思うが)、本助成金は研究者個人による応募でありながら雇用条件や業務内容の振り分け(人件費を本補助金だけでなく研究室からも補填しているため)などに申請者のコントロールできない部分があり、難しい部分があると思った。自分の仕事のみを専任で補助してもらえる補助者が理想的であるが、ラボのリソースを共有している部分もあり、また、PIの意向によってはポストドクレベルで専任のテクニシャンを持つべきではないという考え方もあるなどし、なかなか補助金自体の趣旨・方針と実際の状況がマッチしない場合があると感じた。
  - ・可能なら1年単位での補助がいただけるとより助かります。
- ・制度のサポートが決まっていないと研究補助者の予算立てや契約交渉が難しいという現状があるのですが、本制度では利用開始前に研究補助者の内諾が必要とのことで、不確実性のある中での研究補助者との交渉に苦勞を感じました。
- ・特になし。ただ、時給の上限があるため、どうしても雇える人材に制限が生じてしまうことは残念であった。
- ・本制度では、大学院生等を雇用することが多いかと思いますが、学生は講義、研究、就活やその他の活動で大変忙しくしています場合によっては、所属研究室に対象となる学生がいないという状況もあるかもしれません。本制度について、学外にも周知し、学外からも実験補助者として雇用しやすい環境を整える必要があるのではないかと感じました。例えば、学外の実験経験者の中で本制度に関心がある方に実験補助者バンク(?)に登録してもらい、実験補助者を希望する人と実験補助者バンクに登録した人が面談してマッチングすれば、そのまま雇用し、マッチングしなければ、学内の院生等を雇用するといったこともできるのではないかと思います。



ます。実験補助者バンクには、学外の実験経験者の他、学内の学生も登録してもらうようにすれば、人材をより活用しやすくなると思います。また、採択される前から補助者の目途を立てておかなければならないので、候補者が自然と限定されてしまいます。採択時期を早めて、採択後に、学内外から広く候補者を決定できるようにする等の工夫も必要かもしれません。

- 大変ありがたい制度なので、より多くの人々が利用できるように制度を広く周知してほしい。
- 大学院生は他のアルバイトもしているので複数人を雇用できるようにしていただけたらと思います。
- 大学院生を雇用した場合、就労時間制限(週 20 時間)があり、学生は所属講座の TA などを既にしていたり、就職活動やインターンなどで就労できない期間もあることから与えられた雇用時間を使いきれない場合がある。2~3 人雇用できるなどもう少し自由がきくとありがたいです。
- 研究課題の遂行期間や研究補助者の業務への慣れを加味し、半年雇用から 1 年雇用へと変更をしていただきたい。
- 女性支援という観点のみならず、そこで雇用される人材のキャリアへの貢献なども含めて採択の可否を判断するのがよいと感じた。
- 制度を利用できるか否かがわからない状況で補助者を探すのが難しいと思います(もし「否」になった場合お断りしないといけなくなるため、ホームページなどで大々的に募集をすることができません)。制度利用が決まった後、補助者の雇用を決めるまでの時間的猶予がないことはやや大変かと思えます。
- 私が実験補助者として雇用しているのは研究室の学生なので、可能な限り時間いっぱい雇用するとすると、学生さん自身の研究の進捗に影響してしまうことが心配でした。手厚く補助を受けられるのはありがたいですが、被雇用者が学生の場合は特に、期間中の補助時間が減ったとしても、長期間にわたって(次年度も続けて)補助を受けられる方がお互いに利用しやすいのではないかと感じました。

#### 4. この制度の募集情報の入手方法(※複数回答あり)

区分	人数
メール(うち所属部局から)	13
センターHP	1
指導教官からの情報	3
知人からの情報	3
その他	4
合計	24

#### 5. その他

- 保育園入園待機乳児保育室も利用させていただきました。本当に助かりました。ありがとうございました。早く男女平等の世界になると良いなと思います。引き続きどうぞよろしくお願い致します。
- 出産・介護等ライフイベントや種々の事情による研究キャリアの中断に際して更に助成金などサポートが手厚くなると有難いと思います。
- 「ゆりかご」では 3 人ともお世話になりました。あらかじめ期限を決めて確実に復帰する、ということができると、職場での受け入れもしていただきやすいように感じています。その点で待機の心配がない「ゆりかご」は非常に助かりました。コロナ渦でも通常通り開設いただき本当に助かりました。
- 納得のいく仕事・研究をするためには時間の確保が必須であり、育児をしながらこの時間を確保するのは非常に難しいことです。本制度のほか、個人的にはベビーシッター利用育児支援、過去には保育園入園待機乳児保育室を利用させていただいたことがあります。どれも自分にとっては利用できなければ仕事を続けることができなかつたと思うくらい大きなサポートとなりました。ただ、これだけ様々な支援をいただきながらもまだ十分な時間はないと感じますし、周りには同じ問題で日々苦戦している女性が多くいますので、さらなる制度の拡充をお願いできればと思います。
- 本制度は、出産・育児中の女性研究者のみならず、家族の男性研究者にも大変有用な制度でした。今後も継続をお願いしたいと思います。
- いつもご支援ありがとうございます。芦生研究林のほうのトランスジェンダートイレをニュースレターに取りあげていただきありがとうございました。

- ベビーシッター派遣事業ですが、学会や実験等出張する際に、急に家で子供の面倒をみてもらえなくなってしまったという場面があります。実際、学会の座長をすることになっていたのですが、子供の発熱のため、急遽、座長を別の方に変更してもらったということがあります。出張自体をやめるというのが一番簡単なのですが、出張をやめると他への影響が大きい場合は、子供を出張先に連れて行ってでも出張しなければならないということがあります。その場合に、出張先でベビーシッターを利用できるように制度を拡張していただけると便利かと思います。
- とても助かりました。今後ともよろしく願いいたします。
- 研究プロジェクトがかなりプレッシャーでしたが、この制度のおかげで忙しいながら順調に進めることができ論文も増えてきました。ありがとうございます。
- ホームページを見て、男女共同参画推進センターが様々な活動を行っていることを知った。学内便で届くポスターでも知っていたが、「女性研究者へ発信するメーリングリスト」みたいなもので情報共有していただくのもよいかな、と感じた(既に存在するかもしれませんが)。
- 育児中の男性研究者に対する支援制度が他にもあれば、もっと広報をお願いしたい。
- 本制度を利用させて頂き本当に助かりました。心より御礼申し上げます。育児と研究との両立は多くの研究者が直面する課題だと思います。こういった制度で大学がバックアップしてくださることは何より心強いです。さらに、育児がひと段落つくと、次は介護の問題が生じてきますので、介護問題を抱える教職員にもサポートが拡がることを希望しております。
- Thank you very much for your support.
- 他の実施している事業についてあまり知らないです。調べます。
- 待機児童の関係で幼稚園に通わせているので、春休み期間が長く、春休み期間中の託児は大変ありがたいです。夏休みも実施していただくと大変助かります(既にされていたら申し訳ありません)。

## ■研究・実験補助者雇用制度 アンケート報告②

対象者: 令和3年度第1期 研究・実験補助者雇用制度利用者 15名

形式: 実績報告と同時にメールにて依頼。

回答率: 100%(15名)

### 1. 「研究・実験補助者雇用制度」を利用することで、どのようなことが可能になったか

・子供の看護や、出産後の体の不調などで、自分が従事できない部分の実験作業を継続してもらい、実験を大きく途切れさせることなく続けることができました。

・申請者の研究は野生生物のフィールドワーク調査を基本としているため、遠隔地での野外調査やそれに付随する生物の畜養・維持が求められる。もちろん、日常的にデータの整理業務もある。0歳児を含め、保育園に預けた子供2人の育児をしながら上記を行うことは極めて難しく、この制度を利用することで実施できなかった研究を進められ、また研究に費やすことのできる時間を少しでも確保することができた。

・研究補助者を雇用できたことで、私の研究テーマである医療社会学の研究を進めるにあたり、現在の当該研究分野レビューのための文献収集と論点の整理という煩雑な作業を依頼し、作業を順調に進めることができた。この研究補助により、支援期間中に論文の執筆に取りかかることができ、今年度中に論文の寄稿を目指している。

・データ整理や基礎解析を補助者に委託することにより、高次解析の実施やデータの解釈、論文執筆に集中して時間を使うことができた。育児などの都合により勤務時間が限られてしまう中、より効率よく、早くプロジェクトを進めることができた。

・頻繁に行われている共同研究者とのオンライン会議のセッティングや、研究資料の管理を依頼でき、研究を円滑に進めるための環境整備が可能になった。また、発表資料の整合性の確認や論文校正をってもらうことで、論文投稿が円滑に進んだ。

・外来や手術などの臨床診療と、ポリクリなどの教育などの合間を縫っての研究になりますが、実験雇用者の存在によって、作業にまとまった時間を要するような実験や、定時に経時的な変化を観察する必要があるような実験も行うことができました。

・研究・実験補助者雇用制度のおかげで研究補助者の確保が可能となり、新規導入した画像装置を用いた研究や、これまでの膨大な画像データの収集を行うことができました。国内でも使用経験者の少ない画像装置ではありましたが、本装置の使用経験のある研究補助者を確保することで、安全かつスムーズな実施が可能となっています。また数千規模の膨大な画像データの収集は、多忙な臨床業務の傍らには困難ですが、研究補助者のサポートのおかげで進めることができました。

・育児を行うため通常よりも早い時間に一旦帰宅しても、これまでほぼ同じペースで研究を推進することが出来た。そのため、研究者としてのキャリア維持に繋がった。また半年の経験によって、補助者自身のスキルアップにもつながり、今後のキャリアパスの一助になった。

・マウスへの連日の薬剤投与や薬剤の調整、動物実験の補助やマウスの遺伝子型決定のためのDNA調整、マウスの管理などを補助者に行ってもらうことによって、限られた研究時間内で実験を継続することができ、データ収集・データ解析、論文作成や追加実験の計画策定などに時間を使うことができました。

・With this program, I was able to accomplish important work while cooperating and delegating part of my daily tasks to the research assistant. While continuing to perform experiments, I could publish a paper, apply for a grant and contribute to society and academy by helping to organize a conference and being a journal peer reviewer.

Having the research assistant was also a great relief when I had to bring my son to the hospital or take a leave of absence for family reasons. The research assistant continued the work on my behalf and we were able to obtain meaningful results.

・本制度を利用することで、実験に関する多くの業務を学生にやってもらうことができ、子供が熱を出した時の対応や保育園の見学、説明会など特別な用事がある時だけでなく、普段の生活における子育ての時間を確保でき、子供の成長を近くで感じることができた。

・昼間の勤務時間では実験時間が足りず、たびたび夜に研究室に来て実験や実験生物の世話などをしていました。実験補助者雇用制度を利用して人に頼める作業はお願いすることにより、実験効率が格段に上がりました。

・やや停滞気味になっていた研究の推進を加速することができた。さらに、時間に余裕ができたことで、落ち着いて研究を進めることができた。これにより、論文や研究発表に関してのミスが少なくなったように感じている。新しい研究分野に挑戦したいという意欲も湧き、精神的にも楽になった。

・合成反応のワークアップを補助者に依頼することで、これまでは業務時間との兼ね合いで諦めざるを得なかった実験を進めることができ、実験の効率が向上しました。また条件検討などルーチン化した作業を任せることで、その時間を新しい実験やデスクワークに使えるようになり、落ち着いて研究に取り組めるようになりました。

・ワクチン接種実験は、実験開始前に、投与スケジュール、フォローアップスケジュールの綿密な計画が必要であるだけでなく、投与後のその予定の変更不可という大きな責任を背負うことになります。今回の採択により、経時的なフォローアップが必要な長期にわたる研究にも挑戦する機会と時間を得ました。研究の幅が広がったことは大きいと感じております。

## 2. 「研究・実験補助者雇用制度」を利用した感想

・子育て中は、実験を行う時間が限られているだけでなく、グラントに応募する書類をじっくり準備する時間も不足しており、論文や学会発表のペースも落ちることから、グラント獲得の成功率そのものが落ちる傾向があると思います。この子育て補助があることで、実験補助を雇うことができ、精神的にも実際の実験上もとても助かり、また、グラント応募にかける時間も確保できました。ありがとうございました。

・研究・実験補助という目的に沿って、比較的自由度をもって業務を依頼することができました。また半年の間利用できることで、計画性をもって研究を遂行することができました。

・制度の利用中に第二子を迎え、大変多忙となる時期であった。この制度により、研究者としての責務と家庭での父親として家族を支える時間を両立させることができ、大変有意義な制度であると感じた。

・補助者がいることで、研究自体が早く進むだけでなく、補助者を含む研究チームのメンバーと共に効率よく業務を進めるためのマネジメントのスキルを習得することができた。この中で、自分のプロジェクトを客観的に見直し、無駄な作業を減らしてより効率的に働くことができるようになった。

・申請者が携わる研究には居住地の異なる共同研究者が複数関わっており、またコロナ禍も影響しオンライン会議が頻繁に行われているため、これまで以上に整備が必要になった会議や発表用の資料作成を任せられとても助かった。

・獲得できる研究費には浮き沈みがありますが、研究・実験補助者雇用制度を利用させていただいたことで、長年お世話になっている信頼できる実験雇用者を安定して雇用できるようになり、大変助かっております。

・多忙な臨床業務と家事育児で時間的制約が厳しい中、まとまった研究を進めることは非常に困難でしたが、研究補助者のサポートのおかげで現実的に実施できています。私の研究において研究補助者の存在は非常に大きく、研究補助者の確保を可能にしたこの制度には大変感謝しています。

・補助者を雇ったのは2期目であり、自分自身の研究のみならず、研究室全体のプロジェクト推進に非常に有益でした。特に人材不足の研究室にとってはありがたい制度であった。

・保育園や学童保育への朝夕の子供の送迎があり、臨床業務もある、限られた研究時間の中で、実験を継続して研究を進めることができました。子育てで時間の制約がある中で研究を継続するために、とても有用な制度だと思います。

・I think that this program is efficient at supporting the researchers who have heavy family duties. Before the program, when I had to take days off to bring my son to the hospital, I felt very nervous and guilty for not being at work. With the program, I feel less stressed and can rely on the research assistant to continue the work while I am away. The program has surely improved the balance between my professional and personal life, and increased my motivation and productivity at Kyoto University.

・複雑な申請を必要とせずにご利用できました。制度のおかげで、子育てに時間を十分あてることができ、とても感謝しています。

・科研費の採択が分かる前に、実験補助者を雇用するための予算を支援してもらえるこのような制度は先の見通しを立てるためにもとても助かりました。また利用したいと思いました。ありがとうございました。

・2人の子供の養育に関する負担を2人とも公平に感じることができ、不公平感が無くなった。そのため、夫婦とも精神的に楽になった。また、研究をより一層推進することができたように感じている。

・個人的なことですが、転居や子どもの発達の問題、またコロナなど、昨年から頭の中が家庭のことに占められがちでしたが、本制度のおかげで研究に向き合う時間を確保することができ、大変助かりました。

・項目3、と重なるところですが、サンプリングの日程変更が厳しい研究を行うことは幼い子どもがいる中ではプレッシャーも大きく、手を出しにくいテーマでありました。研究・実験補助者雇用制度の利用により、対応可能な人材がいることは非常に心強いものがあり、このようなテーマへの挑戦という貴重な機会を得れたと感じております。

## 3. この制度を利用する上で、困ったこと、改善した方がよいと思うことがあるか

・特にないと思いますが、幼い子供がいる期間は連続して採用していただけると有難いと思います。

・育児との両立を促す上で、素晴らしい制度なので、今後も継続してほしい。

・論文や学会発表等、研究成果として現れるのには少し期間が必要なので、支援を受けた期間中の成果が出るまでにタイムラグが生じる旨、了承して欲しいです。

- ・可能であれば1年単位での補助がいただけますと実験の見通しも立てやすく助かります。
- ・制度のサポートが決まっていないと研究補助者の予算立てや契約交渉が難しいという現状があるのですが、本制度では利用開始前に研究補助者の内諾が必要とのことで、不確実性のある中での研究補助者との交渉に苦勞を感じました。
- ・特になし。ただ、時給の上限があるため、どうしても雇える人材に制限が生じてしまうことは残念であった。
- ・The program overall is very well organized and I salute the organizers for that. My difficulty would be in the duration of the program. In my humble opinion and experience, a semester is rather short. By the time the research assistant gets used to the laboratory equipments and deeply acquainted with the contents and details of the research subjects, the semester is almost over. Although it is possible to apply for the program several times, I think that it would be helpful to give the option to apply for a year or even longer instead of just a semester.
- ・特にないです。大変ありがたい制度なので、より多くの人が利用できるように制度を広く周知してほしいです。
- ・前期の利用が開始されてからすぐに後期の募集があるため、申し込みを躊躇しているうちに応募し損ねてしまいました。実験補助者に明確な継続の意思がある場合は問題ないと思いますが、そうでない場合、次の実験補助者を探す時間などが必要です。このため、もう少し時間をおいてから募集してもらえたらいいのにな、と思いました。
- ・補助者として学生を雇用している場合、学生本人の研究と私の研究補助との時間のバランスが難しく感じています。研究室の学生だからこそ、細かい指示をしなくても装置の操作など伝わる部分もあって、その点はとてもいいのですが、希望すれば学生以外の実験補助者も容易に雇用できる(人材が見つかる)ような仕組みがあればいいなと感じました(例えば、他の研究室で実験補助をしている方の再就職先など)。また、補助者を複数指定できれば、学生本人の研究への負担という心配は軽減されるかと思います。研究を続ける上で大変助かる制度ですので、補助額が少し減額されたとしても、少しでも長く補助を受けられるようにしていただけるとありがたいです。
- ・補助者が実験に慣れ成果が出始めた頃に雇用終了となると、次回採用時に一からの指導になり、成果を出しにくいことがあります。この補助者の制度がもう少し長期の採択であれば、継続して成果を上げることが可能になると考えます。

#### 4. この制度の募集情報の入手方法(※複数回答あり)

区分	人数
メール(うち所属部局から)	5
センターHP	3
指導教官からの情報	5
知人からの情報	0
その他	3
合計	16

#### 5. その他

- ・この制度の活用を機に、男女共同参画推進センターが多くの試みをされていることを知った。今後も積極的に活動していただけたらうれしい。
- ・コロナ渦で、利用している保育園に陽性者が出て休園になることが何度かありました。仕方がないことなのですが、急に休園が決まり、1度休園になると1週間ほどは閉まるので、ほとんど途方にくれます。難しいかもしれませんが一時保育が利用できるようなしていただけると、本当に助かります。
- ・納得のいく仕事・研究をするためには時間の確保が必須であり、育児をしながらこの時間を確保するのは非常に難しいことです。本制度のほか、個人的にはベビーシッター利用育児支援、過去には保育園入園待機乳児保育室を利用させていただいたことがありますが、どれも自分にとっては利用できなければ仕事を続けることができなかつたと思うくらい大きなサポートとなりました。ただ、これだけ様々な支援をいただきながらもまだ十分な時間はないと感じますし、周りには同じ問題で日々苦戦している女性が多くなります。引き続き多方面からダイバーシティや働き方改革の推進をお願いできればと思います。
- ・2目目でお世話になりました。本制度は、出産・育児中の女性研究者のみならず、家族の男性研究者にも大変有用な制度でした。今後も継続をお願いしたいと思います。
- ・This is an excellent system to promote gender equality at Kyoto University and I am absolutely grateful to be a beneficiary.
- ・半年間と短い期間ではありましたが、研究・実験補助者雇用制度を利用することにより、工夫次第で色々やれるんだと知ることがで

きました。ありがとうございました。また応募したいと思います。

・病後児保育やおむかえ保育が大学で利用できるのはとても魅力的ですが、桂キャンパスからは利用が難しいのが残念です。利用者数を考えると実現が難しいとは思いますが、全く同じ内容でなくても、吉田キャンパス以外でも利用できるものがあればと思います。

## V 「教育支援」事業





# 教育支援事業ワーキンググループ活動報告

教育支援事業ワーキンググループは、本学の学生を対象とした正規の授業(ILAS セミナー、全学共通科目)の提供を中心に、本学における性別(ジェンダー)と男女共同参画に関する教育に貢献することをミッションとしています。今年度も新型コロナウイルス感染症の流行のため、オンライン授業を余儀なくされましたが、支障なく実施できました。ILAS セミナーは「ジェンダーと文学」をテーマにした講義・ディスカッションと個人発表を行い、毎回時間いっぱいまで活発な意見交換が行われました。全学共通科目「ジェンダー論」はオンライン化をむしろチャンスとして、遠方の講師も依頼し、進化生態学、霊長類の性など生物学的性と社会的ジェンダーに関する根源的なテーマに始まり、育児、年金、労働、政治参画、貧困などの社会的課題や、文学や映画など文化について、ジェンダーという視点から切り込む講義を提供しました。医学部入試女子学生差別や性的同意など、社会的関心を集めている問題も取り上げ、男性研究についても紹介しました。全 14 回中、プライバシー・著作権等の問題の無い 6 回の録画を公開動画として編集し、センターHP から公開する予定です。

就労支援事業WG主査 落合 恵美子

## ■2021年活動記録

- |           |                       |
|-----------|-----------------------|
| 4月13日(火)  | ILAS セミナー「ジェンダーと文学」開講 |
| 6月22日(火)  | 教育支援事業ワーキンググループ会議     |
| 9月30日(木)  | 教育支援事業ワーキンググループ会議     |
| 10月5日(火)  | 全学共通科目「ジェンダー論」開講      |
| 10月11日(月) | 教育支援事業ワーキンググループ会議     |
| 1月18日(火)  | 教育支援事業ワーキンググループ会議     |
| 1月24日(月)  | 教育支援事業ワーキンググループ会議     |

## 講義・ゼミ

### ■ILAS セミナー「ジェンダーと文学」

2021年度のILASセミナーは、新型コロナウイルス感染症対策のガイドラインに準じてオンライン授業と対面授業が混在した形となりました。

この授業では文学や映画など、言葉を用いたエンターテインメント作品を取り上げ、そこでジェンダーやセクシュアリティをめぐる問題がどのように表現されているかを見ていきました。授業の前半では、担当講師がいくつかの作品を選んで講義し、それをもとに学生と講師がディスカッションを行う。授業の後半では、学生に自分の好きな作品を選んで発表してもらい、それをもとに学生と講師がディスカッションを行いました。

講師：川島 隆（文学研究科 准教授）

回	講義日	テーマ
1	4月13日	ガイダンス
2	4月20日	聖書、ホメロス、LGBT問題
3	4月27日	グリム童話および関連する映画作品
4	5月11日	アンデルセン童話および関連する映画作品
5	5月18日	シュピーリ『ハイジ』
6	5月25日	ケストナー『飛ぶ教室』
7	6月1日	【個人発表2名】学生による発表
8	6月8日	【個人発表2名】学生による発表
9	6月15日	【個人発表2名】学生による発表
10	6月22日	【個人発表2名】学生による発表
11	6月29日	【個人発表2名】学生による発表
12	7月6日	【個人発表2名】学生による発表
13	7月13日	【個人発表2名】学生による発表
14	7月20日	【個人発表2名】学生による発表
15	7月27日	授業のまとめ

火曜日5限（16時45分～18時15分）



## ■全学共通科目「ジェンダー論」

2021年度の全学共通科目「ジェンダー論」はオンラインにて行いました。

現代日本のジェンダーを広い視野に位置付けて理解し、問題解決の方法について自ら考える力を養いました。

適宜ゲストスピーカーをお招きし、さまざまな研究分野においてジェンダーが開くパースペクティブ、日本および世界の他の地域のジェンダーの状況や課題について講義いただきました。

全学共通科目（後期）「ジェンダー論」 講師・テマ一覧			
回	講義日	講師氏名	テーマ
【導入】			
1	10月5日	綱嶋 航平 サイボウズ株式会社	働くこととジェンダー：企業人事の視点から
【生物学的性と社会的ジェンダー】			
2	10月12日	山内 淳 生態学研究センター	なぜ性があるのか：進化生態学的視点から
3	10月19日	川島 隆 文学研究科	文学に見る同性愛とホモソーシャル性
4	10月26日	山極 壽一 総合地球環境学研究所	霊長類の性の多様性と人類の進化
【現代社会とジェンダー】			
5	11月2日	落合 恵美子 文学研究科	日本の子育てはなぜ難しいのか：国際比較から
6	11月9日	柴田 悠 人間・環境学研究科	「父親育児」と「保育」の効果： 「母親の幸福感低下」や「不利の親子間連鎖」を減らせるか？
7	11月16日	水島 郁子 大阪大学	年金とジェンダー
8	11月30日	吉田 万里子 国際高等教育院	労働契約とジェンダー：欧州比較から
9	12月7日	木下 彩栄 医学研究科	医学部入試女子学生差別の問題から：その背景にあるもの
10	12月14日	三浦 まり 上智大学	女性の政治参画：なぜ進まないのか、どのように進めるか？
11	12月21日	丸山 里美 文学研究科	女性の貧困
12	12月28日	鈴木 七海 ジェネシス共同代表	性的同意
13	1月11日	中村 正 立命館大学	男性の問題：ジェンダーと男性学・男性研究から暴力を考える
14	1月18日	ミツヨ・ワダ・マルシアーノ 文学研究科	現代日本のクイア映画考

火曜日3限（13時15分～14時45分）、Zoomによるオンライン授業

## ■全学共通科目「ジェンダー論」講義動画公開

2021年度全学共通科目「ジェンダー論」の講義のうち、プライバシー・著作権等の問題の無い6回の録画を公開動画として編集し、センターHPにて公開する予定です。

- 
- ・山内 淳 京都大学 生態学研究センター 教授  
「なぜ性があるのか——進化生態学的視点から」

---

  - ・落合 恵美子 京都大学 文学研究科 教授  
「日本の子育てはなぜむずかしいのか：国際比較から」

---

  - ・柴田 悠 京都大学 人間・環境学研究科 准教授  
「女性の市民運動から生まれた介護保険法」

---

  - ・吉田 万里子 京都大学 国際高等教育院 教授  
「労働契約とジェンダー：欧州比較から」

---

  - ・三浦 まり 上智大学 法学部 教授  
「女性の政治参画：なぜ進まないのか、どのように進めるか？」

---

  - ・中村 正 立命館大学 人間科学研究科 教授  
「男性の問題：ジェンダーと男性学・男性研究から暴力を考える」

---

# 資 料



## 男女共同参画推進センター 関係者名簿

2021.12.1 現在

役職	氏名	所属・職
男女共同参画推進センター長	稲垣 恭子	理事・副学長
男女共同参画推進本部支援室長	足立 壯一	医学研究科・教授
広報・相談・社会連携事業ワーキンググループ		
主査	今村 博臣	生命科学研究所・准教授
事業推進員	松下 佳代	高等教育研究開発推進センター・教授
事業推進員	久家 慶子	理学研究科・教授
事業推進員	末永 幸平	情報学研究科・准教授
事業推進員	竹之内 沙弥香	医学研究科・准教授
育児・介護支援事業ワーキンググループ		
主査	齊藤 真紀	法学研究科・教授
事業推進員	矢野 孝次	理学研究科・准教授
事業推進員	片岡 正子	医学部附属病院・講師
事業推進員	吉永 直子	農学研究科・助教
事業推進員	本田 晶子	地球環境学堂・助教
病児保育事業ワーキンググループ		
主査	横山 淳史	医学部附属病院・助教
事業推進員	長尾 美紀	医学部附属病院・教授
事業推進員	加藤 格	医学部附属病院・助教
事業推進員	河合 優美子	医学部附属病院・副看護部長
事業推進員	一條 敬一	医学部附属病院・総務課長
事業推進員	隈村 綾子	医学部附属病院・医務課掛長
就労支援事業ワーキンググループ		
主査	木下 彩栄	医学研究科・教授
事業推進員	船越 資晶	法学研究科・教授
事業推進員	高橋 淑子	理学研究科・教授
事業推進員	滝田 順子	医学研究院・教授
事業推進員	高橋 良和	工学研究科・教授
事業推進員	見学 美根子	高等研究院・教授
教育支援事業ワーキンググループ		
主査	落合 恵美子	文学研究科・教授
事業推進員	吉田 万里子	国際高等教育院・教授
事業推進員	川島 隆	文学研究科・准教授
事業推進員	丸山 里美	文学研究科・准教授

## 男女共同参画推進委員会

### ■推進委員会議事・報告

#### 2021年4月12日(月)

各GW主査、新規着任職員の紹介及び簡単な挨拶

【議事】 2021年度関西科学塾への予算支出依頼について  
2021年度女子高生・車座フォーラムについて

#### 【報告】

1. 2021年度男女共同参画推進センター事業計画について
2. 2021年度日経ウーマノミクスフォーラムについて
3. ベビーシッター割引券の利用について
4. ワーキンググループの活動状況と今後の予定

#### 5月10日(月)

【議事】 なし

#### 【報告】

1. ベビーシッター育児支援割引券の利用開始について
2. 待機保育室におけるコロナ対応策について
3. ワーキンググループの活動状況と今後の予定

#### 6月14日(月)

【議事】 なし

#### 【報告】

1. ワーキンググループの活動状況と今後の予定

#### 7月12日(月)

【議事】 なし

#### 【報告】

1. ベビーシッター利用育児支援割引券の申込受付開始について
2. ワーキンググループの活動状況と今後の予定

#### 9月13日(月)

【議事】 なし

#### 【報告】

1. 京都市男女共同参画センターの相談支援事業について
2. 待機乳児保育室 濃厚接触者発生の報告について
3. ワーキンググループの活動状況と今後の予定

#### 10月11日(月)

【議事】 なし

#### 【報告】

1. ベビーシッター育児支援割引券の利用について
2. ワーキンググループの活動状況と今後の予定

#### 11月8日(月)

【議事】 なし



**【報告】**

1. 京都大学男女共同参画推進アクションプラン(2022年度～2027年度)について
2. 第14回京都大学優秀女性研究者賞「たちばな賞」募集について
3. ワーキンググループの活動状況と今後の予定

**12月13日(月)**

**【議事】** なし

**【報告】**

1. 第14回京都大学たちばな賞(優秀女性研究者賞) 応募状況について
2. 女子高生・車座フォーラム 2021 実施報告
3. 令和4年度第1期研究・実験補助者雇用制度の利用者募集について
4. ワーキンググループの活動状況と今後の予定

**1月11日(火)**

**【議事】** 2022年度待機乳児保育室の開室について  
待機乳児保育室 月齢制限を超過した乳児の延長利用について

**【報告】**

1. 第14回京都大学たちばな賞(優秀女性研究者賞) 審査状況について
2. ベビーシッター割引券の利用について
3. 令和4年度第1期研究支援・実験補助者雇用制度の応募状況について
4. 女子高生・車座フォーラムの参加者数について
5. 令和3年度女子高生応援大使 実施報告
6. ワーキンググループの活動状況と今後の予定

**2月14日(月)**

**【議事】** なし

**【報告】**

1. 第14回京都大学たちばな賞(優秀女性研究者賞)選考結果について
2. 令和3年度女子高生応援大使実施報告について
3. 令和4年度第1期研究支援・実験補助者雇用制度の選考結果について
4. 待機乳児保育のコロナ感染症対策について
5. ワーキンググループの活動状況と今後の予定

**3月14日(月)**

**【議事】** なし

**【報告】**

1. 次年度の組織体制について
2. 第14回京都大学たちばな賞(優秀女性研究者賞)表彰式開催について
3. 待機乳児保育室のコロナ感染者対応報告について
4. ワーキンググループの活動状況と今後の予定

京都大学教員数

(令和3年5月1日現在)

区分	総長		役員			教授			准教授			講師			助教			助手			合計		
	男	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
総長	1	1																			1	0	1
理事・監事(非常勤含む)			8	2	10																8	2	10
文学研究科						35	9	44	26	5	31	5		5	8		8			0	74	14	88
教育学研究科						11	6	17	10	3	13	2	1	3	1	3	4			0	24	13	37
法学研究科						43	7	50	9	3	12		3	3			0	1		1	52	14	66
経済学研究科						17	1	18	7		7	4	2	7	1		1			0	29	3	32
理学研究科						73	3	76	78	8	90	8		8	74	6	80			0	233	17	250
医学研究科						71	8	79	54	11	65	51	5	57	46	18	64			0	222	42	264
医学部附属病院						5	2	7	12	2	14	11	1	12	130	21	151			0	158	26	184
薬学研究科						13		13	11	3	14	5		5	13	1	14			0	42	4	46
工学研究科						127	2	129	98	6	104	30	2	32	104	8	112			0	359	18	377
農学研究科						61	3	64	52	5	57	1	1	2	51	6	59			0	165	15	180
人間・環境学研究科						56	10	66	24	6	30	1	1	2	16	2	18			0	97	19	116
エネルギー科学研究科						19		19	19		19			0	9	1	10			0	47	1	48
アジア・アフリカ地域研究研究科						14	1	15	6	3	9			0	2	2	4			0	22	6	28
情報学研究科						35		35	26	2	28	5		5	29		29			0	95	2	97
生命科学研究科						18		18	15	1	16	3	1	4	12	2	14			0	48	4	52
総合生存学館						6	1	7	4		4			0		0			0	10	1	11	
地球環境学堂						16	1	17	11	4	15	1		1	8	4	12			0	36	9	45
公共政策連携研究部						8	1	9	1		1			0		0			0	9	1	10	
経営管理研究部						12	1	13	3	1	4	3	1	4		0			0	18	3	21	
化学研究所						26		26	16	2	18	2	2	4	35	3	38			0	79	7	86
人文科学研究所						18	3	21	15	2	17			0	8	3	11	1		1	42	8	50
ウイルス・再生医科学研究所						16	1	17	13	2	15	3		3	21	7	28			0	53	10	63
エネルギー理工学研究所						9		9	9		9	2		2	10		10			0	30	0	30
生存圏研究所						14		14	11	1	12	1		1	7	1	8			0	33	2	35
防災研究所						30	1	31	33	2	35		1	1	15	2	17			0	78	6	84
基礎物理学研究所						9		9	9		9			0	4		4			0	22	0	22
経済研究所						9		9	2	1	3			0	2		2			0	13	1	14
数理解析研究所						13		13	13		13	3		3	8	2	10			0	37	2	39
複合原子力科学研究所						13		13	22	2	24	1		1	23	5	28			0	59	7	66
霊長類研究所						9		9	10		10			0	4	5	9			0	23	5	28
東南アジア地域研究研究所						11	3	14	10	3	13			0	2	2	4			0	23	8	31
iPS細胞研究所						12	1	13	8		8	6		6		0				0	26	1	27
附属図書館								0		1	1			0		1	1			0	0	2	2
学術情報メディアセンター						7		7	5		5			0	4		4			0	16	0	16
生態学研究センター						6	1	7	2	1	3			0			0			0	8	2	10
野生動物研究センター						2	1	3	1		1			0		1	1			0	3	2	5
高等教育研究開発推進センター						1	1	2	1	2	3			0			0			0	2	3	5
総合博物館						2	1	3	2	1	3	1		1	1		1			0	6	2	8
フィールド科学教育研究センター						4	1	5	6	1	7	3		3	2	4	6			0	15	6	21
福井謙一記念研究センター						1		1			0			0			0			0	1	0	1
こころの未来研究センター						2	1	3	2	1	3			0	1		1			0	5	2	7
学生総合支援センター						1		1	1	2	3	2		2			0			0	4	2	6
大学文書館						1		1			0			0			0			0	1	0	1
学際融合教育研究推進センター								0	1		1			0			0			0	1	0	1
国際高等教育院						26	5	31	11	2	13	4	2	6			0			0	41	9	50
環境安全保健機構						5	1	6	2		2		1	1	7	2	9			0	14	4	18
情報環境機構						3		3	2		2			0	1	1	2			0	6	1	7
産官学連携本部						1		1			0			0			0			0	1	0	1
高等研究院						7	2	9	4		4	2		2			0			0	13	2	15
合計	1	1	8	2	10	898	79	977	677	89	766	160	24	184	659	113	772	1	1	2	2404	308	2712

(注)育児休業者・退職者、再雇用者は除く

# 京都大学学生数

## 学部学生数

(令和3年5月1日現在)

区分	学部学生			聴講生			科目等履修生			合計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
総合人間学部	426	168	575			0	5	6	11	431	174	605
文学部	618	395	1,011	23	14	37	8	6	12	649	415	1,064
教育学部	154	128	278				3		3	157	128	285
法学部	1,067	388	1,489	1		1				1,068	388	1,456
経済学部	899	191	1,125							899	191	1,090
理学部	1,278	117	1,378				4	1	5	1,282	118	1,400
医学部(6年制)	562	116	685							562	116	678
医学部(4年制)	160	313	504							160	313	473
薬学部(6年制)	37	46	129							37	46	83
薬学部(4年制)	48	34	129							48	34	82
工学部	3,837	421	4,222				1		1	3,838	421	4,259
農学部	848	458	1,306				6	2	8	854	460	1,314
計	9,934	2,775	12,831	30	19	49	29	15	44	9,985	2,804	12,789
	(182)	(88)	(220)							(132)	(89)	(221)

(注)( )内は、外国人留学生数(留学ビザ留学生(新型コロナウイルスによる未渡日含む))で内数。

## 大学院学生数

(令和3年5月1日現在)

区分	修士課程			博士(後期)課程			専門職学位課程			聴講生			科目等履修生			合計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
文学研究科	140	104	253	128	73	201				7	10	17				275	196	471
教育学研究科	40	33	73	45	48	93							2	3	5	87	84	171
法学研究科	24	19	43	53	23	76	227	124	351	2		2		2	2	306	168	474
経済学研究科	67	71	138	61	34	95							2		2	128	105	233
理学研究科	555	97	652	401	90	491							3		3	958	187	1,145
医学研究科				504	216	720										504	216	720
	30	30	60	57	41	98	43	38	81				1	4	5	131	113	244
医学研究科(人間健康科学専攻)	49	103	152	37	57	94										86	160	246
薬学研究科				28	7	35										28	7	35
	80	36	116	50	14	64										130	50	180
工学研究科	1,279	194	1,473	460	90	550										1,739	284	2,023
農学研究科	409	264	673	154	72	226							1	2	3	564	338	902
人間・環境学研究科	198	142	340	182	138	320										380	280	660
エネルギー科学研究科	262	39	301	77	16	93										339	55	394
アジア・アフリカ地域研究研究科				71	97	168										71	97	168
情報学研究科	396	27	423	161	39	200										557	66	623
生命科学研究科	82	74	156	70	46	116										152	120	272
総合生存学館				38	37	75										38	37	75
地球環境学舎	41	62	103	42	44	86										83	106	189
公共政策教育部							57	29	86							57	29	86
経営管理教育部				18	7	25	140	90	230				10	1	11	168	98	266
計	3,652	1,295	4,956	2,637	1,189	3,826	467	281	748	9	10	19	16	12	28	6,781	2,796	9,577
	(429)	(401)	(830)	(631)	(455)	(1086)	(54)	(57)	(111)							(1115)	(913)	(2028)

(注1) 医学研究科・薬学研究科の博士(後期)課程の上段は博士課程(4年制)

(注2) アジア・アフリカ地域研究研究科、総合生存学館は一貫制博士課程

(注3)( )内は、外国人留学生数(留学ビザ留学生(新型コロナウイルスによる未渡日含む))で内数。

# 京都大学の女性研究者・女子学生の状況

## 1. 教員数の経年変化と女性比率

(分析データ：京都大学概要 2021)

2004年までは、保田その氏の作成データ（京都大学女性教員懇話会 2005年度ニュースレターNo.2）による

2021年5月1日現在の京都大学の教員数(助手2名を含む)は、全体で2,712名である。そのうち女性教員は全体の11.4%、数にしてわずか308名である。2006年は7.3%だったので、この15年間で4.1%増加している。女性教員数が目立って増加の傾向を見せてきたのは、2000年頃からである。図1に1952年以来の女性教員の推移を示す。

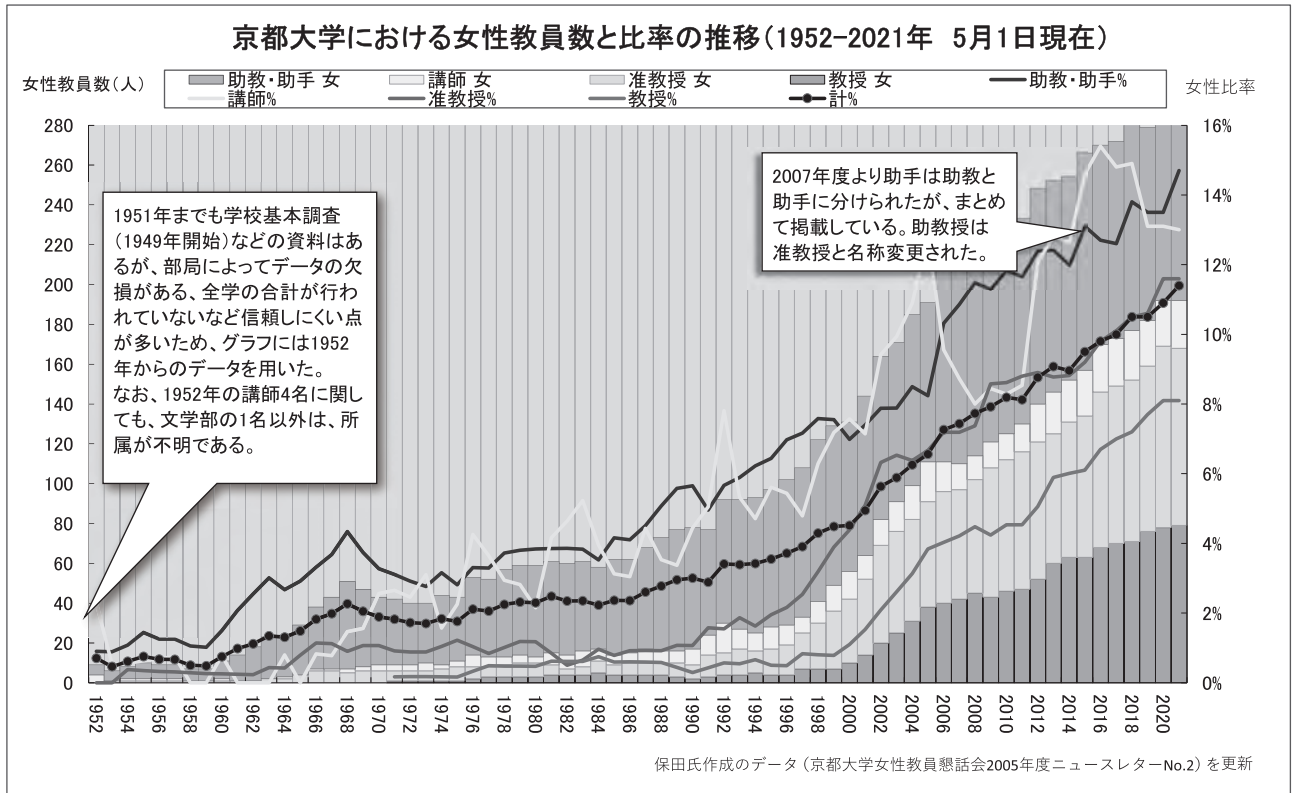


図1：1952年以来的女性教員の推移

職階別に男女比を見ると、女性は総数が少ないのでどのポストでもわずかだが、その中でも、教授ポストの女性比率が特に少なく、8.1%しかない。准教授ポストでは11.6%、講師では13.0%、助教・助手では14.7%が女性である(図2)。

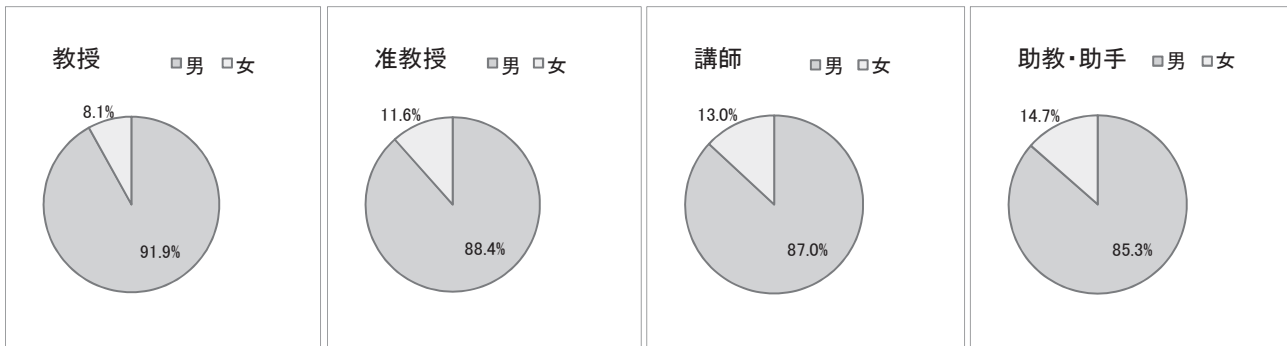
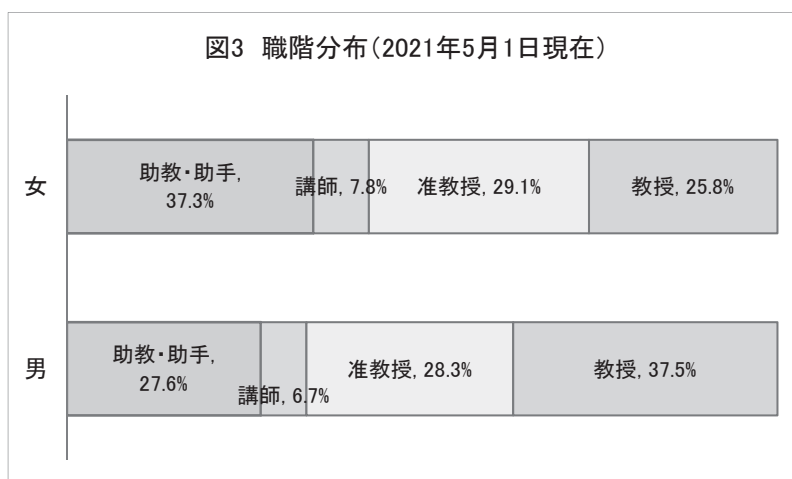


図2 教員の職階毎の男女比(2021年5月1日現在)

図3の職階分布からわかるように、男性では教授(37.5%)が最も多く、女性では助教・助手(37.3%)が最も多い。



## 2. 女性研究者の雇用形態

(分析データ : 総務部資料 2021年5月1日)

表2に示すように、本学には女性研究者が約944人いる。プロジェクトなどの雇用でない、いわゆる“定員”の教員は307人、残り637人が種々のプロジェクトなどで雇用されている任期付きの研究者である。表2にその職種、職階分布を示した。表2で常勤というのは、勤務形態は定員と同じだが雇用形態が例えば、准教授(産官学連携)というように職名に財源の由来が付いている任期付きのポストを示している。非常勤というのは、勤務形態が非常勤で雇用の財源はいろいろである。例えば「最先端研究」などである。

表2 女性研究者の雇用形態

学内の雇用形態		人数	%
定員	教授	79	7.2
	准教授	89	8.2
	講師	24	2.5
	助教・助手	115	10.8
	合計	307	28.7
常勤	教授	9	0.3
	准教授	28	2.5
	講師	25	1.3
	助教	89	9.7
	研究員	155	18.9
	合計	306	32.7
非常勤	研究員	249	27.3
	医員	77	10.9
	教員	5	0.3
	合計	331	38.6
総合計		944	100.0

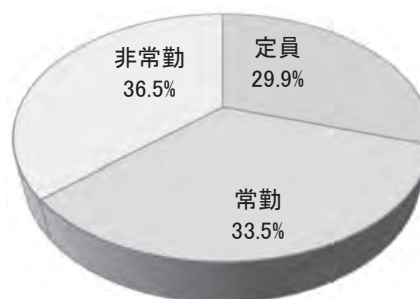


図4 女性研究者の雇用形態

### 3. 女性教員の部局別・職階別分布

表3に全部局の職階別女性教員数(2021年5月1日現在)を示す。

(分析データ：総務部資料2021年5月1日)

2021年5月1日の人事名簿より作成(総務部)

部局	定員					常勤						非常勤				総合計
	教授	准教授	講師	助教・助手	合計	教授	准教授	講師	助教	研究員	合計	研究員	医員	教員	合計	
i P S細胞研究所	1	0	0	0	1	1	0	2	3	37	43	6	0	0	6	50
アジア・アフリカ地域研究研究科	1	3	0	2	6	0	0	0	0	2	2	1	0	0	1	9
アフリカ地域研究資料センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	1	0	0	1	3
ウイルス・再生医学研究所	1	2	0	7	10	0	0	0	1	8	9	9	0	0	9	28
エネルギー科学研究科	0	0	0	1	1	0	0	0	1	1	2	0	0	0	0	3
エネルギー理工学研究所	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	2	0	0	2	3
オープンイノベーション機構	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	1
こころの未来研究センター	1	1	0	0	2	0	0	2	1	3	6	2	0	0	2	10
フィールド科学教育研究センター	1	1	0	4	6	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2	8
医学研究科	8	11	5	18	42	4	10	5	19	13	51	61	0	0	61	154
医学部附属病院	2	2	1	21	26	1	2	1	26	9	39	17	77	0	94	159
化学研究所	0	2	2	3	7	0	0	0	1	2	3	7	0	0	7	17
学際融合教育研究推進センター	0	0	0	0	0	1	1	2	3	5	12	4	0	0	4	16
学術情報メディアセンター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	1	2
学生総合支援センター	0	2	0	0	2	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	3
環境安全保健機構	1	0	1	2	4	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	5
基礎物理学研究所	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2	0	0	0	0	2
教育学研究科	6	3	1	3	13	0	0	0	2	0	2	1	0	0	1	16
経営管理研究部	1	1	1	0	3	0	1	1	1	2	5	3	0	5	8	16
経済学研究科	1	0	2	0	3	0	0	1	1	2	4	2	0	0	2	9
経済研究所	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	2
公共政策連携研究部	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
工学研究科	2	6	2	9	19	0	0	0	1	8	9	13	0	0	13	41
高等教育研究開発推進センター	1	2	0	0	3	0	0	1	2	1	4	0	0	0	0	7
高等研究院	2	0	0	0	2	0	1	1	8	12	22	18	0	0	18	42
国際高等教育院	5	2	2	0	9	0	1	4	0	0	5	0	0	0	0	14
国際戦略本部	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2	0	0	0	0	2
産官学連携本部	0	0	0	0	0	0	1	0	2	2	5	2	0	0	2	7
情報学研究科	0	2	0	0	2	0	0	1	1	5	7	1	0	0	1	10
情報環境機構	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
人間・環境学研究科	10	6	1	2	19	0	0	0	1	0	1	2	0	0	2	22
人文科学研究科	3	2	0	3	8	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2	10
数理解析研究所	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
生存圏研究所	0	1	0	1	2	1	0	0	0	3	4	12	0	0	12	18
生態学研究センター	1	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	6	0	0	6	8
生命科学研究科	0	1	1	2	4	0	0	1	2	3	6	11	0	0	11	21
総合生存学館	1	0	0	0	1	1	1	0	0	0	2	0	0	0	0	3
総合博物館	1	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2	4
総務部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大学院横断教育プログラム推進センター	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1
大学文書館	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	1
地球環境学学	1	4	0	4	9	0	1	0	0	0	1	8	0	0	8	18
東南アジア地域研究研究所	3	3	0	2	8	0	0	0	1	5	6	4	0	0	4	18
農学研究科	3	5	1	6	15	0	1	0	1	8	10	25	0	0	25	50
白眉センター	0	0	0	0	0	0	3	0	3	0	6	0	0	0	0	6
附属図書館	0	1	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
福井謙一記念研究センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1
複合原子力科学研究所	0	2	0	5	7	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	8
文学研究科	9	5	0	0	14	0	2	0	0	1	3	1	0	0	1	18
法学研究科	7	3	3	1	14	0	0	0	2	1	3	0	0	0	0	17
防災研究所	1	2	1	2	6	0	0	0	0	3	3	2	0	0	2	11
野生動物研究センター	1	0	0	1	2	0	0	0	1	2	3	0	0	0	0	5
薬学研究科	0	3	0	1	4	0	0	0	0	1	1	4	0	0	4	9
理学研究科	3	8	0	6	17	0	0	0	1	6	7	7	0	0	7	31
霊長類研究所	0	0	0	5	5	0	0	0	1	6	7	7	0	0	7	19
経営管理教育部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	79	89	24	115	307	9	28	25	89	155	306	249	77	5	331	944

#### 4. 女子学生の状況

(分析データ：総務部資料 2021 年 5 月 1 日)

2021 年 5 月 1 日現在の京都大学の学部生数、大学院生数、女性比率を表 4 と表 5 に示す。1946 年からの女子学生数とその比率は図 5 にある。

学部学生の女性比率は全体で 22.1%と、教員と比較するとかなり高い。医学部(4 年制)では、66.2%、薬学部(6 年制)では 55.4%、文学部、教育学部は、約 45%が女子学生である。工学部は教員と同じく低く、女性比率 9.9%である。大学院では、修士課程から博士課程に進むに従って、女性比率が、26.3%から 31.1%へと高くなる。しかし、図 6 に示したように教員への道は細いパイになっている。

表4 学部学生数と女性比率

	学部生数計	女性%
総合人間学部	594	28.3
文学部	1,013	39.0
教育学部	282	45.4
法学部	1,455	26.7
経済学部	1,090	17.5
理学部	1,395	8.4
医学部(6年制)	678	17.1
医学部(4年制)	473	66.2
薬学部(6年制)	83	55.4
薬学部(4年制)	82	41.5
薬学部(※)	247	37.2
工学部	4,258	9.9
農学部	1,306	35.1
計	12,956 (220)	22.1

注) ( )内は、外国人留学生数(留学ビザ留学生)で内数  
薬学部(※)は、未分属

表5 大学院生数と女性比率

	修士課程	女性%	博士課程	女性%
文学研究科	253	44.7	201	36.3
教育学研究科	73	45.2	93	51.6
法学研究科	43	44.2	76	30.3
経済学研究科	138	51.4	95	35.8
理学研究科	652	14.9	491	18.3
医学研究科			720	30.0
	60	50.0	98	41.8
薬学研究科			35	20.0
	116	31.0	64	21.9
工学研究科	1,473	13.2	550	16.4
農学研究科	673	39.2	226	31.9
人間・環境学研究科	340	41.8	320	43.1
エネルギー科学研究科	301	13.0	93	17.2
アジア・アフリカ地域研究研究科			168	57.7
情報学研究科	423	6.4	200	19.5
生命科学研究科	156	47.4	116	39.7
総合生存学館			75	49.3
地球環境学舎	103	60.2	86	51.2
公共政策教育部				
経営管理教育部			25	28.0
計	4,956 (830)	26.3	3,826 (1086)	31.1

(注1)医学研究科博士(後期)課程の上段は博士課程(4年制)

(注2)アジア・アフリカ地域研究研究科、総合生存学館は一貫制博士課程

(注3) ( )内は、外国人留学生数(留学ビザ留学生)で内数

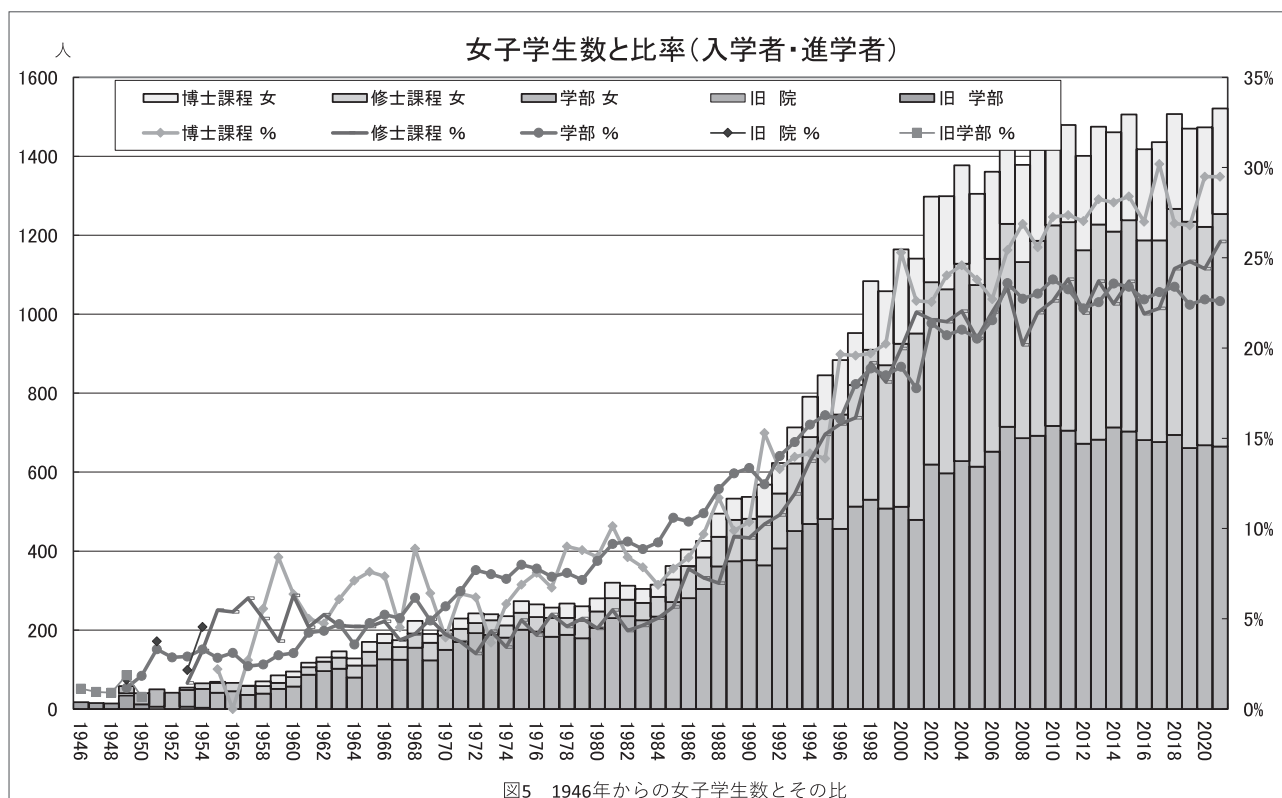
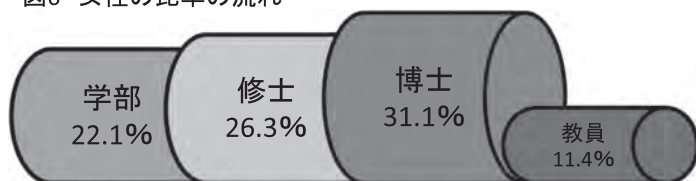


図5 1946年からの女子学生数とその比

図6 女性の比率の流れ



※ 2.「女性研究者の雇用形態」(表 2、図 4)、3.「女性教員の部局別・職階別分布」(表 3)は、総務部(2021年5月1日現在)より作成。その他は、京都大学概要 2021(2021年5月1日現在)より作成。総務部データと京都大学概要では、集計上の事情によって女性研究者総数で数名の違いがある。また、作図にあたり四捨五入している。



## 2021年度 京都大学男女共同参画推進センター報告書

発行日 2022年3月

発行所 京都大学男女共同参画推進センター

© 京都大学男女共同参画推進センター

